高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第10冊

奥の坊遺跡群Ⅹ

（奥の坊遺跡　Ⅵ区　遺物包含層出土遺物編）

2012年3月

高松市教育委員会

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第十冊

奥の坊遺跡群Ⅹ（奥の坊遺跡Ⅵ区　遺物包含層出土遺物編）

二〇一二年三月

高松市教育委員会

例　言

1　本報告書は，高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第10冊で，高松市高松町に所在する奥の坊遺跡VI区（おくのぼういせきろっく）の遺物包含層出土遺物の報告を収録した。

2　発掘調査地ならびに調査期間は次のとおりである。
調 査 地：高松市高松町奥ノ坊
発掘調査：1999年12月14日～2000年3月3日
整理作業：2009年1月5日～2011年12月28日

3　発掘調査から報告書の編集まで高松市教育委員会教育部文化財課（2007年度までは文化部文化振興課）が行った。発掘調査と遺物の基礎整理を文化財専門員 大嶋和則が担当し，本書の編集を大嶋と協議のうえ，文化財専門員 波多野篤が行った。なお，本書に掲載した土器・土製品の整理作業と図版作成を文化財調査係長 山元敏裕，土器・土製品の挿図作成と原稿執筆を波多野，石器の整理作業および原稿執筆・図版作成を文化財専門員 舩築紀子が担当した。

4　発掘調査から整理作業，報告書執筆を実施するにあたって，下記の方々および関係諸機関から御教示を得た。記して厚く謝意を表する（五十音順，敬称略）。
香川県教育委員会，片岡宏二，川部浩司，地元自治会，地元水利組合，乗松真也，古高松土地改良区

5　現地での発掘調査や整理作業にあたっては，下記の方々の御協力を得た。記して厚く謝意を表する（敬称略）。
大野宏和・川部浩司・信吉純恵・増田ゆず・山内康郎（当時 徳島文理大学大学院），四方大輔・
高瀬智充・高崎誠・水田貴士・林田真典（当時 徳島文理大学），末光甲正（当時 讃岐文化遺産研究会）

6　本調査に関連して，以下の業務を委託発注により実施した。
航空写真測量　　アジア航測 株式会社（成果品については既刊の報告書に掲載）
遺物写真撮影　　西大寺フォト（成果品については本書に掲載）

7　挿図として，国土地理院発行1／25,000地形図「高松北部」「高松南部」「五剣山」「志度」を一部改変して使用した。

8　本報告の高度値はT.P.を基準とし，座標は国土座標第Ⅳ系（日本測地系）に従った。また，方位は座標北を示す。

9　本書で使用している挿図の縮尺は，土器実測図は1/4，石器実測図は1/2を原則とした。石器実測図のアミかけは，使用痕の範囲を示す。また，写真図版における遺物の縮尺はすべて任意である。

10　発掘調査で得られたすべての資料は高松市教育委員会で保管している。

本文目次

第1章　調査の経緯と経過
　第1節　発掘調査と整理の経過 ……1
第2章　地理的・歴史的環境
　第1節　地理的環境 ……3
　第2節　歴史的環境 ……3
第3章　調査の概要
　第1節　調査区の概要と調査方法 ……6
　第2節　基本層序 ……6
　第3節　遺構と遺構出土遺物の概要 ……9
第4章　遺物
　第1節　Ⅲ層出土遺物の概要……10
　第2節　土器・土製品……10
　第3節　石器……10
第5章　総括
　第1節　土器・土製品について……37
　第2節　石器について……38
　第3節　まとめ……39

挿図目次

図1　奥の坊遺跡の位置とおもな河川 ……1
図2　東部運動公園整備事業発掘調査地(1/2,500)……2
図3　周辺の遺跡分布図（1/40,000）……4
図4　Ⅵ区 グリッド配置図（1/600）……6
図5　北壁土層断面図1（1/40）……7
図6　北壁土層断面図2（1/40）……8
図7　調査区 平面図（1/250）……11
図8　出土土器・土製品 実測図1（1/2・1/4）……12
図9　出土土器・土製品 実測図2（1/4）……13
図10　出土土器・土製品 実測図3（1/4）……14
図11　出土土器・土製品 実測図4（1/2・1/4）……15
図12　出土土器・土製品 実測図5（1/4）……16
図13　出土土器・土製品 実測図6（1/2・1/4）……17
図14　出土土器・土製品 実測図7（1/4）……18
図15　出土土器・土製品 実測図8（1/4）……19
図16　出土土器・土製品 実測図9（1/4）……20
図17　出土土器・土製品 実測図10（1/2・1/4）……21
図18　出土土器・土製品 実測図11（1/4）……22
図19　出土土器・土製品 実測図12（1/4）……23
図20　出土土器・土製品 実測図13（1/2・1/4）……24
図21　出土土器・土製品 実測図14（1/4）……25
図22　出土土器・土製品 実測図15（1/4）……26
図23　出土土器・土製品 実測図16（1/4）……27
図24　E2区出土石器 実測図（1/2）……28
図25　E3区出土石器 実測図（1/2）……29
図26　F5区出土石器 実測図（1/2）……29
図27　E4区出土石器 実測図（1/2）……30
図28　G2区出土石器 実測図（1/2）……30
図29　F3区出土石器 実測図（1/2）……31
図30　F4区出土石器 実測図1（1/2）……32
図31　F4区出土石器 実測図2（1/2）……33
図32　G3区出土石器 実測図（1/2）……34
図33　G4区出土石器 実測図（1/2）……35
図34　Ⅲ層出土石器 実測図（1/2）……36
図35　F2区出土石器 実測図（1/2）……36
図36　G5区出土石器 実測図（1/2）……36
図37　石鏃形態……39

表目次

表1　東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過……2
表2　調査地周辺の遺跡……5
表3　掲載遺物器種別点数 ……39
表4　土器・土製品 観察表（1）～（10）……42
表5　石器 観察表（1）～（3）……52

写真図版目次

図版1　出土土器1
図版2　出土土器2
図版3　出土土器3
図版4　出土土器4
図版5　出土土器5
図版6　出土土器6
図版7　出土石器1
図版8　出土石器2
図版9　出土石器3
図版10　出土石器4
図版11　出土石器5
図版12　出土石器6
図版13　出土石器7
図版14　出土石器8
図版15　出土石器9
図版16　出土石器10
図版17　出土石器11
図版18　出土石器12

第１章　調査の経緯と経過

第1節　発掘調査と整理の経過

調査地は，高松市の西側に位置する高松町奥ノ坊に所在する。事業全体の経緯と経過，および発掘調査の経緯の詳細については，昨年度までに刊行している同一事業の報告書である『奥の坊遺跡群Ⅰ～Ⅸ』に記しているため，本書では省略する。なお，東部運動公園整備事業に伴い実施した発掘調査の調査区配置図を図2に，調査を実施した期間や各地区の報告書刊行年度などを表1にまとめている。

ａ．発掘調査の経緯

本書では，1999年度に調査したⅥ区の調査成果のうち，遺物包含層（Ⅲ層）出土遺物について報告する。なお，Ⅵ区の遺構と遺構出土遺物については，2010年度に刊行した『奥の坊遺跡群Ⅸ』で報告している。本書は，その報告書に掲載することができなかった同一地区の遺物包含層から出土した遺物を報告するものである。

Ⅵ区の調査面積は約1,100㎡で，Ⅵ区の調査は隣接するⅦ区の調査と並行して実施し，1999年12月14日～2000年3月3日までの期間で行った。

ｂ．整理作業の経緯

Ⅵ区の遺物包含層出土遺物の整理作業は次のとおり実施した。2009年1月～2010年3月に遺物実測，2011年4～12月に挿図のレイアウトとトレース，2011年10～12月に原稿の執筆を行った。なお，整理期間中の2011年12月に，Ⅵ区の遺物包含層出土遺物の写真撮影を，西大寺フォトに委託して実施した。

図1　奥の坊遺跡の位置とおもな河川

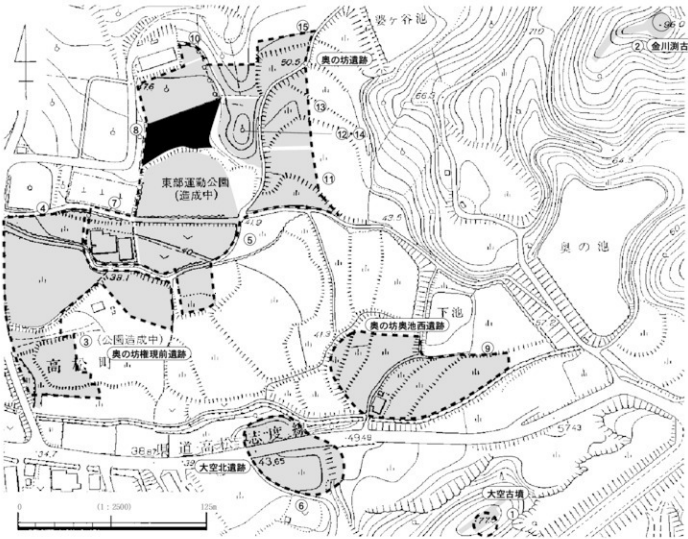


図2　東部運動公園整備事業発掘調査地(1/2,500)

表1　東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過

番号	遺跡名	調査区名	調査期間	調査面積(㎡)	調査方法	報告書シリーズ名(刊行年月)
－	試掘調査	全域	1995. 8. 4～1997.10. 8	2,997	直営	奥の坊遺跡群Ⅰ (1999.3)
①	大空古墳	全域	1996. 2.14～1996. 2.23	150	直営	
②	金川渕古墳	全域	1996. 2.23～1996. 3. 8	300	直営	
③	奥の坊権現前遺跡	Ⅰ～Ⅲ	1997. 2.10～1997. 3.24	1,560	委託	奥の坊遺跡群Ⅱ (2004.3)
④	奥の坊権現前遺跡	Ⅳ～Ⅵ	1997.10. 7～1998. 3.13	5,200	委託	
⑤	奥の坊遺跡	Ⅰ・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	1998. 9.14～1999. 2.19	4,900	委託	奥の坊遺跡群Ⅴ (2006.12) 未刊
⑥	大空北遺跡	全域	1999. 4.16～1999. 6. 4	2,200	直営	奥の坊遺跡群Ⅲ (2004.12)
⑦	奥の坊遺跡	Ⅴ	1999. 5.28～1999. 7.13	700	直営	奥の坊遺跡群Ⅵ (2007.12)
⑧	奥の坊遺跡	Ⅵ	1999.11.10～2000. 3. 3	2,300	委託	(遺構・遺構出土遺物編) 奥の坊遺跡群Ⅸ (2011. 3)
					委託	(遺物包含層出土遺物編) 本書
		Ⅶ			委託	奥の坊遺跡群Ⅷ (2010. 3)
⑨	奥の坊奥池西遺跡	全域	2000. 4.17～2000. 7.25	3,600	直営	奥の坊遺跡群Ⅲ (2004.12)
⑩	奥の坊遺跡	Ⅷ	2000.10. 2～2000.12.28	300	直営	奥の坊遺跡群Ⅶ (2009. 3)
⑪	奥の坊遺跡	Ⅸ	2000.10. 5～2001. 1.12	1,180	委託	奥の坊遺跡群Ⅶ (2009. 3)
⑫	奥ノ坊古墳群(測量)	全域	2001. 6. 5～2001. 6.27	－	直営	奥の坊遺跡群Ⅳ (2006. 3)
⑬	奥の坊遺跡	Ⅹ	2001. 8.27～2002. 1.18	1,320	委託	奥の坊遺跡群Ⅶ (2009. 3)
⑭	奥ノ坊古墳群	全域	2001. 9. 4～2001.11.28	1,020	直営	奥の坊遺跡群Ⅳ (2006. 3)
⑮	奥の坊遺跡	ⅩⅠ	2002. 4. 2～2002. 7. 5	1,180	直営	奥の坊遺跡群Ⅶ (2009. 3)
＝	久米池遺跡	全域	2003. 1. 8～2003. 1.21	200	立会	奥の坊遺跡群Ⅳ (2006. 3)

番号は、図2の番号に対応する。

第２章　地理的・歴史的環境

第1節　地理的環境

高松市は香川県のほぼ中央に位置する県都で，2005年9月および2006年1月に近隣6町と合併し，人口約42万人，面積約375㎢の新たな高松市が誕生した（図1）。市域の大部分を占めるのが高松平野と呼ばれる平野部で，讃岐山脈に端を発する中小河川によって形成された沖積地である。高松平野には，西から本津川，香東川，御坊川，詰田川，春日川，新川の六河川が瀬戸内海に向けて流れ込んでいる。とりわけ，現在の春日川以西の沖積平野を形成したのが香東川と考えられている。一方，調査地の位置する古高松（高松町・新田町・春日町）地区は春日川と新川に近い地域で，両河川は水量が少なく，平野中央部を流れる香東川のように大規模な扇状地は形成していない。また，古高松地区の北部は，江戸時代初期の干拓により陸地化されたものであり，寛永10（1633）年の『讃岐国絵図』によると，その頃の海岸線はかなり内陸に入り込んでおり，古高松地区の北に位置する屋島は島として描かれている。北を屋島に面した海岸（旧地形による），東を立石山山塊，南を久米山丘陵，西を春日川によって限られた高松平野北東部の一角は，古代・中世を通じて「高松」（讃岐国山田郡高松郷）と呼ばれたが，天正16（1588）年の生駒親正による高松城築造以後は，城下町の高松に対して「古高松」と呼称されてきた。江戸時代以前の古高松の地形を推定できる史料として，古老の話を元に香西成資が享保4（1719）年に編纂した『南海通記』がある。その中に天正10（1582）年の頃として「…春日ノ里ニ至ル，此所ハ屋島山，石清尾山両受ノ間，入海ニテ山田郡小山ノ下マデ潮サシ来ル，遠干潟ナ春日里ト木太郷ノ間，海ノ中道アツテ通用ス。…」との記述がある。ここで言う小山とは，現在の高松市新田町小山にあたると考えられ，この小山近辺まで海岸線あるいは河口が湾状に入り込んでいたと想定できる。

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査事業として調査を行った「奥ノ坊」は高松町の北東端にあたり，地形的には旧高松市と旧牟礼町（現，高松市牟礼町）にまたがる標高100～200mの山塊の西側低丘陵地の尾根および谷部に位置する。現在，当地は内陸部としての景観をなすが，上記の推定海岸線を考慮すると海岸から1.0～1.5kmと非常に近い場所に位置するものと考えられる。

第2節　歴史的環境

調査地周辺では，おもに発掘調査によって旧石器時代から近世にかけての遺構・遺物が検出されている（図3）。各時代のおもな遺跡と概要については表2に整理したが，ここでは奥の坊遺跡の集落が最も盛行した弥生時代に限定して，周辺の遺跡を概観する。

奥の坊遺跡の南西側約100mの地点には，奥の坊権現前遺跡〔4〕が位置する。遺跡の中心は後期前半であるが，調査では中期前半の竪穴住居跡もわずかに検出されており，奥の坊遺跡の集落との密接な関連が想定される。また，奥の坊遺跡から南東へ約450mの地点には，香川県の後期前半の標式となる土器が出土した大空遺跡〔10〕が所在する。

次に調査地の西側を概観すると，調査地の南西約3kmの地点には諏訪神社遺跡〔42〕があり，前期後半頃の環濠と考えられる溝が検出されている。諏訪神社遺跡は標高25～28mの丘陵尾根先端部に営まれた遺跡で，溝はその丘陵を囲むように配置されている。溝の内側には同時期の遺構・遺物はほとんど認められず，一般的な環濠集落とは様相を異にする点が注目される。諏訪神社遺跡では中期前半の溝も確認されているが，中期後半には木棺墓3基を造墓し，遺跡の性格が変化している点にも留意すべきだろう。諏訪神社遺跡から南東へ600mの位置には，中期後半の高地性集落である久米池南遺跡〔40〕がある。久米池南遺跡では，掘立柱建物跡を囲んで竪穴建物跡が構築されており，集落の外縁部には土壙墓が造墓されている。さらに，久米池南遺跡からは鉄斧や絵画土器が出土した点は注目される。一方，調査地から丘陵を隔て東へ約3kmの地点には，後期から終末期を中心に営まれた原中村遺跡〔45〕が位置し，竪穴建物などを中心とした集落を形成している。また，奥の坊遺跡から東へ約1.5kmの地点には，明治14・15年頃の開墾中に細形銅剣が出土した羽間遺跡〔44〕が位置する。

以上のように，調査地周辺には奥の坊遺跡，奥の坊権現前遺跡，大空遺跡などの集落が中期から後期にかけて営まれ，さらに調査地から3km圏内には前期から後期にかけての遺跡が点的に分布する状況が読み取れる。いずれも長期間継続する集落や墓域は認められず，高松平野に所在する遺跡全体の動向と同様の傾向である。当事業では広範囲を調査したことで多くの情報が把握できた。高松平野における弥生時代中期の集落の具体的な状況を示す重要な調査例となるだろう。

図3　周辺の遺跡分布図（1/40,000）

1　奥の坊遺跡
2　奥ノ坊1号墳
3　奥ノ坊2～4号墳
4　奥の坊権現前遺跡
5　奥の坊奥池西遺跡
6　大空北遺跡
7　金川洲古墳
8　大空古墳
9　スベリ山古墳
10　大空遺跡
11　大空南遺跡
12　長崎鼻古墳
13　千間堂跡
14　屋嶋城
15　浦生石塁
16　屋島寺
17　北浜1～3号墳
18　中筋北古墳
19　屋島中央西古墳
20　屋島中央東古墳
21　金刀比羅宮社域古墳
22　東山地古墳
23　屋島経塚
24　湯ノ谷1～3号墳
25　高松（喜岡）城跡
26　長尾1～3号墳
27　小山・南谷遺跡
28　新田本村遺跡
29　川南・東遺跡
30　川南・西遺跡
31　小山古墳
32　山下古墳
33　山下廃寺
34　岡山小古墳群
35　岡山古墳群
36　遠谷古墳群
37　南谷遺跡
38　久本古墳
39　久米池遺跡
40　久米池南遺跡
41　高松市茶臼山古墳
42　諏訪神社遺跡
43　瀧本神社古墳
44　羽間遺跡
45　原中村遺跡
46　原遺跡

表2　調査地周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	概要	文献
旧石器～縄文				
40	久米池南遺跡	新田町	ナイフ型石器が出土。	1
27	小山・南谷遺跡	新田町	落とし穴状の土坑を14基検出。	2
5	奥の坊奥池西遺跡	高松町	落とし穴と考えられる遺構を検出。	3
弥生時代				
42	諏訪神社遺跡	前田西町	前期後半頃の階層と考えられる遺構を検出。	4
44	羽間遺跡	牟礼町	後期後半の標識となる土器が出土。	5
40	久米池南遺跡	新田町	中期後半の高地性集落。絵画土器や銅界が出土。	1
10	大空遺跡	高松町	後期前半の標識となる土器が出土。	6
4	奥の坊権現前遺跡	高松町	製塩土器が出土。	7
11	大空南遺跡	高松町	弥生土器が出土。	8
37	南谷遺跡	高松町	製塩土器が出土。	9
27	小山・南谷遺跡	新田町	製塩土器が出土。	2
46	原遺跡	牟礼町	後期後半の標識となる土器が出土。	10
45	原中村遺跡	牟礼町	鎌が付着した土器が多量に出土。	11
古墳時代				
42	諏訪神社遺跡	前田西町	竪穴式石郭を3基検出。	4
41	高松市茶臼山古墳	前田西町	全長85mの前方後円墳。竪穴式石郭を2基検出。	12
12	長崎鼻古墳	屋島西町	阿蘇溶結凝灰岩製の石棺が出土。	13
31	小山古墳	新田町	複室構造を持つ後期の古墳。	9
32	山下古墳	新田町	巨大な天井石で石室を構築した古墳。	14
43	庵本神社古墳	前田西町	丁字型の石室。	15
38	久本古墳	新田町	石棺を有し、鏡内型の亀甲型陶棺を設置。	16
26	長尾古墳群	高松町	墳形は円墳で、横穴式石室。	9
35	岡山古墳群	新田町	前方後円墳と円墳からなる古墳群。	9
34	岡山小古墳群	新田町	円墳15基からなる古墳群。	9
36	藤谷古墳群	新田町	円墳3基からなる古墳群。	17
2-3	奥の坊古墳群	高松町	円墳からなる古墳群。	18
8	大空古墳	高松町	直径11mの円墳。	6
7	金川潤古墳	高松町	直径10mの円墳。	6
古代～近世				
14	屋嶋城	屋島西町 屋島東町	城門遺構を検出。	13
28	新田本村遺跡	新田町	先行条里地割を検出。	19
27	小山・南谷遺跡	新田町	先行条里地割を検出。	2
4	奥の坊権現前遺跡	高松町	先行条里地割を検出。	7
33	山下廃寺	新田町	古代の瓦を採取。	20
13	千間堂跡	屋島西町	10～11世紀の礎石建物などを検出。	13
30	川南・西遺跡	春日町	16～17世紀の溝で区画された屋敷地を検出。	21
5	奥の坊奥池西遺跡	高松町	溝を検出。	3
29	川南・東遺跡	春日町	近世の屋敷地を検出。	22

＊番号は図2の番号に対応する。なお、表2は時代ごとに遺跡を整理ししたため、複合遺跡の場合は複数回記載した。

表2　引用文献

1) 高松市教育委員会1989『久米池南遺跡発掘調査報告書』
2) 香川県教育委員会1994『県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告　小山・南谷遺跡　平成5年度』
香川県教育委員会1997『県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告　小山・南谷遺跡Ⅰ』
3) 高松市教育委員会2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第3冊　奥の坊遺跡群Ⅲ（大空北遺跡・奥の坊奥池西遺跡）』
4) 高松市教育委員会2007『諏訪神社本殿移築・久米山墓地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　諏訪神社遺跡　久米山遺跡群－諏訪神社御旅所地区－』
5) 牟礼町史編集委員会（編）1993『牟礼町史』
6) 高松市教育委員会1999『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第1冊　奥の坊遺跡群Ⅰ（奥の坊地区（試掘）　大空古墳　金川潤古墳）』
7) 高松市教育委員会2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第2冊　奥の坊遺跡群Ⅱ（奥の坊権現前遺跡）』
8) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977『古高松郷土誌』
高松市歴史資料館1996『高松市歴史資料館収蔵資料目録～考古資料～』
9) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977『古高松郷土誌』
10) 六車恵一1961「香川県木田郡牟礼村原遺跡の土器」『弥生式土器集成2』
11) 香川県教育委員会2000『県道高松志度線緊急整備工事および県立医療短期大学建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　原中村遺跡』
12) 香川県教育委員会1970『高松市茶臼山古墳緊急発掘調査概報』
前田郷土誌編集協議会1989『前田郷土誌』
13) 高松市教育委員会2003『史跡天然記念物　屋島　－史跡天然記念物屋島基礎調査事業調査報告書Ⅰ－』
14) 香川県教育委員会1980『山下古墳調査報告』
15) 香川考古刊行会1993『香川考古　第2号』
16) 高松市教育委員会2004『高松市指定史跡　久本古墳　－保存整備・市道新田町61号線道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』
17) 高松市教育委員会2004『藤谷古墳群』
18) 高松市教育委員会2006『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　第4冊　奥の坊遺跡群Ⅳ（奥の坊古墳群・久米池遺跡）』
19) 高松市教育委員会2006『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書　第3冊　新田本村遺跡』
20) 高松市歴史資料館1996『第11回特別展　讃岐の古瓦展』
21) 高松市教育委員会1999『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書　第1冊　川南・西遺跡』
22) 高松市教育委員会2000『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書　第2冊　川南・東遺跡』

第３章　調査の概要

第1節　調査区の概要と調査方法

Ⅵ区では，事業対象地内に東西方向に長い調査区を設けた（図4）。調査区の東側や南側はやや不整形な形状だが，調査面積は約1,100㎡である。遺物包含層の調査に至る過程は，後述する基本層序のⅠ・Ⅱ層をバックホウで掘削・除去し，遺物包含層であるⅡ層を人力によって掘削し，遺物の取り上げなどを行った。

遺物包含層の調査にあたっては，調査区内に打設した調査杭を基準として行なった。具体的には，遺物包含層から出土した遺物を，調査杭を基準として設けたグリッドごとに取り上げることとした。なお，調査杭は，東西方向を西から順にアラビア数字の1～6，南北方向を北から順にアルファベットのA～Hと命名し，その交点の組み合わせを調査杭の個別名称とした。また，グリッドの名称は，グリッドの南東隅の調査杭の呼称を用いることにした。例えば，Ⅵ区北東端のグリッドは「D6」グリッドとなる。

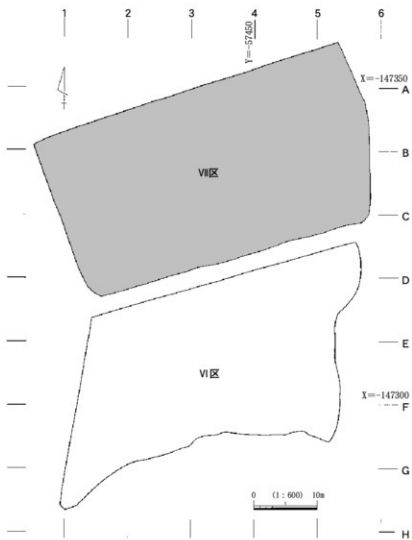


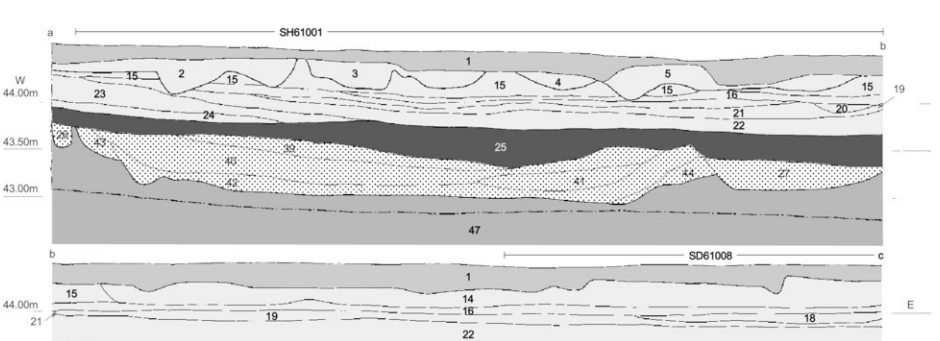
図4　Ⅵ区 グリッド配置図（1/600）

第2節　基本層序

Ⅵ区の層序は，大別してⅠ～Ⅳ層にまとめることができる（図5・6）。

Ⅰ層は現代耕作土で，層厚は5～35cmである。Ⅱ層は緑灰色～灰黄褐色砂混粘質土で，層厚は25～75cmである。Ⅲ層は灰黄褐色や褐灰色などの色調を呈する砂混粘質土層で，層厚は10～35cmである。Ⅳ層はにぶい黄橙色粗砂である。Ⅱ層は，包含する遺物や周辺の調査成果から，近世以降に形成された水田造成に関連した土層と判断できる。Ⅲ層は，調査区中央付近が最も厚く堆積する土層で，土器や石器を大量に含むことから遺物包含層と判断できる。ただし，東側に向けて地形面が高くなる調査区東端ではⅢ層が認められず，標高の高い地点では後世の水田造成などによって堆積層が削られたか，あるいは当初よりⅢ層が存在しなかったかのいずれかが考えられる。Ⅲ層から出土した遺物はおおむね弥生時代中期前半に帰属することから，Ⅲ層の形成年代は弥生時代中期前半以降ということになる。なお，Ⅶ区でもⅢ層に対応する土層を確認しており，調査地周辺の谷部にはⅢ層が広範囲に堆積していることが分かる。Ⅳ層は，遺物を含まず，かつ人為的に攪拌された痕跡も認められないことから，当地の基盤をなす自然堆積層（地山）と考えられる。

以上がⅥ区で確認した層序であるが，このうち遺構については遺物包含層であるⅢ層を除去したのちのⅣ層上面で検出し調査した。



Ⅳ区　北壁断面　土色注記

1　耕作土	11　2.5Y 7/3 浅黄色　細砂～粗砂	21　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土	31　10YR 5/2 灰黄褐色 粗砂	41　2.5Y 3/3 暗オリーブ褐色 砂混粘質土	
2　10G 6/1 緑灰色 砂混粘質土	12　10YR 5/3 にぶい黄褐色 砂混粘質土	22　2.5Y 5/2 暗灰黄色 砂混粘質土	32　10YR 5/2 灰黄褐色 粗砂	42　10YR 3/1 黒褐色 砂混粘質土（炭・焼土含む）	
3　10G 5/1 緑灰色 砂混粘質土	13　10YR 5/3 にぶい黄褐色 砂混粘質土	23　10YR 4/1 褐灰色 砂混粘質土	33　10YR 6/2 灰黄褐色 粗砂	43　7.5YR 6/1 褐灰色 砂混粘質土	
4　5G 6/1 緑灰色 砂混粘質土	14　10G 6/1 緑灰色 砂混粘質土	24　10YR 6/3 にぶい黄橙色 砂混粘質土	34　10YR 4/1 褐灰色 粗砂	44　5YR 8/4 浅橙色 粗砂	
5　5G 5/1 緑灰色 砂混粘質土	15　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土	25　10YR 3/1 黒褐色 砂混粘質土	35　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土	45　10YR 5/2 にぶい黄褐色 粗砂	
6　10YR 4/2 灰黄褐色砂混粘質土	16　10YR 4/2 灰黄褐色 砂混粘質土	26　10YR 4/1 褐灰色 砂混粘質土	36　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土	46　10YR 4/1 褐灰色 粗砂	
7　10YR 4/2 灰黄褐色砂混粘質土	17　10YR 7/4 にぶい黄橙色 砂混粘質土	27　2.5Y 4/1 黄灰色 砂混粘質土	37　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土	47　10YR 7/3 にぶい黄橙色 粗砂	
8　10YR 4/2 灰黄褐色砂混粘質土	18　10YR 6/1 褐灰色 砂混粘質土	28　2.5Y 5/3 黄褐色 砂混粘質土	38　10YR 5/2 灰黄褐色 砂混粘質土		
9　10G 6/1 緑灰色 砂混粘質土	19　10YR 4/1 褐灰色 砂混粘質土	29　10YR 4/1 褐灰色 粗砂	39　2.5Y 5/2 暗灰黄色 砂混粘質土		
10　10G 6/1 緑灰色 砂混粘質土	20　10YR 4/1 褐灰色 砂混粘質土	30　10YR 4/2 灰黄褐色 粗砂	40　2.5Y 5/2 暗灰黄色 砂混粘質土		

図5　北壁土層断面図1（1/40）

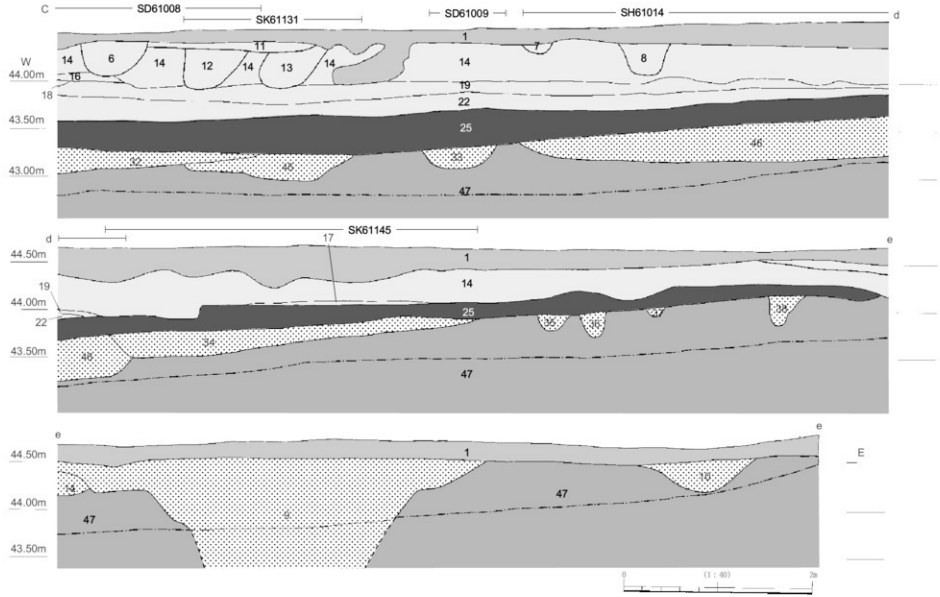


図6　北壁土層断面図２（1/40）

第3節　遺構と遺構出土遺物の概要

a．検出遺構について

既刊の報告書にすでに報告しているが，ここに一節を設けてⅥ区の遺構分布状況などについて簡単に述べる。Ⅵ区では弥生時代中期を主体とする遺構を検出した。遺構ごとの検出数は，竪穴建物15棟（SH61001は1棟とする），土坑225基，溝25条，ピットが1,144基であり，これらの遺構の大多数は重複関係を有して調査区北東端を除く調査区内に広く分布している。Ⅵ区の調査面積が約1,100㎡であるから，遺構密度は比較的高いものと言える。Ⅵ区の大半の遺構がⅦ区と同様に弥生時代中期前半に帰属し，Ⅶ区との遺構密度の比較や検出遺構の性格を考慮すると，Ⅵ区は当該集落の中心的な居住空間と見て良いだろう。

Ⅵ区の検出遺構について特記すべき事項として，1棟ではあるが松菊里型住居を検出した点にある（Ⅵ区：SH61001－ａ）。残念ながらその建物は重複関係をもつため，それよりも新しい時期の竪穴建物に破壊されており多くの情報を失っていた。しかし，のちに述べる擬朝鮮系無文土器などと合わせて考えると，朝鮮半島との強い関連性を示唆するものと考えられる。

b．遺構出土遺物について

Ⅵ区の遺構出土遺物で特筆できるのが，①廃棄土坑SK61226から擬朝鮮系無文土器が出土した点，②竪穴建物から顔状土製品が出土した点，③竪穴建物から多数の石器が出土した点，以上3点である。①については，擬朝鮮系無文土器は遺構からわずか1点の出土ではあるが，本書で報告する遺物包含層からも数点の擬朝鮮系無文土器が出土しており，当集落を評価するにあたって重要な事実であることを指摘した。②については，SH61001－ｂ・SH61002・SH61012の3棟から顔状土製品が各1点出土した。これら3点の出土状況からはいずれも顔状土製品の使用状況を推定することはできなかったが，SH61012から出土した土製品が下半部を欠損しており，祭祀にあたって土製品の一部を破壊するような行為が行われた可能性を推定した。③については，竪穴建物から出土した石器の出土量に関する定量的な分析を行い，換算値ではあるがSH61002・SH61010・SH61011の3棟で住居1㎡あたり10ｇ以上の石器が出土したことが判明した。このことから，他の住居と比較して一定量の石器を保有する住居が集落内に存在することが明らかとなった。

以上のように，Ⅵ区の遺構からは集落の性格を推定するうえで極めて重要な遺物が出土している。これらの遺構出土遺物と，本書で報告する遺物包含層出土遺物との関連性を考慮しながら，さらに集落の性格について検討を深める必要があるだろう。

c．遺構と遺構出土遺物の評価

上記のとおり検出遺構と遺構出土遺物を整理したが，これらの状況から推定する当集落の状況は以下のとおりである。

①弥生時代中期前半に営まれた集落で，その期間内に重複して住居を構築する。
②松菊里型住居が存在し，さらに擬朝鮮系無文土器片も出土していることから，朝鮮半島との関連性が想定される。
③一部の住居を除いて大半の住居から一定量の石器が出土しており，集落内の住居で石器製作が行われた可能性がある。
④3棟の住居から顔状土製品が出土しており，住居周辺などで土製品を用いた祭祀が行われた可能性がある。

以上4点が集落の性格を示す情報であるが，これらの所見と遺物包含層出土遺物の所見を合わせて評価することで，より鮮明に集落像を描くことができるものと考えられる。

第4章　遺物

第1節　Ⅲ層出土遺物の概要

a．Ⅲ層の堆積状況

Ⅵ区とその北側に位置するⅦ区は谷状の地形を呈する箇所に設けた調査区で，双方の調査区ではその地形面を覆い，なおかつ遺構よりも新しい時期に堆積したⅢ層（遺物包含層）が調査区のほぼ全域に分布していた。

Ⅵ区におけるⅢ層の堆積状況は，前述したとおり地形的に低くなる調査区中央付近にもっとも厚く堆積していた。この点を図5・6で示したⅥ区の北壁断面図で見ると，調査区北側中央付近のⅢ層は30～40㎝，調査区西・東端は10～20㎝の厚さで堆積しており，この断面からも地形的に低い箇所により厚くⅢ層が堆積していることが分かる。

Ⅵ区におけるⅢ層の平面的な分布は上記のとおりだが，今回の報告にあたっては，各グリッドのⅢ層出土遺物の量とその下で検出した遺構の分布密度に関連性が存在する可能性があるため，その点についても留意して検討していく。

b．Ⅲ層出土遺物について

昨年度に報告した遺構出土遺物も相当数あったが，今回報告するⅢ層の出土遺物も相当量ある。本来はこれらを同一の報告書で報告すべきところだが，①なるべく多くの遺物包含層から出土した遺物を報告し，広く公開するため，②擬朝鮮系無文土器や顔状土製品など集落の性格を検討する場合に重要な遺物が出土している点，以上の諸点から，遺物包含層出土遺物編として独立して報告書を作成した。よって，より詳細にⅢ層の遺物について明らかにすることができると考えられる。

さて，Ⅲ層出土遺物の取り上げにあたっては，10mのグリッド単位で行なった。Ⅲ層は人力で掘削したため，土層に含まれる遺物の大半は取り上げることができたと考えられる。Ⅲ層出土遺物の傾向としては，完形のものはほとんどなく，とくに土器・土製品の大半は破片資料であった。なお，各グッリドの土器・土製品の掲載数を見ると，F3・F4・F5が多い点が特徴と言える。これらグリッドは，竪穴建物を中心として遺構の検出数が多い地点にあたる。この点から，遺構数の多寡とⅢ層に包含される遺物の出土数は密接に関連しているものと考えられる。

第2節　土器・土製品

Ⅲ層から出土した土器・土製品については破片資料が大半である。そのため，口縁部が遺存する遺物を優先的に掲載し，土器の底部など時期の特定が困難な遺物については掲載する数を限定した。このような方法で抽出したⅢ層出土土器の掲載点数は549点，土製品は7点である。土製品の種類としては，紡錘車と顔状土製品があり，Ⅵ区の遺構からも同様の遺物が出土している点は注目される。

各土器・土製品の詳細については表4で示す遺物観察表を参照していただき，全体的な傾向については総括で整理している。

なお，昨年度にⅥ区の遺構出土遺物を報告したが，そのうちSK61226から出土した土器2点が未報告であったため，本書で追加して報告する。

第3節　石器

Ⅲ層から出土した石器については製品を優先して掲載しており，掲載点数は222点である。各遺物の詳細については表5に示し，全体的な傾向については総括の項目で述べているので，そちらを参照されたい。

図7　調査区 平面図（1/250）

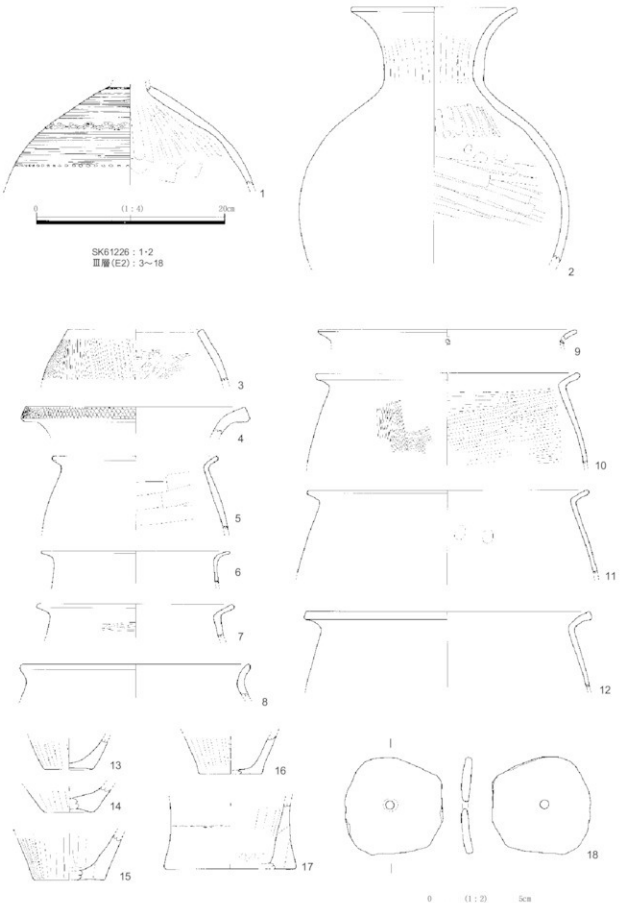


図8　出土土器・土製品 実測図1 (1/2・1/4)

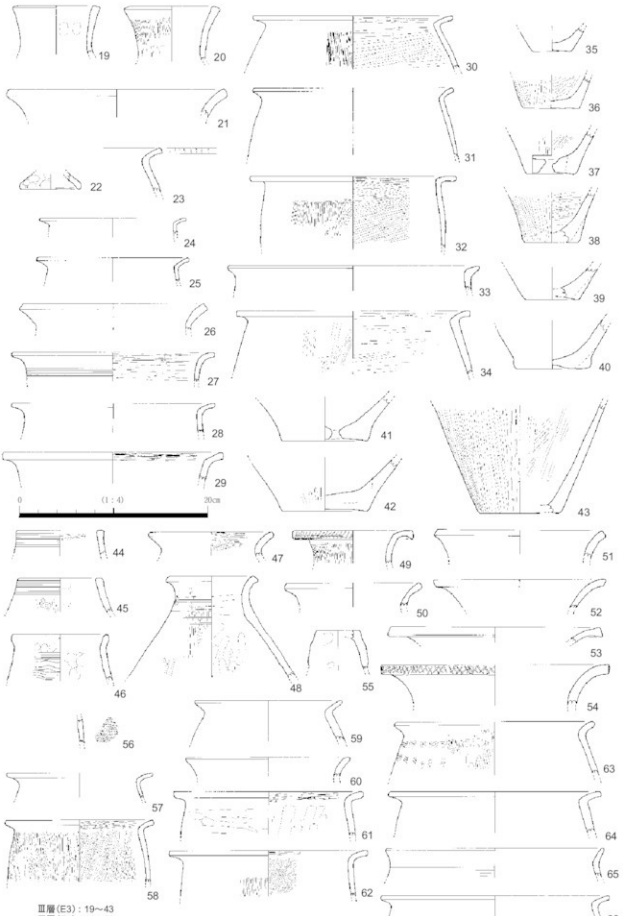


図9　出土土器・土製品 実測図2 (1/4)

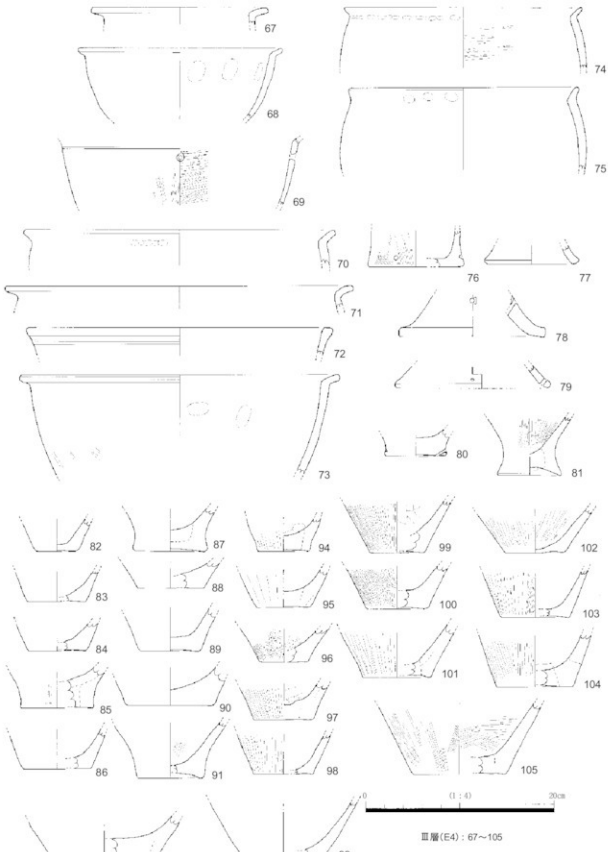


図10　出土土器・土製品 実測図3 (1/4)

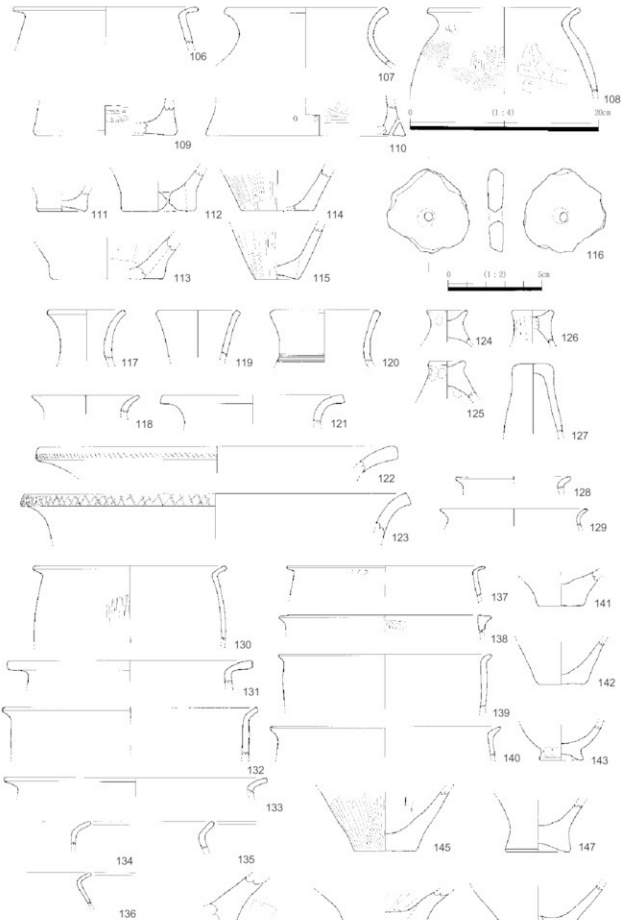


図11　出土土器・土製品 実測図4 (1/2・1/4)

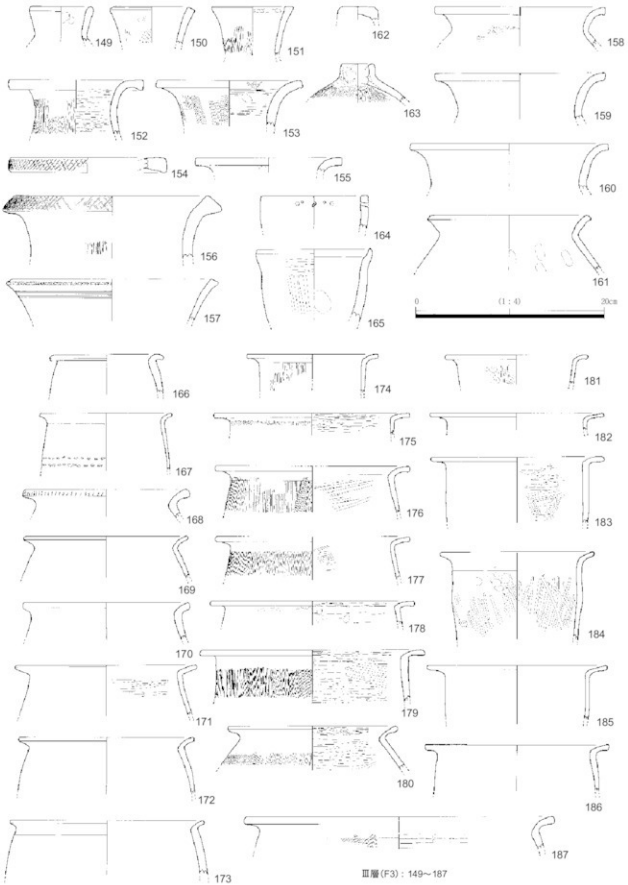


図12　出土土器・土製品 実測図5 (1/4)

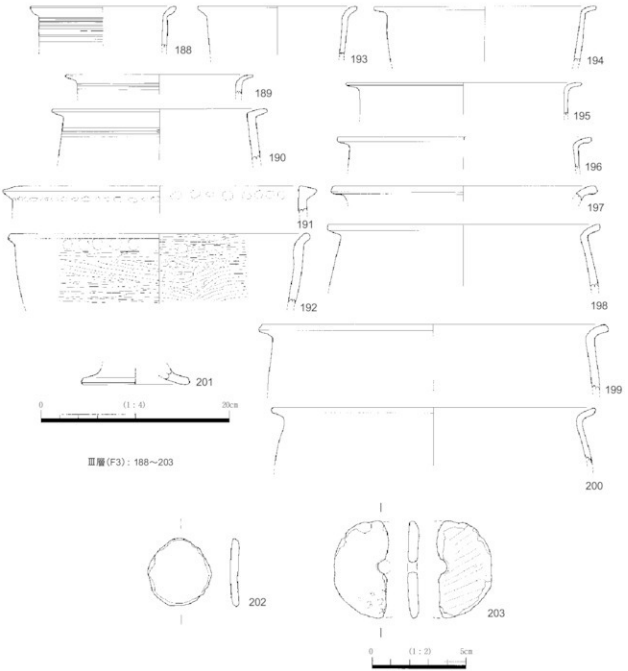
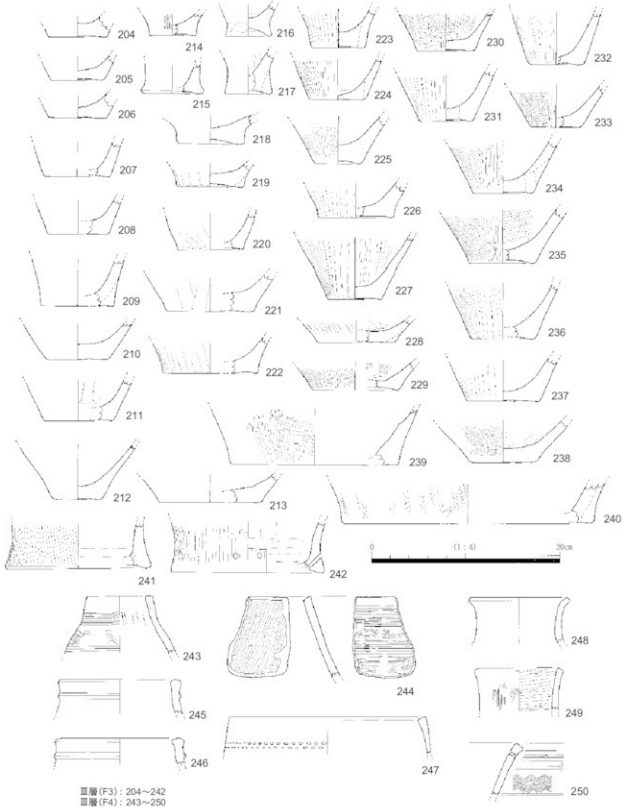
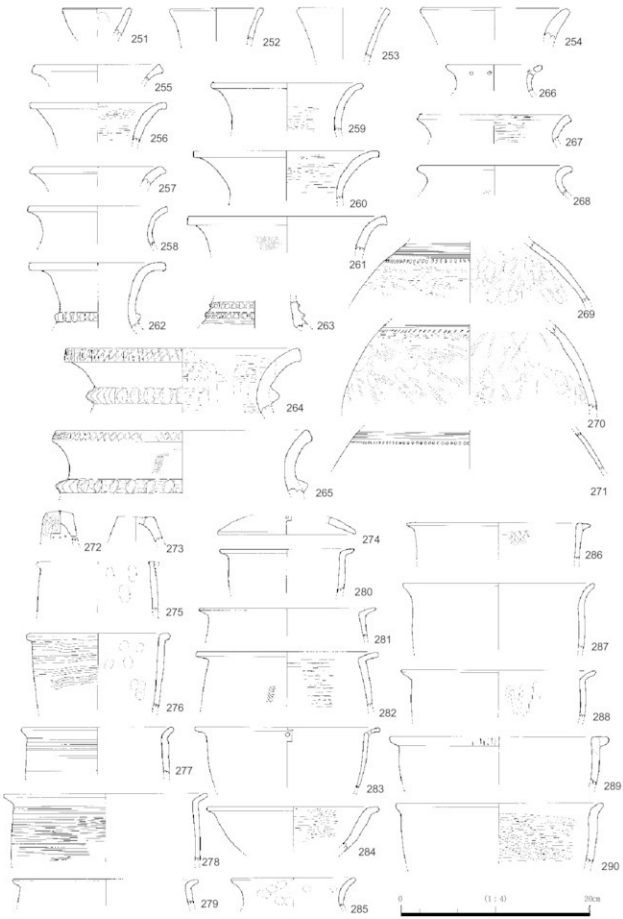


図13　出土土器・土製品 実測図6（1/2・1/4）



Ⅲ層(F3) : 204～242
Ⅲ層(F4) : 243～250

図14　出土土器・土製品 実測図7 (1/4)



Ⅲ層(F4)：251～290

図15　出土土器・土製品 実測図8（1/4）

図16　出土土器・土製品 実測図9（1/4）

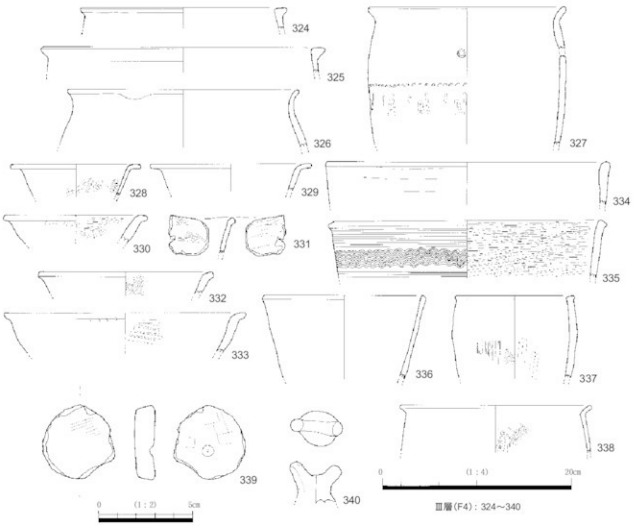


図17　出土土器・土製品 実測図10（1/2・1/4）

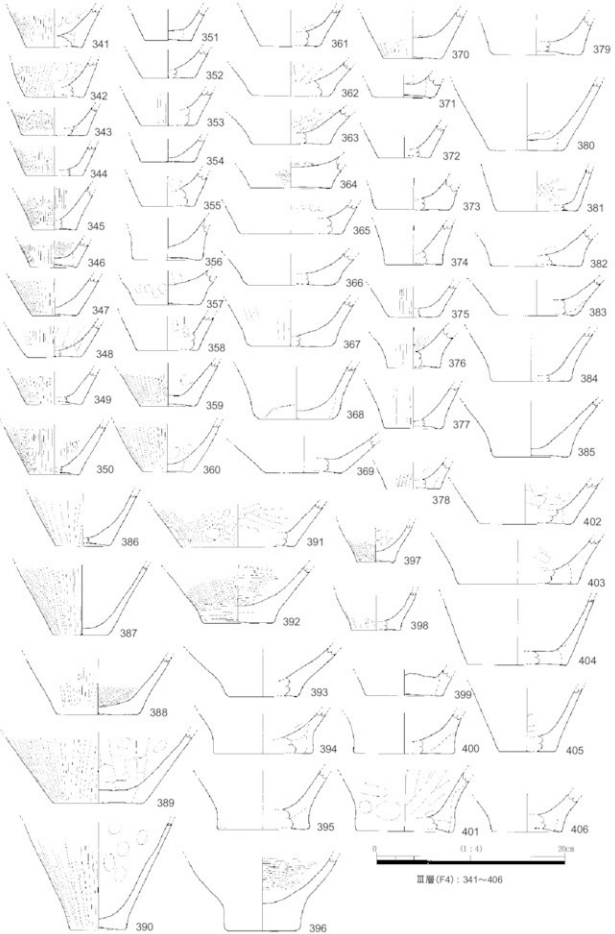
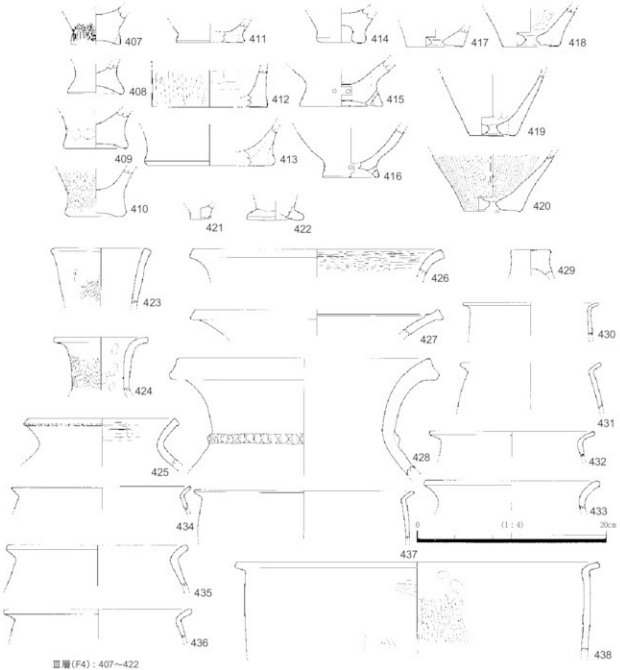


図18　出土土器・土製品 実測図11（1/4）



Ⅲ層(F4):407～422
Ⅲ層(F5):423～438

図19　出土土器・土製品 実測図12 (1/4)

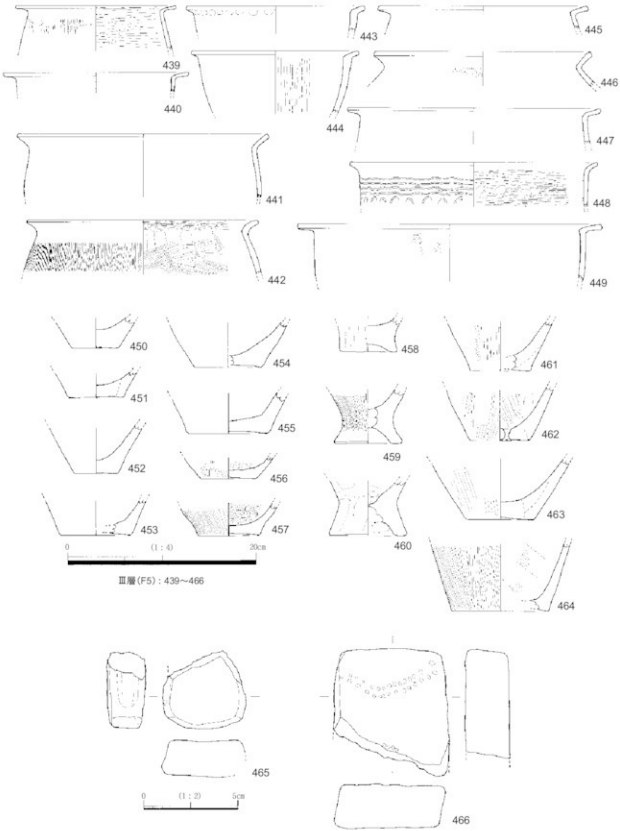


図20　出土土器・土製品 実測図13（1/2・1/4）

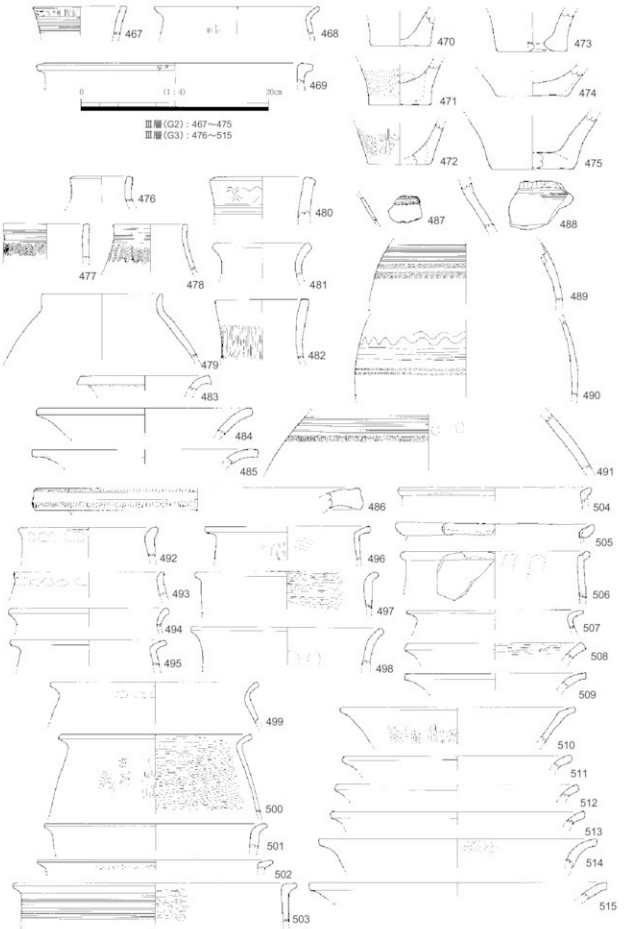


図21　出土土器・土製品 実測図14 (1/4)

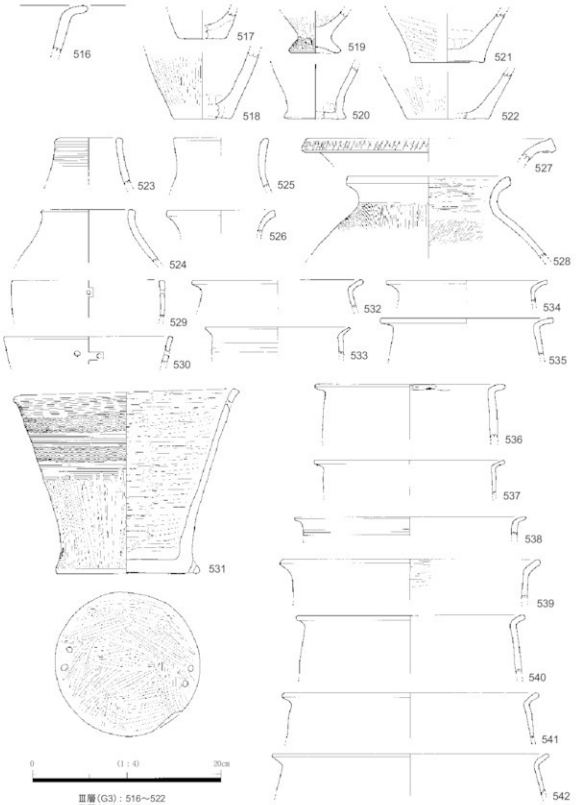


図22　出土土器・土製品 実測図15 (1/4)

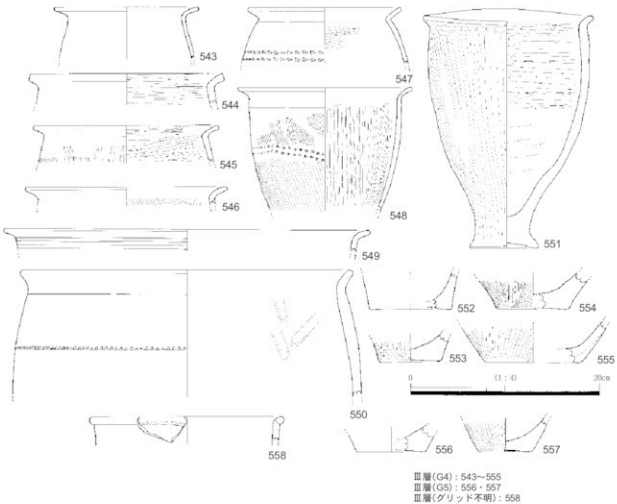


図23　出土土器・土製品 実測図16（1/4）

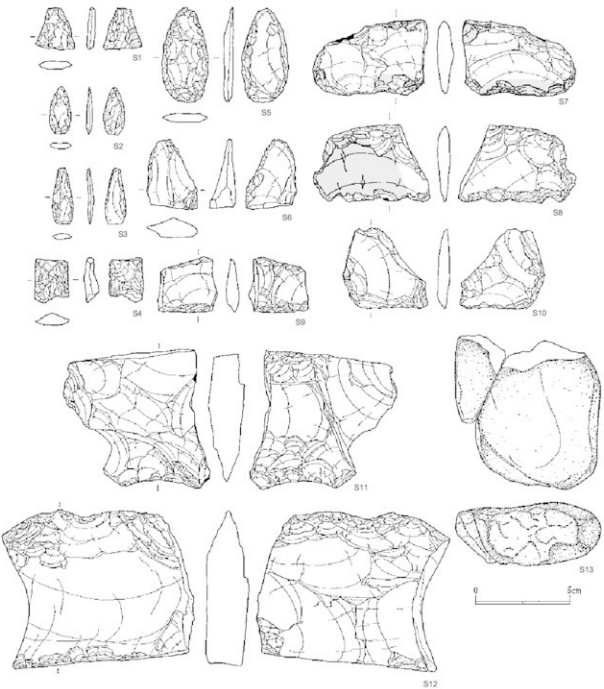


図24　E2区出土石器 実測図（1/2）

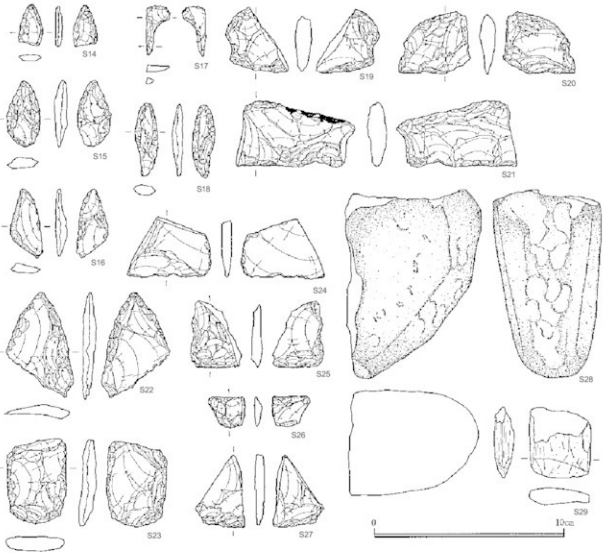


図25　E3区出土石器 実測図（1/2）

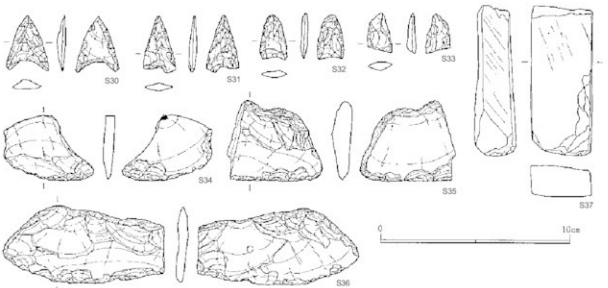


図26　F5区出土石器 実測図（1/2）

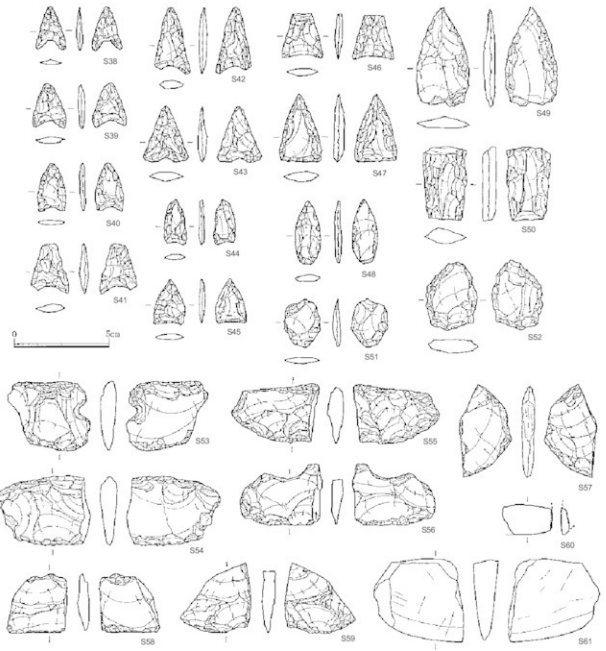


図27　E4区出土石器 実測図（1/2）

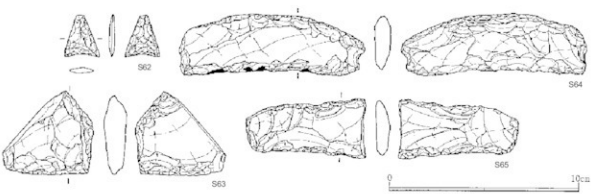


図28　G2区出土石器 実測図（1/2）

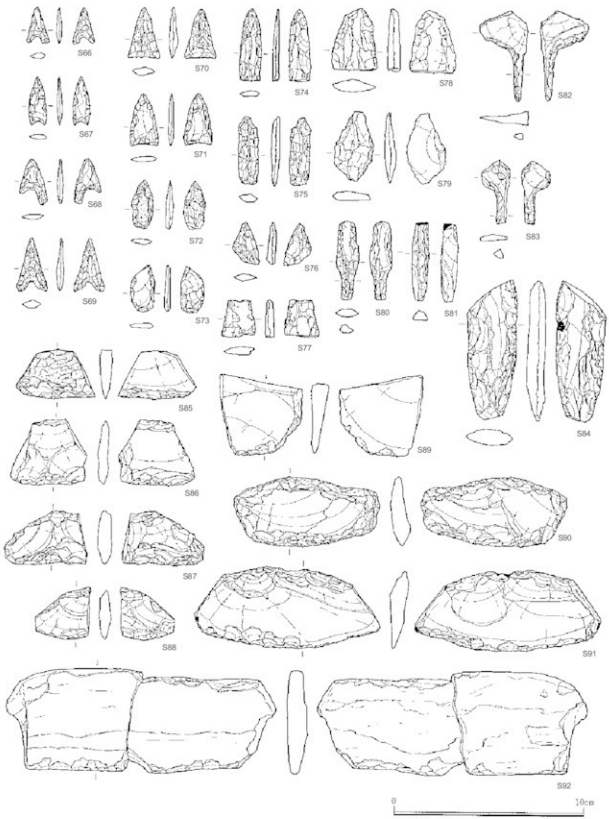


図29　F3区出土石器 実測図（1/2）

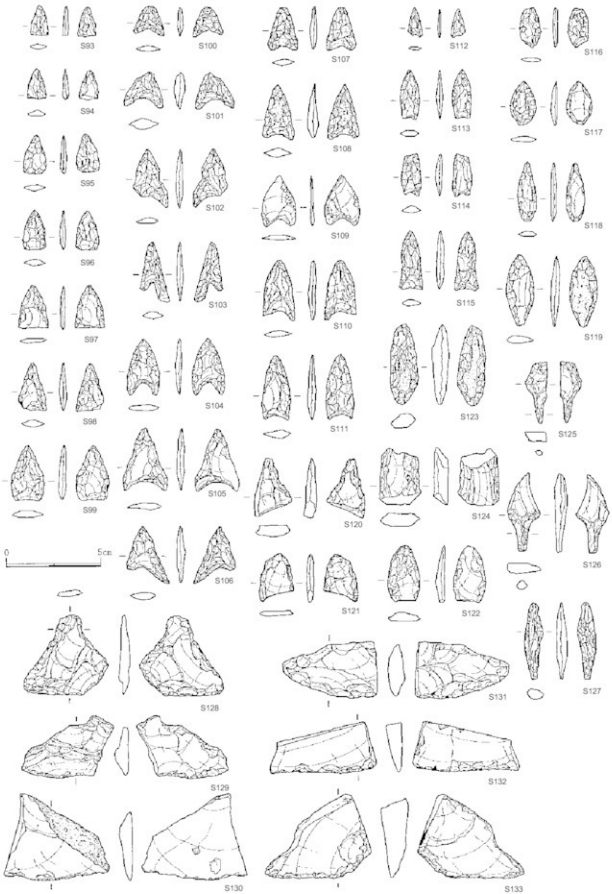


図30　F4区出土石器 実測図1 (1/2)

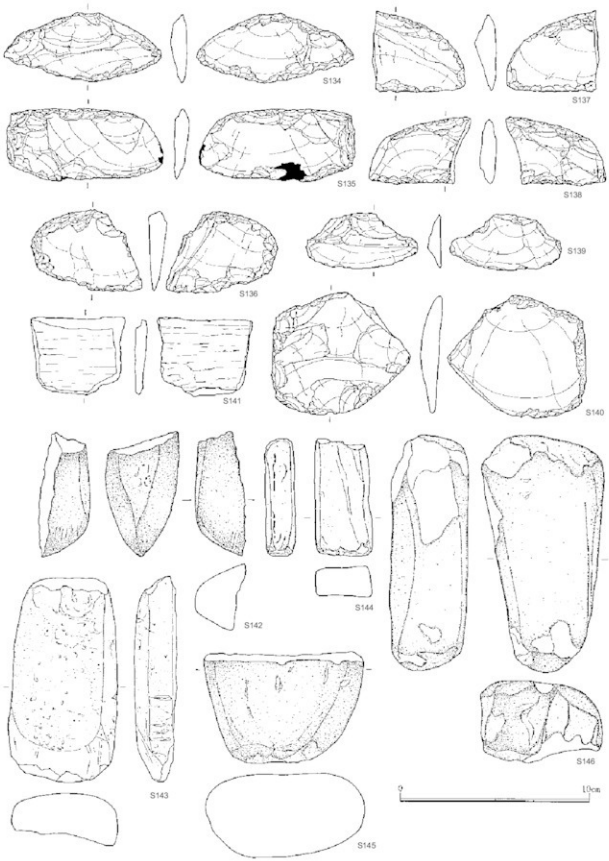


図31　F4区出土石器 実測図2（1/2）

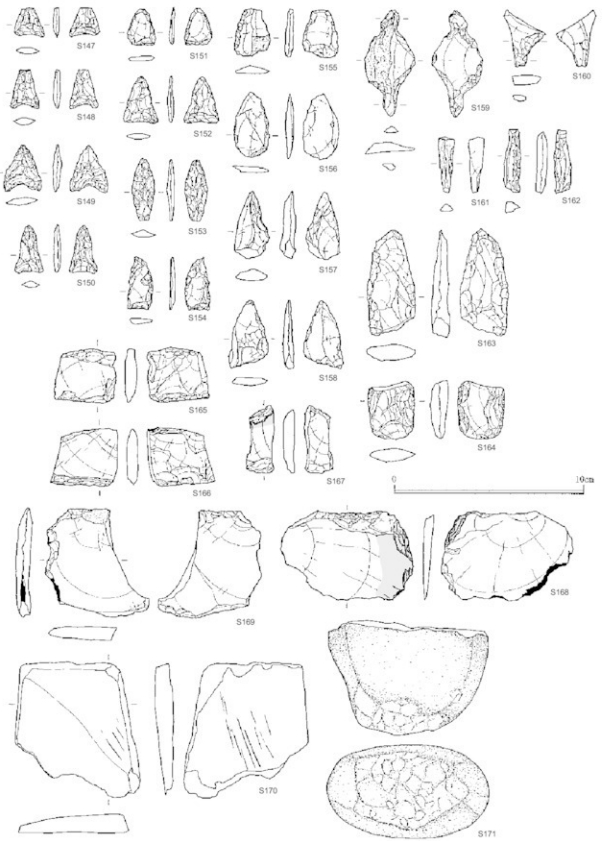


図32　G3区出土石器 実測図（1/2）

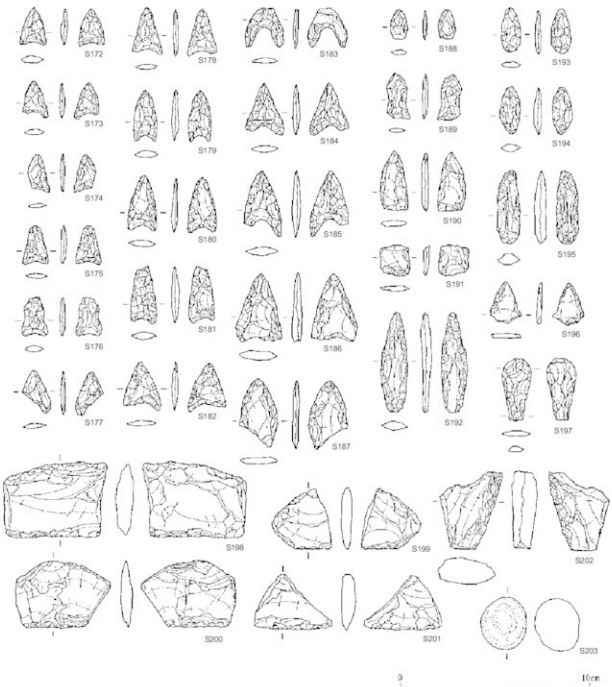


図33　G4区出土石器 実測図（1/2）

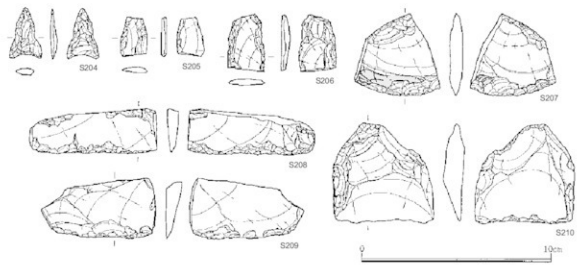


図34　Ⅲ層出土石器 実測図（1/2）

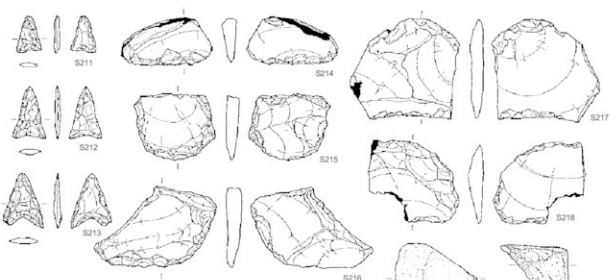


図35　F2区出土石器 実測図（1/2）

図36　G5区出土石器 実測図（1/2）

第５章　総括

第1節　土器・土製品について

ａ．出土グリッドの傾向

Ⅵ区の調査では，一定量の遺構出土遺物のほかに，遺構を被覆する遺物包含層（Ⅲ層）から大量の遺物が出土した。Ⅲ層出土遺物を報告し，土器・石器の組成や出土傾向を見ることで，弥生時代中期前半の集落のありかたについても検討を深めることが可能と考えられる。

まず，Ⅲ層から出土した土器・土製品のグリッド別の傾向を見たい。今回報告した土器・土製品のなかで，比較的多くの土器・土製品が出土したのがＦ３・Ｆ４・Ｆ５のグリッドである。これらグリッドについては，調査区の中央付近に位置する10m四方の完全なグリッドである。一方，Ｅ５を除くそれ以外のグリッドは，グリッドが調査区の外側に続くため，完全な10m四方のグリッドではない。この点が影響して，Ｆ３・Ｆ４・Ｆ５グリッドの土器・土製品の出土量が多いと見ることもできる。ただし，ここで留意したいのは，Ｆ３・Ｆ４・Ｆ５グリッドでは，Ⅲ層の下位で竪穴建物を多数検出している点である。Ⅵ区では調査区の中央付近，すなわちＦ３・Ｆ４・Ｆ５グリッド付近に竪穴建物が重複して構築されており，この点はⅢ層の遺物の多寡に影響を与えている可能性がある。

ｂ．土器について（図21・23）

今回報告したⅢ層出土の土器を見ると，器種の組成は壺・甕・鉢が大半を占めており，この点からこれらが主要な器種と見ることができる。また，少量ではあるがそれに蓋・高杯が加わる。この中で，特に壺と甕が組成の大半を占めるが，この点についてはⅥ区の遺構から出土した遺物の傾向と同じである。また，これらの土器は弥生時代中期前半のものと考えられるため，Ⅵ区の遺構出土遺物の年代観と大きな違いは認められない。なお，Ⅵ区のSK61226から擬朝鮮系無文土器の甕が１点出土しているが，Ⅲ層でもＧ３グリッドから３点（504～506），出土グリッドは不明であるがさらに１点（558）の合計４点の擬朝鮮系無文土器が出土している。SK61226はＧ３グリッド付近に位置することから，Ⅵ区から出土した擬朝鮮系無文土器の大半はＧ３グリッド付近で出土したことになる。SK61226から出土した１点も含めると，Ⅵ区では合計５点の擬朝鮮系無文土器が出土しており，当該集落が朝鮮半島と何らかの関連性を持つ可能性を考えることができる。

ここで，重要な遺物と指摘した擬朝鮮系無文土器について，個別の詳細を述べる[1]。

504は口縁部の粘土帯が遺存する甕である。復元口径は20.0cmで，粘土帯は外上方に開く断面楕円形を呈する。505は甕で，口縁部の粘土帯部分のみ遺存する。擬口縁から貼り付けられた粘土帯の内面は，上端まで横ナデで仕上げ，粘土帯は外側上方に長い楕円形を呈する。506も甕で，復元口径は20.0cm，遺存する高さは5.0cmで，口縁部から体部にかけての破片である。斜め上方から粘土帯を貼り付けており，接合の痕跡を明瞭に残す。口縁部外面下端は，下方から連続して指で押さえつけて整形した痕跡が認められる。体部は，下方にむけてやや外側に開き，丁寧なナデで仕上げる。558も甕で，口縁部から体部にかけての破片が遺存する。粘土帯を斜め上方から貼り付け，その下端は接合痕を明瞭に残す。口縁部外面下端は，506と同様に下方から指で連続的に押し付けた痕跡を残す。口縁部は横ナデ，それ以外の箇所はナデで丁寧に仕上げる。口縁部の形状は，やや丸みを持つ楕円形で，同様に口縁部内面も内傾するもののやや丸みを持つ。

また，昨年度報告したSK61226出土の甕についてもここで見ておく[2]。該当するのは，昨年度の報告書の図37に掲載した461で，器種は甕である。口縁部から体部の小破片が遺存する。口縁部は斜め上方に突出し，断面形状は円形に近い。ただし，成形方法は，Ⅲ層から出土した506・558などと同じで，口縁部は横ナデ，それ以外はナデで仕上げる。

以上，見てきたように，Ⅲ層およびSK61226から出土した５点の擬朝鮮系無文土器はいずれも小破片ながら，特に口縁部の形態や成形技法についての観察が可能であった。その形態的特徴から，明瞭に在地の弥生土器との相違を見出せる。このうち，505のように口縁部に貼り付けられた粘土帯の断面形態が明瞭に楕円形を呈するものもあれば，一方で506・558のように丸みを持つものまで認められる。これらの観察所見から，朝鮮系無文土器の製作技術を反映させたと見られる個体から，在地の弥生土器製作技術の影響を受けてその形態に変化が生じたと見られる個体までが存在すると考えられる。

以上のことから，これらの資料は，朝鮮半島との関連性を推定できる資料として，当該集落の評価を行なう場合に看過できない遺物と位置づけることができるだろう。

ここまで，土器についてのおおまかな傾向を概観したがここで改めて整理すると，今回報告したⅢ層出土の土器は弥生時代中期前半に帰属し，組成なども含めてⅥ区の遺構出土遺物と同様の傾向であると考えられる。

c．土製品について（図20）

次に土製品について見ると，Ⅲ層からは遺構出土遺物と同様に紡錘車と顔状土製品が出土している。Ⅵ区の遺構からもほぼ同じ形態の土製品が出土しており傾向は同じであるが，特に顔状土製品は分銅形土製品の祖形となる可能性もあるため，今後類例を精査する必要がある。なお，遺構から出土した顔状土製品は，SH61001-b・SH61002・SH61012のいずれも竪穴建物跡から出土している[3]。一方，Ⅲ層から出土した２点の顔状土製品（465・466）は，いずれもＦ５グリッドからの出土である。Ｆ５グリッドは，先述したSH61012の東側の一部分が該当するグリッドであることから，SH61012とその周辺で合計３点の顔状土製品が出土したことになる。

ここで，Ⅲ層出土土製品の観察所見を以下に述べる。

465は厚さ約1.9cmを測る土製品で，表裏で明瞭な加工の跡は認められない。上半部を欠損するが，下半は丸みを持ち，上方に向けて内側にすぼまる形状を呈する。466は厚さ2.4cmの土製品で，一方の面に列点を配することから，その配置などを考慮して顔状土製品と推定する。列点は，観察できる部分でＶ字状に配置される。土製品の形態は，角に丸みを持つが，下半部は欠損するため詳細は不明である。

これら土製品については，昨年度報告した顔状土製品の形態に類似する。顔面表現については双方の資料では明確ではないが，466は列点などにより顔面を意識した表現を施している可能性が高いと考えられるため，遺構から出土した顔状土製品と関連づけて今後類例を精査していく必要がある。

d．小結

Ⅲ層から出土した土器・土製品の組成と帰属時期をⅥ区の遺構出土遺物と比較したが，双方は同様の傾向と見ることができる。また，特徴的な遺物として取り上げた擬朝鮮系無文土器と顔状土製品の出土位置についても，同じ遺物が出土した遺構が位置するグリッドと調和的であった。以上がⅢ層から出土した土器・土製品の特徴と言える。

さて，Ⅲ層出土の土器・土製品の整理をとおして考えられることは，Ⅲ層は上流部から流れ込んできた堆積とは異なる可能性がある点である。Ⅲ層出土遺物の傾向を考えると，本来は遺構に帰属する遺物が後世に何らかの要因で遺構から遊離し，それを調査でⅢ層出土遺物として取り上げるに至った可能性などが考えられる。いずれにしても，Ⅲ層出土の土器・土製品の整理から，当該集落が弥生時代中期前半の集落であるという結論を変更する必要はないことが明らかになった。

第2節　石器について

包含層から出土した石器のうち，製品を優先して222点について掲載した。内訳は打製石器が195点，磨製石器が７点，礫石器類が８点，石器製作関連の石器が12点である（表３）。打製石器では石鏃と石鏃未製品で114点を占め，全体の半数を超える。次いで打製石包丁，削器となる。ここでは，出土量の多い石鏃，石錐，打製石庖丁についてまとめを行う。

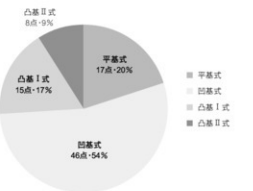
石鏃では，形態がわかる86点の内訳として，凹基式が46点と全体の54％を占め，次いで平基式が17点・20％，凸基Ⅰ式が15点・17％，凸基Ⅱ式が８点・９％である。有茎式は出土していない（図37）。また，最大長３cm・重量２ｇを超える大型石鏃は12点あり，凸基式の割合が高い傾向にある。

石錐は，頭部と錐部との境が明瞭で，錐部が細長い形態のⅠ類が８点・62％を占め，次いで頭部と錐部の境がなく，ほぼ一定の幅をもつ棒状の形態のⅢ類が４点・31％である。分厚い多角形状を呈するⅡ類は１点のみであり，ここでも特定の形態が優勢する傾向がみられる。

打製石包丁は，抉りを持つものと，持たないものの両方の形態があり，総じて刃部に摩滅痕や体部に光沢痕を持つもの，幅の個体差が大きい傾向にある。これらの痕跡は複数回の使用や刃部の再成形

表3　掲載遺物器種別点数

器種	点数	器種	点数	器種	点数
石鏃	99	打製石包丁	20	石核	1
石鏃未製品	15	磨製石包丁	1	楔形石器	2
石錐	14	磨製石包丁未製品	1	M F	2
打製石剣	6	太型蛤刃石斧	1	R F	3
尖頭器	3	扁平片刃石斧	2	剥片	1
尖頭器未製品	1	柱状片刃石斧未製品	1	破片	2
削器	35	磨製石斧	1	素材	1
石匙	1	敲き石	2	石皿	2
打製石斧	1	礫石	3	投弾	1



によって形成されたと考えられるが，完形品が少ないことから，形態差を含めた詳細な分析は行えなかった。今後の課題としたい。

第3節　まとめ

以上，土器・土製品・石器の全体的な傾向を概観したが，これら所見を取りまとめると，Ⅵ区のⅢ層出土遺物の特徴は以下のとおりに整理できる。

①土器の年代観から，Ⅲ層出土遺物はⅥ区の遺構出土遺物の年代観とほぼ同じである。

②特徴的な遺物として抽出できる擬朝鮮系無文土器や顔状土製品の形態や出土グリッドは，同様の遺物が出土した遺構の位置と調和的に理解できる。従って，Ⅲ層出土遺物は本来下位の遺構に帰属した遺物が遊離した可能性が考えられる。

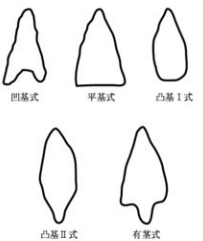


図37　石鏃形態

③打製石器の中で出土量の多い石鏃については，全体の約54％が凹基式である。

以上のように考えられるが，Ⅵ区で検出した遺構については，Ⅲ層出土遺物の整理からも長期的に営まれた集落とは言いがたい。従って，当調査区においては，弥生時代中期前半に集落が営まれるが，その集落は，出土遺構・遺物より朝鮮半島との何らかの関連性を持つ特徴的な集落として位置づけることができる。

さて，高松市教育委員会では当事業に伴う報告書作成を十数年かけて進めてきたが，その報告書の刊行も平成25年度で終了する予定である。今後の報告書刊行予定は，平成24年度にⅢ区の遺構編，平成25年度にⅡ区の遺物編という順で計画している。Ⅲ区はⅥ区の南側に位置する調査区で，Ⅵ区と同様に多数の遺構・遺物が出土した調査区である。加えて，Ⅵ区で出土した擬朝鮮系無文土器がⅢ区からも出土しており，奥の坊遺跡を考える場合，非常に重要な調査区と言える。Ⅲ区の調査成果を整理することで，弥生時代中期前半の集落の様相を明らかにできるだけでなく，奥の坊遺跡群全体の時期別の変遷を明らかにできるものと考えられる。今後の報告書作成にあたっては，これまでの成果を総括して，遺跡全体の様相をより具体的に整理することに努めたい。

引用　参考文献

1）擬朝鮮系無文土器の製作技法や傾向については，片岡宏二氏に御教示いただいた。記して謝意を表する。

2）高松市教育委員会（編）2011『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第９冊　奥の坊遺跡群Ⅸ』高松市教育委員会

3）註2）前掲

遺物観察表

表4　土器・土製品 観察表（1）

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名 層位名	器種	法量(cm)			調整		色調	胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面		
1	8	G3	SK61226	細頸壺	—	—	(10.5)	櫛描直線文8本1束5条・櫛描波状文8本1束1条・櫛描直線文8本1束5条，刺突文	指頭ナデ，ナデ	7.5YR 6/6 橙色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 5mm以下の石英・長石を多く含む	良好
2	8	G3	SK61226	長頸壺	17.1	—	(27.1)	縦位ミガキ	指頭ナデ，指オサエ，ヘラナデ	2.5Y 7/4 浅黄色 2.5Y 6/3 にぶい黄色	密 6mm以下の石英・長石・雲母・金雲母を含む	良好
3	8	E2	Ⅲ層	無頸壺	(14.1)	—	[5.6]	ナデ，ヘラナデ，縦位ミガキ	ナデ，ミガキ	7.5YR 4/3 褐色 7.5YR 4/4 褐色	密 2.5mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
4	8	E2	Ⅲ層	広口壺	(23.0)	—	[2.8]	ナデ 口縁端部：斜格子文	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
5	8	E2	Ⅲ層	甕	(17.2)	—	[7.8]	摩滅(不明)	板ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 3mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
6	8	E2	Ⅲ層	甕	(19.8)	—	[3.4]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 6/6 明黄褐色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
7	8	E2	Ⅲ層	甕	(20.5)	—	[3.6]	ナデ，横位ミガキ	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/8 明赤褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
8	8	E2	Ⅲ層	甕	(24.0)	—	[3.5]	摩滅(不明)	ナデ	5YR 4/4 にぶい赤褐色 7.5YR 5/8 明褐色	密 3mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
9	8	E2	Ⅲ層	甕	(27.1)	—	[1.6]	摩滅(不明) 頸部：円孔1孔	摩滅(不明)	10YR 6/6 明黄褐色 10YR 6/6 明黄褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
10	8	E2	Ⅲ層	甕	(27.7)	—	[9.7]	ナデ，縦位ハケ	ナデ，横位ミガキ	7.5YR 7/6 橙色 10YR 7/6 明黄褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
11	8	E2	Ⅲ層	甕	(29.8)	—	[8.9]	摩滅(不明)	指オサエ	10YR 5/2 灰黄褐色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
12	8	E2	Ⅲ層	甕	(29.6)	—	[8.0]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
13	8	E2	Ⅲ層	(底部)	—	(5.2)	[3.3]	縦位ミガキ，指オサエ	指頭ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
14	8	E2	Ⅲ層	(底部)	—	(5.2)	[2.7]	縦位板ナデ・ミガキ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 5.5mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
15	8	E2	Ⅲ層	(底部)	—	(7.4)	[4.9]	縦位板ナデ，ナデ	指頭ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 5YR 4/6 赤褐色	密 2.5mm以下の石英・長石・褐色粒含む	良好
16	8	E2	Ⅲ層	(底部)	—	(6.7)	[4.0]	縦位ミガキ	ナデ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 1.5mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
17	8	E2	Ⅲ層	(底部)	—	(13.8)	[7.0]	ナデ	指頭ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 6/8 橙色	密 3.5mm以下の石英・長石含む	良好
18	8	E2	Ⅲ層	紡錘車	縦 5.1	横 5.1	厚み 0.5	摩滅(不明) 穿孔	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/6 明褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
19	9	E3	Ⅲ層	直口壺	(8.0)	—	[5.1]	ナデ	指オサエ	7.5YR 4/2 灰褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
20	9	E3	Ⅲ層	直口壺	(8.8)	—	[5.7]	ナデ，縦位ハケ	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
21	9	E3	Ⅲ層	広口壺	(22.7)	—	[3.0]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 4mm以下の石英・長石含む	良好
22	9	E3	Ⅲ層	製塩土器 (底部)	—	(6.2)	[1.6]	指オサエ	ナデ	10YR 4/1 褐灰色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
23	9	E3	Ⅲ層	甕	—	—	[4.7]	摩滅(不明) 口縁端部：刻目文	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
24	9	E3	Ⅲ層	甕	(15.4)	—	[2.0]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/4 にぶい褐色 5YR 6/8 橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良
25	9	E3	Ⅲ層	甕	(16.0)	—	[2.5]	ナデ	ナデ	7.5YR 7/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
26	9	E3	Ⅲ層	甕	(19.0)	—	[2.9]	ナデ	ナデ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
27	9	E3	Ⅲ層	甕	(21.4)	—	[3.0]	ナデ 櫛描直線文6本1束1条	横位ミガキ	5YR 6/4 にぶい橙色 5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
28	9	E3	Ⅲ層	甕	(21.6)	—	[3.2]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
29	9	E3	Ⅲ層	鉢	(23.2)	—	[3.1]	ナデ	ナデ，横位ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
30	9	E3	Ⅲ層	甕	(21.2)	—	[5.6]	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 4/2 灰褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
31	9	E3	Ⅲ層	甕	(21.0)	—	[7.3]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 4/1 褐灰色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
32	9	E3	Ⅲ層	甕	(21.7)	—	[7.6]	ナデ，縦位ハケ	ナデ，横位ミガキ	10YR 4/2 灰黄褐色 10YR 4/2 灰黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
33	9	E3	Ⅲ層	甕	(26.4)	—	[2.6]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 8/3 浅黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 0.5～3mmの石英・長石含む	良
34	9	E3	Ⅲ層	甕	(24.6)	—	[6.7]	縦位ミガキ，横位ハケ	横位ミガキ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
35	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(4.1)	[2.6]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 4mm以下の石英・長石含む	良
36	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.8)	[3.5]	縦位ミガキ	横位ミガキ	5YR 7/6 橙色 7.5YR 8/8 黄橙色	やや密 0.5～2mmの石英・長石含む	良
37	9	E3	Ⅲ層	甑 (底部)	—	(5.0)	[4.6]	ナデ，縦位ミガキ 底部：穿孔1孔(焼成前)	横位ミガキ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
38	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.6)	[5.3]	ナデ，縦位ミガキ	横位ミガキ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
39	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.4)	[3.4]	ナデ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 10YR 4/1 褐灰色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
40	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.4)	[5.2]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 8/6 浅黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 0.2～5mmの石英・長石・雲母含む	良
41	9	E3	Ⅲ層	甑 (底部)	—	(9.0)	[4.8]	摩滅(不明) 底部：穿孔1孔(焼成前)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
42	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(9.0)	[5.5]	縦位ミガキ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 6mm以下の石英・長石含む	良好
43	9	E3	Ⅲ層	(底部)	—	(8.4)	[11.5]	縦位ミガキ	縦位ミガキ	7.5YR 5/2 灰褐色 10YR 5/2 灰黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
44	9	E4	Ⅲ層	無頸壺	(9.0)	—	[2.7]	摩滅(不明) 櫛描直線文8本1束1条	横位ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
45	9	E4	Ⅲ層	無頸壺	(8.6)	—	[3.6]	縦位ハケ 櫛描直線文8本	ナデ，指頭ナデ	10YR 8/4 浅黄橙色 10YR 8/3 浅黄橙色	やや粗 0.5～1mmの石英・長石含む	良
46	9	E4	Ⅲ層	無頸壺	(10.0)	—	[4.9]	ナデ，指オサエ 櫛描直線文・櫛描波状文	ナデ，指オサエ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや粗 0.5～3mmの石英・長石含む	良
47	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(13.0)	—	[2.6]	ナデ	ナデ，横位ミガキ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
48	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(8.8)	—	[10.8]	ナデ 縦位ハケ→櫛描直線文10本	指頭ナデ，指オサエ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
49	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(12.5)	—	[3.5]	縦位ハケ 口縁端部：刻目文	ナデ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
50	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(14.0)	—	[2.5]	ナデ	摩滅(不明)	10YR 5/1 褐灰色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや粗 1～3mmの石英・長石含む	良
51	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(17.4)	—	[3.0]	ナデ	ナデ	7.5YR 5/8 明褐色 7.5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
52	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(17.9)	—	[3.1]	ナデ	摩滅(不明)	10YR 4/3 にぶい黄褐色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
53	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(22.0)	—	[1.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/6 明黄褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
54	9	E4	Ⅲ層	広口壺	(24.0)	—	[4.3]	摩滅(不明) 口縁端部：斜格子文	摩滅(不明)	2.5YR 6/8 橙色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	やや粗 0.5～2mmの石英・長石含む	良
55	9	E4	Ⅲ層	壺	上端部径 (4.4)	—	[4.2]	ナデ，指オサエ	ナデ，指オサエ	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
56	9	E4	Ⅲ層	甕	—	—	[2.6]	摩滅(不明) 沈線5条	摩滅(不明)	10YR 5/4 にぶい黄褐色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 1～2mmの石英・長石含む	良
57	9	E4	Ⅲ層	甕	(15.4)	—	[2.6]	ナデ	ナデ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 7.5YR 3/1 黒褐色	やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良好

土器・土製品 観察表（2）

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名層位名	器種	法量(cm)			調整		色調		胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面			
58	9	E4	竪穴	壺	(15.6)	—	(6.6)	縦位ミガキ	縦・横位ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色		密 5.5～7mmの石英・長石、 0.2～3mmの金雲母含む	良好
59	9	E4	竪穴	壺	(15.6)	—	(4.2)	ナデ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 7.5YR 7/4 にぶい黄橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
60	9	E4	竪穴	壺	(17.2)	—	(2.6)	ナデ	ナデ	10R 6/6 橙色 10R 6/6 橙色		密 5mm以下の石英・長石含む	良好
61	9	E4	竪穴	壺	(19.6)	—	(4.6)	ナデ、ヘラナデ	口縁部：縦・横位ミガキ 体部：板ナデ	7.5YR 6/6 橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石、 0.5mm以下の金雲母含む	良
62	9	E4	竪穴	壺	(20.9)	—	(4.9)	縦位ハケ	縦・横位ミガキ	10R 6/6 橙色 10R 6/6 橙色		やや粗 0.5～1mmの石英・長石含む	良
63	9	E4	竪穴	壺	(20.8)	—	(5.7)	縦位ハケ→縦位ミガキ	ナデ	10R 5/6 明赤褐色 10R 5/6 明赤褐色		やや粗 5mm以下の石英・長石含む	良
64	9	E4	竪穴	壺	(22.0)	—	(4.4)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10R 5/6 明赤褐色		やや粗 0.5～1mmの石英・長石含む	良
65	9	E4	竪穴	壺	(23.0)	—	(3.1)	摩滅(不明) 底面スカシ	摩滅(不明)	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 7/4 にぶい橙色		密 5mm以下の石英・長石含む	良好
66	9	E4	竪穴	壺	(24.0)	—	(2.7)	ナデ	ナデ	10YR 6/6 明黄褐色 10R 7/6 橙色		密 0.5～5mmの石英・長石含む	良
67	10	E4	竪穴	壺	(18.6)	—	(1.8)	ナデ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
68	10	E4	竪穴	鉢	(21.4)	—	(7.5)	摩滅(不明)	指オサエ	7.5YR 5/6 明褐色 10R 6/6 橙色		やや粗 5mm以下の石英・長石含む	良
69	10	E4	竪穴	鉢	—	—	(6.9)	ナデ、縦位ミガキ 底縁1条、体部：壁孔1孔	ナデ、縦位ミガキ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色		やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良
70	10	E4	竪穴	壺	(32.6)	—	(3.6)	ナデ、指オサエ	ナデ	10YR 5/1 褐灰色 10YR 4/1 褐灰色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
71	10	E4	竪穴	壺	(36.6)	—	(2.4)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 2.5YR 7/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
72	10	E4	竪穴	壺	(31.0)	—	(3.6)	摩滅(不明) 横描直線文3本	摩滅(不明)	10YR 6/6 明黄褐色 2.5YR 6/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
73	10	E4	竪穴	壺	(33.6)	—	(10.3)	ナデ、縦位ミガキ	ナデ、縦位ミガキ、指オサエ	10YR 7/4 明黄褐色 10YR 3/1 黒褐色		やや粗 2mm以下の石英・長石・角閃石含む	良
74	10	E4	竪穴	壺	(24.9)	—	(6.4)	指オサエ	縦位ミガキ	10YR 6/6 黄褐色 10R 4/6 赤褐色		密 5mm以下の石英・長石含む	良好
75	10	E4	竪穴	壺	(24.0)	—	(8.7)	ナデ	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 10R 5/6 明赤褐色		やや粗 5mm以下の石英含む	良
76	10	E4	竪穴	(底部)	—	(9.9)	(3.8)	縦位ハケ 底部：壁孔2孔1対(未貫通)	ナデ	10R 6/6 橙色 10YR 2/1 黒褐色		密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
77	10	E4	竪穴	高杯 (脚部)	—	(9.0)	(2.0)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 5/2 灰褐色 7.5YR 7/6 橙色		やや粗 1～2mmの石英含む	良
78	10	E4	竪穴	高杯 (脚部)	—	(15.2)	(4.4)	ナデ 脚部：壁孔1孔	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
79	10	E4	竪穴	高杯 (脚部)	—	(16.0)	(2.4)	ナデ 脚部：壁孔1孔	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色		やや粗 0.5～5mmの石英・長石含む	良
80	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.2)	(2.6)	ナデ、底部：ミガキ、円形スカシ2個1対2方	ナデ	10YR 5/3 にぶい黄橙色 10YR 4/3 にぶい黄橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
81	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.6)	(6.2)	縦位ミガキ	縦位ミガキ、指頭ナデ	10YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
82	10	E4	竪穴	(底部)	—	(4.0)	(3.5)	摩滅(不明)	ナデ	10YR 6/6 橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
83	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.0)	(3.5)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
84	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.0)	(2.9)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい橙色 10YR 6/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
85	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.6)	(4.3)	縦位ハケ	摩滅(不明)	10YR 5/3 にぶい黄橙色 7.5YR 4/3 褐色		密 5mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
86	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.0)	(4.2)	ナデ	ナデ	10YR 8/4 浅黄橙色 10YR 5/6 黄褐色		やや粗 0.5～5mmの石英・長石含む	良
87	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.4)	(4.5)	ナデ	摩滅(不明)	10YR 6/6 橙色 10YR 6/8 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
88	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.8)	(2.7)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
89	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.0)	(4.6)	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色		やや粗 1～4mmの石英・長石含む	良好
90	10	E4	竪穴	(底部)	—	(8.8)	(4.1)	ナデ	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
91	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.0)	(3.6)	摩滅(不明)	縦位ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 6/1 褐灰色		粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
92	10	E4	竪穴	(底部)	—	(11.0)	(4.6)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 6/6 黄橙色 2.5YR 7/8 黄橙色		やや粗 5mm以下の石英・長石含む	良好
93	10	E4	竪穴	(底部)	—	(8.2)	(6.6)	ナデ	摩滅(不明)	10YR 6/4 橙色 10YR 6/2 灰黄褐色		やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良好
94	10	E4	竪穴	(底部)	—	(5.2)	(3.5)	縦位ミガキ	指頭ナデ	10YR 8/4 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
95	10	E4	竪穴	(底部)	—	(5.6)	(4.6)	板ナデ	ナデ	10YR 5/4 にぶい黄橙色 10YR 4/3 褐色		やや粗 1mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
96	10	E4	竪穴	(底部)	—	(5.2)	(3.6)	縦位ミガキ、ナデ	指オサエ→ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 2.5YR 4/1 褐灰色		やや粗 0.5～5mmの石英・長石、 0.5mmの金雲母を少量含む	良好
97	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.2)	(3.8)	縦位ミガキ	板ナデ	10YR 5/4 にぶい褐色 2.5Y 5/6 明赤褐色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
98	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.4)	(4.5)	縦位ミガキ	ナデ	10YR 4/2 灰黄褐色 10YR 6/6 橙色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
99	10	E4	竪穴	(底部)	—	(5.5)	(5.4)	縦位ミガキ	ヘラナデ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 5/4 にぶい褐色		やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
100	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.4)	(4.6)	ヘラナデ→縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 6/6 にぶい橙色 10R 4/6 赤褐色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
101	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.2)	(5.6)	縦位ミガキ 底部：指オサエ	ナデ	10YR 4/4 にぶい褐色 10YR 6/3 にぶい橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
102	10	E4	竪穴	(底部)	—	(6.2)	(4.6)	縦位ミガキ	縦位ミガキ、板状工具の圧痕	10YR 4/3 にぶい赤褐色 10YR 4/3 にぶい赤褐色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
103	10	E4	竪穴	(底部)	—	(7.0)	(4.9)	ヘラナデ→縦位ミガキ	摩滅(不明)	2.5YR 6/6 にぶい赤褐色 10YR 6/6 明黄褐色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
104	10	E4	竪穴	(底部)	—	(8.2)	(5.5)	縦位ミガキ	指オサエ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
105	10	E4	竪穴	(底部)	—	(9.4)	(7.5)	縦位ハケ→縦位ミガキ	縦位ミガキ、指頭ナデ	10YR 5/4 にぶい黄橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色		やや粗 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
106	11	E5	竪穴	壺	(19.4)	—	(4.6)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/3 にぶい黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色		やや粗 1mm以下の石英含む	良好
107	11	E5	竪穴	広口壺	(16.7)	—	(6.6)	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 6/6 明黄褐色 2.5YR 6/6 橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
108	11	E5	竪穴	壺	(15.8)	—	(9.6)	縦位ハケ、縦位ミガキ	板状工具の圧痕→ヘラズリ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色		やや粗 2mm以下の石英含む	良好
109	11	E5	竪穴	鉢 (底部)	—	(14.6)	(3.2)	ナデ	縦位ミガキ	10YR 7/6 橙色 10YR 7/6 橙色		やや粗 1～4mmの石英含む	良
110	11	E5	竪穴	鉢 (底部)	—	(21.2)	(3.7)	ナデ 底部：壁孔2孔1対1箇所	縦・横位ミガキ	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/6 橙色		やや粗 1mm以下の石英含む	良好
111	11	E5	竪穴	(底部)	—	(4.8)	(3.3)	ナデ	ナデ	10R 5/6 明赤褐色 10YR 5/4 にぶい黄橙色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
112	11	E5	竪穴	(底部)	—	(7.6)	(4.3)	摩滅(不明) 底部：壁孔1孔	ナデ	10YR 5/4 にぶい赤褐色 7.5YR 4/6 褐色		やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
113	11	E5	竪穴	(底部)	—	(11.6)	(4.4)	ナデ	板ナデ	10YR 6/6 橙色 10YR 5/2 灰黄褐色		やや粗 1mm以下の石英含む	良
114	11	E5	竪穴	(底部)	—	(7.4)	(4.4)	縦位ミガキ	摩滅(不明)	2.5YR 6/6 にぶい赤褐色 10YR 5/4 にぶい黄橙色		密 1mm以下の石英・長石含む	良好
115	11	E5	竪穴	(底部)	—	(4.6)	(5.6)	縦位ミガキ	ナデ	10YR 7/3 にぶい黄橙色 2.5Y 7/2 灰黄色		やや粗 1mm以下の石英含む	良好

土器・土製品 観察表 (3)

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名層位名	器種	法量(cm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	色調 上：外面 下：内面	胎土	焼成
116	11	E5	Ⅲ層	紡錘車	縦 (4.4)	横 (4.3)	厚み 0.8	ナデ 両面から穿孔(焼成後)	摩滅(不明)	5YR 4/4 にぶい赤褐色 7.5YR 3/3 暗褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
117	11	F2	Ⅲ層	直口壺	(7.8)	−	〔5.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	粗 1~3mmの石英・長石含む	良好
118	11	F2	Ⅲ層	壺	(11.1)	−	〔2.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 8/3 浅黄橙色 10YR 8/3 浅黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
119	11	F2	Ⅲ層	長頸壺	(8.3)	−	〔5.0〕	ナデ	摩滅(不明)	10YR 6/6 明黄褐色 7.5YR 6/8 橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
120	11	F2	Ⅲ層	直口壺	(10.8)	−	〔5.6〕	櫛描直線文7本(単位不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
121	11	F2	Ⅲ層	広口壺	(19.0)	−	〔3.1〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 10YR 4/2 灰黄褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
122	11	F2	Ⅲ層	広口壺	(37.4)	−	〔2.9〕	摩滅(不明) 口縁端部：刻目文	摩滅(不明)	7.5YR 5/3 にぶい褐色 2.5Y 3/2 黒褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
123	11	F2	Ⅲ層	広口壺	(40.2)	−	〔4.9〕	口縁端部：斜格子文	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
124	11	F2	Ⅲ層	盃	−	(4.2)	〔3.5〕	ナデ，指オサエ	ナデ，指オサエ	10YR 7/6 明黄褐色 7.5YR 7/6 橙色	粗 3mm以下の石英・長石含む	良
125	11	F2	Ⅲ層	盃	3.5	−	〔4.0〕	ナデ，指オサエ 手づくね成形	ナデ，指オサエ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
126	11	F2	Ⅲ層	盃	(4.0)	−	〔3.5〕	ヘラナデ	摩滅(不明)	5YR 4/6 赤褐色 5YR 4/6 赤褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
127	11	F2	Ⅲ層	盃	上端部径 (2.7)	−	〔7.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 7/6 明黄褐色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
128	11	F2	Ⅲ層	甕	(12.0)	−	〔1.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや粗 1~2mmの石英・長石含む	良
129	11	F2	Ⅲ層	甕	(15.5)	−	〔1.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
130	11	F2	Ⅲ層	甕	(20.1)	−	〔8.0〕	縦位ハケ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや粗 0.5~3mmの石英・長石含む	良好
131	11	F2	Ⅲ層	甕	(25.6)	−	〔2.6〕	ナデ	ナデ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
132	11	F2	Ⅲ層	甕	(26.9)	−	〔5.1〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
133	11	F2	Ⅲ層	甕	(27.8)	−	〔1.8〕	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 6/8 橙色	密 1~2mmの石英・1mmの長石含む	良
134	11	F2	Ⅲ層	甕	(52.0)	−	〔2.5〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/6 明褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
135	11	F2	Ⅲ層	甕	−	−	〔3.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 1~3mmの石英・長石含む	良
136	11	F2	Ⅲ層	甕	頸部外径 (24.0)	−	〔3.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/4 にぶい褐色 5YR 6/6 橙色	やや粗 1~2mmの石英・長石含む	良
137	11	F2	Ⅲ層	甕	(21.0)	−	〔3.3〕	指ナデ→ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 5/2 灰褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	やや粗 1~3mmの石英・長石含む	良
138	11	F2	Ⅲ層	甕	(20.0)	−	〔2.0〕	ナデ	縦位ミガキ	7.5YR 4/1 褐灰色 10YR 4/1 褐灰色	やや粗 1~3mmの石英・長石， 0.5mmの金雲母を少量含む	良
139	11	F2	Ⅲ層	甕	(22.5)	−	〔5.7〕	ナデ	ナデ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
140	11	F2	Ⅲ層	甕	(24.4)	−	〔3.2〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 5/6 黄褐色 5YR 5/8 明赤褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良
141	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	(4.6)	〔3.6〕	ナデ	指オサエ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良
142	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	4.4	〔4.5〕	摩滅(不明)	ナデ	5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/3 にぶい橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良
143	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	(4.3)	〔3.8〕	指オサエ	摩滅(不明)	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
144	11	F2	Ⅲ層	甕 (底部)	−	(20.0)	〔5.3〕	板ナデ	摩滅(不明)	2.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 1~3mmの石英・長石含む	良
145	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	(6.4)	〔6.3〕	縦位ミガキ	板状工具の圧痕	7.5YR 6/2 灰褐色 7.5YR 4/2 灰褐色	やや密 4mm以下の石英・長石・雲母含む	良
146	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	(8.0)	〔3.7〕	ナデ	板ナデ，指オサエ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
147	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	6.5	〔5.6〕	ナデ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
148	11	F2	Ⅲ層	(底部)	−	(7.0)	〔4.5〕	摩滅(不明)	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
149	12	F3	Ⅲ層	短頸壺	(6.4)	−	〔3.7〕	摩滅(不明)	指オサエ	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
150	12	F3	Ⅲ層	長頸壺	(9.0)	−	〔3.9〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 10YR 5/4 にぶい黄褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
151	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(8.4)	−	〔5.2〕	指オサエ→縦位ハケ	ナデ，指オサエ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
152	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(14.0)	−	〔5.8〕	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
153	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(15.2)	−	〔4.9〕	縦位ハケ，ナデ	横位ハケ→指オサエ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
154	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(16.4)	−	〔1.5〕	ナデ 口縁端部：斜格子文	ナデ	10YR 3/1 黒褐色 10YR 3/2 黒褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
155	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(15.4)	−	〔1.5〕	縦位ハケ	摩滅(不明)	10YR 4/4 褐色 5YR 5/6 明赤褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
156	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(20.6)	−	〔6.6〕	縦位ハケ 口縁端部：斜格子文	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
157	12	F3	Ⅲ層	鉢	(21.0)	−	〔4.4〕	ナデ，口縁端部：刻目文 櫛描直線文8本(単位不明)	ナデ	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
158	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(18.0)	−	〔4.2〕	縦位ハケ	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
159	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(18.0)	−	〔4.9〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
160	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(20.8)	−	〔4.9〕	ナデ	摩滅(不明)	10YR 4/2 灰黄褐色 10YR 5/2 灰黄褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
161	12	F3	Ⅲ層	広口壺	(16.2)	−	〔5.9〕	ナデ	ナデ，指オサエ	7.5YR 5/2 灰褐色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
162	12	F3	Ⅲ層	盃	上端部径 (3.4)	−	〔1.4〕	摩滅(不明)	ナデ	5Y 3/1 ｵﾘｰﾌﾞ黒 7.5Y 2/1 黒色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
163	12	F3	Ⅲ層	盃	−	(3.4)	〔4.1〕	縦位ミガキ，ヘラナデ	ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 4/2 灰褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
164	12	F3	Ⅲ層	鉢	(11.4)	−	〔3.5〕	ナデ 口縁部：穿孔3孔(未貫通1孔)	ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
165	12	F3	Ⅲ層	鉢？	(12.0)	−	〔7.7〕	横位・縦位ミガキ	指オサエ	7.5YR 5/2 灰褐色 7.5YR 5/2 灰褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
166	12	F3	Ⅲ層	甕	(12.0)	−	〔4.2〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 4/4 褐色 10YR 4/3 にぶい黄褐色	密 2mm以下の石英・長石多量に含む	良好
167	12	F3	Ⅲ層	甕	(14.0)	−	〔6.0〕	ナデ 体部：刺突文2条	ナデ	10YR 6/6 明黄褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
168	12	F3	Ⅲ層	甕	(16.8)	−	〔3.0〕	摩滅(不明) 口縁部：刻目文	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
169	12	F3	Ⅲ層	甕	(17.2)	−	〔4.5〕	摩滅(不明)	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
170	12	F3	Ⅲ層	甕	(17.4)	−	〔3.9〕	ナデ	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 10YR 3/4 暗褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
171	12	F3	Ⅲ層	甕	(19.0)	−	〔5.3〕	ナデ	ナデ，横位ミガキ	2.5YR 5/6 明赤褐色 2.5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・角閃石・雲母含む	良好
172	12	F3	Ⅲ層	甕	(18.5)	−	〔6.0〕	ナデ	ナデ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良

土器・土製品 観察表 (4)

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名層位名	器種	法量(cm)			調整		色調	胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面		
173	12	F3	Ⅲ層	甕	(20.2)	—	〔5.8〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 6/8 橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
174	12	F3	Ⅲ層	甕	(13.8)	—	〔4.0〕	縦位ハケ	ナデ	10YR 6/6 明黄褐色 10YR 6/6 明黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
175	12	F3	Ⅲ層	甕	(20.8)	—	〔2.4〕	ナデ，縦位ハケ→ナデ	横位ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
176	12	F3	Ⅲ層	甕	(20.4)	—	〔4.9〕	縦位ハケ	横位ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
177	12	F3	Ⅲ層	甕	(20.4)	—	〔4.5〕	縦位ハケ	ナデ，横位ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
178	12	F3	Ⅲ層	甕	(21.6)	—	〔2.5〕	ナデ，縦位ハケ→ナデ	横位ミガキ，指オサエ→板ナデ	10YR 4/1 褐灰色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
179	12	F3	Ⅲ層	甕	(24.0)	—	〔5.7〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ，横位ミガキ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 4mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
180	12	F3	Ⅲ層	甕	(18.0)	—	〔4.7〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ→横位ミガキ，ヘラナデ	5Y 2/1 黒色 5Y 3/2 ｵﾘｰﾌﾞ黒色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
181	12	F3	Ⅲ層	甕	(15.1)	—	〔3.2〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ	10YR 4/2 灰黄褐色 10YR 6/6 明黄褐色	密 1mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
182	12	F3	Ⅲ層	甕	(18.4)	—	〔1.8〕	ナデ	摩滅(不明)	10YR 4/4 褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
183	12	F3	Ⅲ層	甕	(18.0)	—	〔7.0〕	摩滅(不明)	ナデ，縦・横位ミガキ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
184	12	F3	Ⅲ層	甕	(16.0)	—	〔9.2〕	縦位ミガキ，指オサエ	縦位ミガキ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
185	12	F3	Ⅲ層	甕	(19.0)	—	〔5.7〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5Y 4/1 黄灰色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 3mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
186	12	F3	Ⅲ層	甕	(19.4)	—	〔4.9〕	ナデ	ナデ	5YR 6/8 橙色 5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
187	12	F3	Ⅲ層	甕	(32.6)	—	〔3.5〕	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
188	13	F3	Ⅲ層	甕	(15.4)	—	〔4.4〕	摩滅(不明) 櫛描直線文(単位不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/4 にぶい橙色 10YR 7/6 明黄褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
189	13	F3	Ⅲ層	甕	(10.0)	—	〔2.1〕	摩滅(不明) 櫛描直線文6本1条	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 6/8 橙色	密 2mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
190	13	F3	Ⅲ層	甕	(22.6)	—	〔5.5〕	櫛描直線文6本(単位不明)	ナデ	7.5YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 8/4 浅黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
191	13	F3	Ⅲ層	甕	(33.4)	—	〔2.9〕	ナデ，指オサエ	ナデ，指オサエ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 10YR 5/4 にぶい黄褐色	密 2.5mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
192	13	F3	Ⅲ層	鉢	(31.5)	—	〔7.4〕	横位ミガキ，指オサエ	指頭ナデ→横位ミガキ	7.5YR 8/6 浅黄橙色 7.5YR 8/6 浅黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
193	13	F3	Ⅲ層	甕	(17.0)	—	〔5.1〕	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 5/8 黄褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
194	13	F3	Ⅲ層	鉢	(23.6)	—	〔5.9〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 8/8 黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
195	13	F3	Ⅲ層	甕	(25.0)	—	〔3.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/8 橙色 5YR 5/8 明赤褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
196	13	F3	Ⅲ層	甕	(27.0)	—	〔3.4〕	ナデ	摩滅(不明)，ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/8 明赤褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
197	13	F3	Ⅲ層	甕	(27.8)	—	〔1.6〕	ナデ	摩滅(不明)	10YR 5/4 にぶい黄褐色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
198	13	F3	Ⅲ層	甕	(28.8)	—	〔6.6〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
199	13	F3	Ⅲ層	甕	(36.4)	—	〔7.0〕	ナデ	摩滅(不明)，ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 4/6 赤褐色	密 3mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良
200	13	F3	Ⅲ層	甕	(34.0)	—	〔6.1〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 5/8 明赤褐色 5YR 6/8 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
201	13	F3	Ⅲ層	高杯 (脚部)	—	(11.4)	〔1.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
202	13	F3	Ⅲ層	紡錘車 (未製品)	直径 3.5	—	厚み 0.4	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 4/6 赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
203	13	F3	Ⅲ層	紡錘車	縦 5.2	横 〔2.9〕	厚み 0.6	ナデ 刺突文，穿孔1孔	ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 5YR 6/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
204	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.4)	〔2.2〕	ナデ 底部：ミガキ	ナデ	10YR 5/4 にぶい黄褐色 2.5Y 3/2 黒褐色	やや密 2.5mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
205	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.4)	〔2.6〕	摩滅(不明)	ナデ	5YR 6/6 橙色 10YR 4/2 灰黄褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
206	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.8)	〔2.6〕	摩滅(不明)	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
207	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.7)	〔3.6〕	摩滅(不明) 底部：ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 3/2 黒褐色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
208	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.0)	〔3.7〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 6/6 明黄褐色 10YR 5/6 黄褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良
209	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.8)	〔4.9〕	ナデ	ナデ	10YR 5/6 黄褐色 10YR 3/3 暗褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良
210	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.4)	〔3.8〕	摩滅(不明)	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 10YR 6/6 明黄褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
211	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.0)	〔4.4〕	底部：ナデ	指頭ナデ	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 5/6 明褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
212	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(4.6)	〔4.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
213	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(10.6)	〔3.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5Y 3/1 ｵﾘｰﾌﾞ黒 10YR 4/2 灰黄褐色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
214	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(4.8)	〔2.3〕	縦位ハケ 底部：ナデ	ナデ	2.5Y 3/1 黒褐色 10YR 4/2 灰黄褐色	密 2mm以下の石英・長石・雲母・赤褐色粒含む	良好
215	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.8)	〔3.2〕	ナデ	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 3mm以下の石英・長石・褐色粒含む	良好
216	14	F3	Ⅲ層	甕 (底部)	—	(4.8)	〔3.3〕	ナデ，指オサエ	ナデ，指オサエ	2.5YR 6/8 橙色 7.5YR 4/2 灰褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
217	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.0)	〔4.5〕	摩滅(不明) 底部：ナデ	指頭ナデ	7.5YR 4/4 褐色 7.5YR 4/3 褐色	密 3mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
218	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.0)	〔3.1〕	摩滅(不明) 底部：ナデ	摩滅(不明)	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 7/6 明黄褐色	密 4.5mm以下の石英・長石含む	良
219	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.2)	〔2.5〕	縦位板ナデ 底部：指オサエ，ミガキ	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 4/6 赤褐色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
220	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.0)	〔3.9〕	板ナデ 底部：ナデ	ナデ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 1.5mm以下の石英・長石・金雲母・ 赤褐色粒含む	良好
221	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(9.2)	〔4.0〕	板ナデ	摩滅(不明)	5YR 4/6 赤褐色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	密 4.5mm以下の石英・長石含む	良好
222	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(10.0)	〔3.8〕	板ナデ→ナデ 底部：ナデ	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/6 明赤褐色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
223	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.6)	〔4.1〕	縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
224	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.6)	〔4.3〕	縦位ミガキ	ナデ	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 3/1 黒褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
225	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(4.4)	〔5.1〕	体部：縦位ミガキ 底部：ナデ，指オサエ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
226	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.6)	〔4.7〕	縦位ミガキ 底部：指頭ナデ	ナデ	5YR 5/8 明赤褐色 5YR 3/6 暗赤褐色	密 6mm以下の石英・長石・赤褐色粒含む	良好
227	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.6)	〔6.6〕	縦位ミガキ	縦位ミガキ	10YR 5/4 にぶい黄褐色 5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
228	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(8.2)	〔2.4〕	縦位ミガキ，ナデ	指頭ナデ	10YR 5/4 にぶい黄褐色 5YR 6/6 橙色	やや密 3.5mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
229	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(9.0)	〔3.0〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	板ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 2.5mm以下の石英・長石含む	良好
230	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.8)	〔4.0〕	縦位ミガキ，ヘラナデ	不定方向のミガキ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好

土器・土製品 観察表（5）

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名 層位名	器種	法量(cm)			調整		色調	胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面		
231	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.2)	〔4.9〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	ナデ	5YR 4/6 赤褐色 7.5YR 3/2 黒褐色	密 4mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
232	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.0)	〔5.5〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	摩滅(不明)	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 3.5mm以下の石英・長石・角閃石含む	良好
233	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(5.2)	〔4.5〕	縦位ミガキ	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 1.5mm以下の石英・長石含む	良好
234	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.0)	〔5.6〕	縦位ミガキ	ナデ	5YR 7/8 橙色 5YR 7/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
235	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.8)	〔5.7〕	縦位ミガキ	横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
236	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.4)	〔5.9〕	縦位ヘラナデ 底部：ナデ	ナデ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 5/6 明褐色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
237	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.6)	〔4.2〕	縦位ミガキ	摩滅(不明)	2.5YR 5/8 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
238	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.2)	〔4.4〕	縦位・横位ミガキ	指頭ナデ	5YR 5/8 明赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
239	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(17.4)	〔6.0〕	縦位ハケ→縦位ミガキ	剥離	10YR 5/4 にぶい黄褐色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 4mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
240	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(26.0)	〔4.3〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	摩滅(不明)	10YR 4/3 にぶい黄褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 6mm以下の石英・長石含む	良好
241	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(14.8)	〔4.7〕	縦位ミガキ	指頭ナデ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・角閃石含む	良
242	14	F3	Ⅲ層	(底部)	—	(16.0)	〔5.4〕	縦位ミガキ 底部：穿孔2孔1対1箇所	ヘラケズリ→指頭ナデ	5YR 6/8 橙色 5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
243	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	(7.0)	—	〔6.2〕	櫛描直線文4本1束3条・櫛描波状文8本(単位不明)	ナデ(絞り目)	10YR 8/3 浅黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
244	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	—	—	〔8.5〕	櫛描直線文7本1束4条・櫛描波状文7本1束2条	縦位ミガキ，ナデ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 2.5YR 5/6 明赤褐色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
245	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	(12.3)	—	〔3.5〕	摩滅(不明) 貼付突帯1条	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
246	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	(12.4)	—	〔2.8〕	摩滅(不明) 貼付突帯1条	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
247	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	(20.6)	—	〔4.0〕	ナデ，刺突文	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
248	14	F4	Ⅲ層	直口壺	(10.2)	—	〔4.9〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 4/1 褐灰色 10YR 4/1 褐灰色	粗 3mm以下の石英・長石含む	良
249	14	F4	Ⅲ層	直口壺	(8.4)	—	〔4.6〕	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
250	14	F4	Ⅲ層	無頸壺	—	—	〔5.6〕	口縁部：穿孔2孔，櫛描直線文11本(単位不明)・櫛描直線文2本単位不明・櫛描波状文9本1束1条	ナデ	5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
251	15	F4	Ⅲ層	壺?	(7.2)	—	〔2.9〕	摩滅(不明)	指オサエ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 8/8 黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
252	15	F4	Ⅲ層	長頸壺	(9.6)	—	〔3.5〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
253	15	F4	Ⅲ層	壺	(9.2)	—	〔5.4〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
254	15	F4	Ⅲ層	壺	(15.0)	—	〔3.4〕	ナデ	ナデ	5YR 6/8 橙色 5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
255	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(13.3)	—	〔1.8〕	ナデ	ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
256	15	F4	Ⅲ層	長頸壺	(14.4)	—	〔4.2〕	摩滅(不明)	横位ミガキ	5YR 4/4 にぶい赤褐色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	やや密 4mm以下の石英・長石含む	良
257	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(13.2)	—	〔2.1〕	ナデ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
258	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(14.6)	—	〔4.2〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 1～4mmの石英・長石含む	良好
259	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(15.8)	—	〔5.1〕	摩滅(不明)	横位ミガキ	5YR 4/4 にぶい赤褐色 5YR 4/6 赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
260	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(19.6)	—	〔5.2〕	摩滅(不明)	横位ミガキ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
261	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(21.0)	—	〔3.8〕	縦位ハケ	摩滅(不明)	2.5YR 8/3 浅黄色 2.5YR 8/3 浅黄色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
262	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(14.2)	—	〔7.0〕	ナデ 頸部：押圧突帯1条	摩滅(不明)	10YR 5/4 にぶい黄褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
263	15	F4	Ⅲ層	壺	—	—	〔3.0〕	頸部：貼付突帯，指オサエ 沈線	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良
264	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(24.6)	—	〔6.9〕	ナデ，口縁端部：斜格子文 頸部：押圧突帯	指頭ナデ→横位ミガキ	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	粗 4mm以下の石英・長石含む	良好
265	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(26.7)	—	〔6.7〕	縦位ハケ，口縁端部：斜格子文 体部：押圧突帯	ナデ	5YR 7/8 橙色 10YR 7/8 黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
266	15	F4	Ⅲ層	台付鉢	—	(9.8)	〔2.9〕	摩滅(不明) 円形スカシ2孔1対1箇所	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
267	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(15.7)	—	〔3.0〕	ナデ	横位ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
268	15	F4	Ⅲ層	広口壺	(15.8)	—	〔3.1〕	縦位ハケ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
269	15	F4	Ⅲ層	広口壺	—	—	〔6.5〕	横位ミガキ 櫛描直線文4本1束3条，列点文	板ナデ，縦位ミガキ→指オサエ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
270	15	F4	Ⅲ層	広口壺	—	—	〔9.2〕	ハケ→横位ミガキ 櫛描直線文3本単位不明，列点文	縦位ミガキ→指オサエ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
271	15	F4	Ⅲ層	壺	—	—	〔4.0〕	摩滅(不明) 沈線6本，竹管文	剥離	2.5YR 7/3 浅黄色 2.5YR 6/4 にぶい黄色	やや密 1mm以下の石英含む	良
272	15	F4	Ⅲ層	不明	2.8	—	〔3.2〕	縦位ミガキ 穿孔2孔1対2箇所	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良好
273	15	F4	Ⅲ層	蓋	上端部径 (3.8)	—	〔2.7〕	ナデ	ナデ，指オサエ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
274	15	F4	Ⅲ層	蓋	—	(14.6)	〔1.9〕	ナデ 体部：穿孔1孔(焼成前)	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
275	15	F4	Ⅲ層	甕	(11.8)	—	〔5.4〕	ナデ	ナデ，指オサエ	7.5YR 4/4 褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
276	15	F4	Ⅲ層	鉢	(14.6)	—	〔8.0〕	摩滅(不明)，櫛描直線文4本1束3条・櫛描波状文4本1束1条	ナデ，指オサエ	7.5YR 7/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
277	15	F4	Ⅲ層	甕	(15.8)	—	〔5.0〕	ナデ 櫛描直線文5本1束1条	ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
278	15	F4	Ⅲ層	甕	(21.4)	—	〔7.2〕	ナデ，櫛描直線文8本1束5～6条・櫛描波状文3本以上(単位不明)	ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
279	15	F4	Ⅲ層	甕	(19.4)	—	〔2.8〕	ナデ	摩滅(不明)	5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
280	15	F4	Ⅲ層	甕	(14.2)	—	〔4.7〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 5/8 明赤褐色 5YR 7/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
281	15	F4	Ⅲ層	甕	(18.8)	—	〔3.0〕	摩滅(不明)	ナデ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや密 1m以下の石英・長石含む	良好
282	15	F4	Ⅲ層	甕	(19.2)	—	〔5.8〕	縦位ハケ	横位ミガキ	5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
283	15	F4	Ⅲ層	甕	(19.6)	—	〔6.4〕	摩滅(不明) 口縁部：穿孔1孔(焼成前)	ナデ	7.5YR 5/8 明褐色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
284	15	F4	Ⅲ層	甕	(18.0)	—	〔4.8〕	摩滅(不明)	指オサエ→横位ミガキ	5YR 4/6 赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
285	15	F4	Ⅲ層	甕	(13.0)	—	〔3.1〕	ナデ，指オサエ	ナデ，指オサエ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
286	15	F4	Ⅲ層	甕	(17.6)	—	〔3.9〕	摩滅(不明)	横位ハケ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
287	15	F4	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔7.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/6 明黄褐色	やや粗 2～3mmの石英・長石含む	良
288	15	F4	Ⅲ層	甕	(20.4)	—	〔5.0〕	摩滅(不明)	縦位ミガキ	7.5YR 4/6 褐色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好

土器・土製品 観察表 (6)

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名 層位名	器種	法量(cm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	色調 上：外面 下：内面	胎土	焼成
289	15	F4	Ⅲ層	甕	(23.0)	―	[5.1]	ナデ 口縁端部：刻目文	摩滅(不明)	7.5YR 3/1 黒褐色 7.5YR 4/1 褐灰色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
290	15	F4	Ⅲ層	甕	(21.6)	―	[6.4]	摩滅(不明)	横位ミガキ	2.5YR 5/4 にぶい赤褐色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	やや粗 1～3mmの石英・長石・雲母含む	良好
291	16	F4	Ⅲ層	甕	(19.2)	―	[2.7]	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
292	16	F4	Ⅲ層	甕	(18.6)	―	[4.3]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
293	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.0)	―	[3.9]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/6 橙色 5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
294	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.3)	―	[3.9]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
295	16	F4	Ⅲ層	甕	(22.8)	―	[2.9]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
296	16	F4	Ⅲ層	甕	(22.2)	―	[3.2]	ナデ	摩滅(不明)	5YR 6/8 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
297	16	F4	Ⅲ層	甕	(22.0)	―	[5.5]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
298	16	F4	Ⅲ層	甕	(24.0)	―	[5.5]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好
299	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.2)	―	[4.0]	ナデ	ナデ，縦位ミガキ	5YR 4/4 にぶい赤褐色 5YR 4/4 にぶい赤褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
300	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.2)	―	[4.8]	指オサエ 櫛描直線文18本(単位不明)	ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
301	16	F4	Ⅲ層	甕	(25.2)	―	[8.0]	縦位ハケ	縦・横位ミガキ	5YR 6/8 橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 0.5～3mmの石英・長石含む	良
302	16	F4	Ⅲ層	甕	(27.6)	―	[3.1]	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
303	16	F4	Ⅲ層	甕	(24.8)	―	[12.0]	摩滅(不明)	指オサエ	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
304	16	F4	Ⅲ層	甕	(32.4)	―	[5.6]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/8 橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
305	16	F4	Ⅲ層	甕	(16.4)	―	[4.0]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 4/4 褐色 7.5YR 4/3 褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
306	16	F4	Ⅲ層	甕	(18.0)	―	[3.8]	指オサエ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
307	16	F4	Ⅲ層	甕	(20.3)	―	[2.3]	ナデ	横位ミガキ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
308	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.2)	―	[3.0]	ナデ	横位ミガキ	5YR 6/6 橙色 5YR 7/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
309	16	F4	Ⅲ層	甕	(14.6)	―	(15.7)	縦・横位ミガキ 体部：竹管文	横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
310	16	F4	Ⅲ層	甕	―	―	[1.5]	ナデ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良
311	16	F4	Ⅲ層	甕	―	―	[3.4]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 4/4 褐色 7.5YR 6/6 橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
312	16	F4	Ⅲ層	甕	―	―	[5.2]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 8/4 浅黄橙色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
313	16	F4	Ⅲ層	甕	(16.0)	―	[5.3]	ナデ 体部：列点文	摩滅(不明)	7.5YR 5/2 灰褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	密 5mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
314	16	F4	Ⅲ層	甕	(16.1)	―	[4.5]	縦位ハケ	横位ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
315	16	F4	Ⅲ層	甕	(18.0)	―	[3.8]	縦位ハケ	ナデ	5YR 4/6 赤褐色 5YR 4/6 赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
316	16	F4	Ⅲ層	甕	(17.9)	―	[9.7]	ナデ	横位ミガキ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
317	16	F4	Ⅲ層	甕	(19.6)	―	[4.2]	縦位ミガキ	横位ミガキ	5YR 6/6 橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
318	16	F4	Ⅲ層	甕	(20.4)	―	[7.1]	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
319	16	F4	Ⅲ層	甕	(21.6)	―	[5.0]	縦位ハケ→ナデ	横位ミガキ→縦位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
320	16	F4	Ⅲ層	甕	(23.6)	―	[9.7]	縦位ハケ，横位ミガキ 体部：列点文	横位ミガキ→縦位ミガキ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
321	16	F4	Ⅲ層	甕	―	―	[8.7]	縦位ハケ，縦位ミガキ	縦・横位ミガキ	7.5YR 6/6 橙色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
322	16	F4	Ⅲ層	(体部～底部)	―	(8.0)	[21.2]	縦位ミガキ，板ナデ， 板状工具の圧痕	上部：摩滅(不明) 下部：指オサエ	7.5YR 6/2 灰褐色 5YR 6/3 にぶい橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好
323	16	F4	Ⅲ層	甕	(50.2)	―	[3.7]	縦位ミガキ	横位ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
324	17	F4	Ⅲ層	甕	(21.6)	―	[2.2]	ナデ	横位ミガキ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
325	17	F4	Ⅲ層	甕	(28.0)	―	[2.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
326	17	F4	Ⅲ層	甕	(24.3)	―	[6.2]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 10YR 7/6 明黄褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
327	17	F4	Ⅲ層	甕	(20.8)	―	[14.6]	ナデ，縦位ミガキ 体部：穿孔1孔(焼成前)・刺突文	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 6/6 明黄褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
328	17	F4	Ⅲ層	高杯	(13.6)	―	[3.4]	縦位ハケ	縦位ミガキ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
329	17	F4	Ⅲ層	鉢	(17.0)	―	[2.8]	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
330	17	F4	Ⅲ層	高杯	(14.5)	―	[3.1]	ナデ，指オサエ	ナデ，ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
331	17	F4	Ⅲ層	甕	―	―	[4.3]	条痕	ミガキ	7.5YR 4/2 灰褐色 10YR 5/2 灰黄褐色	やや粗 0.5～1.5mmの石英・長石含む	良
332	17	F4	Ⅲ層	鉢	(18.6)	―	[2.4]	剥離	ミガキ	2.5YR 4/6 赤褐色 5YR 4/3 にぶい赤褐色	密 1～2mmの石英・長石含む	良
333	17	F4	Ⅲ層	鉢	(25.5)	―	[4.3]	摩滅(不明) 口縁端部：刻目→ナデ	指オサエ→横位ミガキ	5YR 4/6 赤褐色 5YR 4/6 赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
334	17	F4	Ⅲ層	鉢	(29.6)	―	[4.5]	板ナデ	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
335	17	F4	Ⅲ層	鉢	(28.2)	―	[6.1]	櫛描直線文10本1束1条＋櫛描直線文(単位不明)・櫛描波状文10本1束1条	横位ミガキ	10YR 8/4 浅黄橙色 10YR 7/6 明黄褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
336	17	F4	Ⅲ層	鉢	(16.8)	―	[8.8]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
337	17	F4	Ⅲ層	鉢	(12.4)	―	[8.7]	縦位ハケ	縦位ミガキ	7.5YR 5/6 明褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
338	17	F4	Ⅲ層	鉢	(20.0)	―	[5.0]	摩滅(不明)	縦位ハケ→縦位ミガキ	2.5YR 6/8 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
339	17	F4	Ⅲ層	紡錘車	長径 3.9	短径 3.9	厚さ 1.0	ハケ 穿孔1孔(未貫通)	板ナデ	7.5YR 6/8 橙色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	不良
340	17	F4	Ⅲ層	支脚	厚さ 3.6	幅 5.5	[4.3]	ナデ	―	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 1～3mmの石英・長石含む	良好
341	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(6.0)	[4.1]	縦位ミガキ	指頭ナデ	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
342	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(6.0)	[3.7]	縦位ミガキ	指オサエ	2.5YR 5/8 明赤褐色 5YR 5/8 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
343	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(6.4)	[3.0]	縦位ミガキ	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
344	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(6.0)	[3.1]	縦位ミガキ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
345	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(4.5)	[4.6]	縦位ミガキ	縦位ミガキ	7.5YR 4/3 褐色 7.5YR 5/6 明褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
346	18	F4	Ⅲ層	(底部)	―	(4.8)	[2.8]	縦位ミガキ	横位ミガキ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好

土器・土製品 観察表（7）

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名層位名	器種	法量(cm)			調整		色調		胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面			
347	18	P4	竪穴	（底部）	—	(4.6)	[4.0]	縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 7/6 橙色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
348	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.4)	[3.4]	斜縦ミガキ	斜縦ナデ	2.5YR 6/6 橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
349	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.6)	[3.5]	縦位ミガキ	ナデ	7.5YR 2/1 黒色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
350	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.1)	[5.3]	縦位ミガキ	縦位ミガキ	2.5YR 4/8 赤褐色 2.5YR 4/6 赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石・黒色含む	良好	
351	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.0)	[3.3]	単縦（不明）	ナデ	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
352	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.2)	[3.0]	ナデ	ナデ	2.5YR 5/4 にぶい褐色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好	
353	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.4)	[3.5]	縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 7/8 橙色 2.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
354	18	P4	竪穴	（底部）	—	5.8	[2.4]	単縦（不明）	ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・黒色含む	良好	
355	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.4)	[3.1]	ナデ	ナデ，指オサエ	2.5YR 6/8 橙色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
356	18	P4	竪穴	（底部）	—	(7.2)	[4.5]	単縦（不明）	ナデ	10YR 5/2 にぶい赤褐色 10YR 5/3 にぶい赤褐色	やや粗 4mm以下の石英・長石含む	良	
357	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.8)	[3.6]	指オサエ	指圧ナデ	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
358	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.2)	[3.7]	ナデ	指圧ナデ	10YR 5/6 黄褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
359	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.6)	[4.6]	縦位ミガキ	指オサエ	10YR 5/6 黄褐色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好	
360	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.0)	[5.1]	縦位ミガキ	指オサエ	10YR 5/2 灰黄褐色 10YR 5/2 灰黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
361	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.9)	[3.9]	単縦（不明）	指オサエ	10YR 5/6 黄褐色 10YR 5/6 黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
362	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.0)	[3.7]	単縦（不明）	板ナデ	2.5YR 6/6 橙色 10YR 6/3 褐灰色	やや密 1～3mmの石英・長石含む	良	
363	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.4)	[3.7]	板ナデ→指オサエ	指圧ナデ→指オサエ	10YR 5/6 黄褐色 10YR 5/6 黄褐色	粗 4mm以下の石英・長石含む	良	
364	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.6)	[3.4]	ミガキ	指オサエ	10R 7/6 橙色 10YR 6/6 橙色	やや粗 1～4mmの石英・長石含む 0.5mm下金雲母少量含む	良	
365	18	P4	竪穴	（底部）	—	(10.7)	[3.1]	単縦（不明）	指圧ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良	
366	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.8)	[3.4]	単縦（不明）	単縦（不明）	2.5YR 7/8 黄橙色 2.5YR 7/8 黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
367	18	P4	竪穴	（底部）	—	(9.3)	[4.8]	縦位ミガキ	単縦（不明）	10YR 7/3 にぶい黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	やや密 4mm以下の石英・長石含む	良好	
368	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.3)	[3.5]	単縦（不明）	単縦（不明）	2.5YR 4/4 暗赤褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好	
369	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.0)	[3.9]	ナデ	単縦（不明）	10YR 6/2 灰黄褐色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
370	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.2)	[5.0]	縦位ミガキ	板ナデ	2.5YR 5/3 にぶい赤褐色 2.5YR 5/2 にぶい赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
371	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.2)	[2.4]	ナデ	指オサエ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/3 にぶい赤褐色	密 2mm以下の石英・長石・黒色含む	良好	
372	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.4)	[3.6]	縦位ミガキ	単縦（不明）	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
373	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.0)	[3.3]	ナデ	単縦（不明）	2.5YR 4/6 赤褐色 2.5YR 4/8 赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良	
374	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.0)	[4.2]	単縦（不明）	単縦（不明）	2.5YR 6/8 明赤褐色 2.5YR 6/6 橙色	密 2mm以下の石英・長石・黒色含む	良好	
375	18	P4	竪穴	（底部）	—	(4.8)	[3.5]	縦位ミガキ 底部：穿孔1孔	単縦（不明）	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/4 にぶい褐色	やや粗 1～2mm以下の石英含む	良	
376	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.6)	[4.2]	縦位ミガキ	縦位ミガキ	2.5YR 7/6 橙色 2.5YR 7/3 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
377	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.2)	[4.6]	縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英含む	良好	
378	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.5)	[2.6]	縦位ミガキ	指オサエ	10YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英含む	良	
379	18	P4	竪穴	（底部）	—	(9.5)	[4.3]	単縦（不明）	ナデ	10R 6/4 にぶい橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
380	18	P4	竪穴	（底部）	—	(7.6)	[7.2]	単縦（不明）	指オサエ	10R 7/6 橙色 10R 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英含む	良	
381	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.4)	[4.2]	ナデ	縦位ミガキ	2.5YR 5/8 明赤褐色 10YR 5/2 黒褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好	
382	18	P4	竪穴	（底部）	—	(9.4)	[3.9]	ナデ	ナデ，指オサエ	10R 7/6 橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好	
383	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.0)	[3.6]	剥離	剥離	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 にぶい橙色	やや粗 1～3mmの石英・長石含む 0.5mm下金雲母少量含む	良	
384	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.2)	[5.1]	単縦（不明）	ナデ	2.5YR 5/6 明褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良	
385	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.1)	[5.9]	単縦（不明）	単縦（不明）	10YR 6/6 赤褐色 10YR 5/6 赤色	やや粗 1mm以下の石英含む	良	
386	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.7)	[5.5]	縦位ミガキ 底部：ミガキ	ナデ	10YR 5/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好	
387	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.9)	[7.4]	縦位ミガキ	ナデ	2.5YR 6/6 にぶい橙色 10YR 5/3 にぶい黄橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好	
388	18	P4	竪穴	（底部）	—	(8.4)	[6.6]	縦位ミガキ	縦位ミガキ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 2.5YR 7/4 にぶい橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好	
389	18	P4	竪穴	（底部）	—	9.6	[7.4]	縦位ミガキ	指圧ナデ，指オサエ	2.5YR 6/6 赤褐色 10YR 5/6 黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好	
390	18	P4	竪穴	（底部）	—	(6.0)	[11.4]	縦位ミガキ	指オサエ	10YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好	
391	18	P4	竪穴	（底部）	—	(11.8)	[4.5]	縦位ミガキ→指オサエ	指圧ナデ，指オサエ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良	
392	18	P4	竪穴	（底部）	—	(7.5)	[6.1]	縦位ミガキ→横位ミガキ	縦位ミガキ	10YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良好	
393	18	P4	竪穴	（底部）	—	(7.4)	[5.2]	単縦（不明）	単縦（不明）	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好	
394	18	P4	竪穴	（底部）	—	(10.5)	[4.5]	ナデ	指オサエ	2.5YR 6/8 黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・黒色含む	良	
395	18	P4	竪穴	（底部）	—	(9.5)	[6.2]	単縦（不明）	ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 2.5YR 7/6 黄橙色	粗 1～4mm石英・長石含む	良好	
396	18	P4	竪穴	（底部）	—	(7.9)	[7.7]	単縦（不明）	縦位ミガキ	2.5YR 5/6 にぶい赤褐色 10YR 4/2 にぶい赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石・黒色含む	良好	
397	18	P4	竪穴	（底部）	—	(3.9)	[4.6]	縦位ミガキ	板ナデ	10YR 3/1 黒褐色 10YR 3/1 黒褐色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好	
398	18	P4	竪穴	（底部）	—	(5.2)	[4.6]	縦位ミガキ	単縦（不明）	2.5YR 6/6 橙色 10R 6/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良	
399	18	P4	竪穴	（底部）	—	7.8	[2.6]	ナデ	指圧ナデ	2.5YR 7/8 黄橙色 2.5YR 8/8 黄橙色	やや粗 4mm以下の石英含む	良	
400	18	P4	竪穴	（底部）	—	(10.2)	[4.3]	単縦（不明）	ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 7/6 明黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良	
401	18	P4	竪穴	（底部）	—	(10.2)	[6.5]	指圧ナデ，指オサエ	板ナデ，指オサエ	2.5YR 5/8 明赤褐色 10YR 5/1 褐灰色	やや粗 2mm以下の石英含む	良	
402	18	P4	竪穴	（底部）	—	(9.4)	[4.4]	ナデ	板ナデ	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良	
403	18	P4	竪穴	（底部）	—	(12.4)	[4.7]	単縦（不明）	板ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 10YR 5/6 黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好	
404	18	P4	竪穴	（底部）	—	(10.4)	[7.6]	単縦（不明）	単縦（不明）	10R 6/6 橙色 2.5YR 6/6 橙色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好	

土器・土製品 観察表（8）

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名 層位名	器種	法量(cm)			調整		色調	胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面		
405	18	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(6.0)	[6.7]	体部：摩滅(不明) 底部：ミガキ	板ナデ	5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 5/2 灰黄褐色	やや粗 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
406	18	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(7.4)	[4.0]	ナデ	ナデ	7.5YR 8/6 浅黄橙色 7.5YR 8/6 浅黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
407	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	5.0	[4.0]	縦位ハケ	ナデ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
408	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	5.6	[3.0]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 5/8 赤色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好
409	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	6.6	[3.9]	指オサエ	ナデ	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
410	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	5.8	[5.1]	縦位ミガキ	ナデ	5YR 6/8 橙色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
411	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(6.8)	[2.0]	ナデ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
412	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(12.2)	[3.9]	縦位ミガキ	板ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/6 明赤褐色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
413	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(13.0)	[4.4]	摩滅(不明)	ナデ	2.5YR 4/6 赤褐色 2.5YR 4/6 赤褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
414	19	F4	Ⅲ層	底部	－	5.0	[3.6]	ナデ	ナデ	7.5YR 4/2 灰褐色 5YR 4/2 灰褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
415	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(8.6)	[4.9]	ナデ 底部：穿孔2孔1対2箇所(焼成前，1対未貫通)	指オサエ	5YR 6/8 橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
416	19	F4	Ⅲ層	底部		5.6	[5.2]	摩滅(不明) 底部：穿孔2孔1対	摩滅(不明)	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
417	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(6.0)	[1.9]	ナデ 底部：穿孔1孔(焼成後)	摩滅(不明)	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
418	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(6.0)	[4.0]	ナデ 底部：穿孔1孔(焼成後)	ミガキ	5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 5/2 灰褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
419	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(4.7)	[6.5]	摩滅(不明) 底部：穿孔1孔(焼成前)	上部：ナデ 下部：指オサエ	外面：7.5YR 6/6 橙色、 2.5YR 5/6 明赤褐色 内面：7.5YR 6/6 橙色、 7.5YR 3/1 黒褐色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
420	19	F4	Ⅲ層	(底部)	－	(6.0)	[6.0]	縦位ミガキ 底部：穿孔1孔、ミガキ	指オサエ→縦位ミガキ	10YR 5/6 赤色 10YR 4/3 赤褐色	やや粗 1～5mmの石英・長石含む	良好
421	19	F4	Ⅲ層	ミニチュア土器 (底部)	－	(2.2)	[1.5]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 5/4 にぶい赤褐色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良好
422	19	F4	Ⅲ層	製塩土器 (底部)	－	(6.0)	[2.0]	ナデ	ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 10YR 6/2 灰黄褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
423	19	F5	Ⅲ層	壺	(9.2)	－	[5.9]	縦位ハケ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/6 明褐色	やや粗 5mm以下の石英・長石含む	良
424	19	F5	Ⅲ層	長頸壺	(9.8)	－	[5.7]	縦位ミガキ	指オサエ	5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
425	19	F5	Ⅲ層	広口壺	(15.5)	－	[5.1]	ナデ 口縁端部：刻目	横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
426	19	F5	Ⅲ層	広口壺	(26.2)	－	[2.9]	ナデ	横位ミガキ	5YR 6/4 にぶい橙色 5YR 6/6 橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
427	19	F5	Ⅲ層	壺	(25.6)	－	[2.7]	ナデ	突帯2条(うち1条は痕跡のみ)	10YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 6/3 にぶい褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
428	19	F5	Ⅲ層	広口壺	(26.4)	－	[12.4]	摩滅(不明) 頸部：押圧突帯1条	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
429	19	F5	Ⅲ層	壺	－	4.2	[2.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/8 橙色 5YR 7/8 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
430	19	F5	Ⅲ層	甕	(14.2)	－	[3.5]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
431	19	F5	Ⅲ層	甕	(14.6)	－	[5.0]	摩滅(不明)	ナデ	5YR 6/8 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
432	19	F5	Ⅲ層	甕	(17.3)	－	[2.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 6/8 橙色	粗 3mm以下の石英・長石含む	良
433	19	F5	Ⅲ層	甕	(18.3)	－	[3.1]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 8/6 浅黄橙色	やや粗 0.5～4mmの石英・長石含む	良
434	19	F5	Ⅲ層	甕	(18.8)	－	[2.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
435	19	F5	Ⅲ層	甕	(18.8)	－	[4.4]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
436	19	F5	Ⅲ層	甕	(19.6)	－	[3.1]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 5/8 明赤褐色 5YR 5/8 明赤褐色	粗 2mm以下の石英・長石含む	良
437	19	F5	Ⅲ層	甕	(23.2)	－	[5.0]	ナデ	ナデ	2.5YR 6/8 橙色 2.5YR 6/8 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
438	19	F5	Ⅲ層	甕	(38.2)	－	[9.6]	縦・横位ミガキ	縦位ミガキ，指オサエ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
439	20	F5	Ⅲ層	甕	(17.0)	－	[4.8]	縦位ハケ	横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
440	20	F5	Ⅲ層	甕	(19.6)	－	[2.2]	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
441	20	F5	Ⅲ層	甕	(26.4)	－	[6.7]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 5/8 明赤褐色 2.5YR 5/8 明赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
442	20	F5	Ⅲ層	甕	(24.1)	－	[5.8]	縦位ハケ	ナデ，ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
443	20	F5	Ⅲ層	甕	(18.6)	－	[2.9]	ナデ，指オサエ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
444	20	F5	Ⅲ層	甕	(17.6)	－	[6.6]	摩滅(不明)	縦位ミガキ	5YR 6/6 橙色 5YR 6/4 にぶい橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
445	20	F5	Ⅲ層	甕	(22.0)	－	[2.5]	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
446	20	F5	Ⅲ層	甕	(22.6)	－	[3.7]	縦位ハケ，ナデ	摩滅(不明)	5YR 6/6 橙色 5YR 7/8 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
447	20	F5	Ⅲ層	甕	(26.6)	－	[3.8]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 8/8 黄橙色	やや密 0.5～2mmの石英・長石含む	良
448	20	F5	Ⅲ層	鉢	(26.0)	－	[4.7]	ナデ，縦位ハケ 櫛描直線文2本1束4条 櫛描波状文(単位不明)	ナデ，横位ミガキ，指オサエ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
449	20	F5	Ⅲ層	甕	(32.0)	－	[6.1]	縦位ハケ	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
450	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(5.0)	[3.2]	摩滅(不明) 底部：ナデ	ナデ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	粗 4mm以下の石英・長石含む	良好
451	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(5.9)	[2.6]	摩滅(不明)	ナデ	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
452	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(4.6)	[5.1]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 7/8 橙色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
453	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(7.4)	[3.7]	摩滅(不明) 底部：ナデ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
454	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(7.0)	[4.8]	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 10YR 6/6 明黄褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
455	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(8.4)	[4.3]	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
456	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(6.0)	[2.2]	縦位ハケ，ナデ	ヘラケズリ	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 0.2～5mmの石英・長石含む	良
457	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(6.6)	[3.4]	縦位ミガキ	ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 7.5YR 6/8 橙色	やや密 0.5～5mmの石英・長石含む	良
458	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(6.1)	[3.8]	摩滅(ハケ) 底部：指オサエ	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/6 橙色	粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
459	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(7.2)	[5.7]	縦位ミガキ，ナデ	ナデ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	粗 1～5mmの石英・0.5mmの長石含む	良好
460	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(7.8)	[5.8]	板ナデ	指オサエ，板ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
461	20	F5	Ⅲ層	(底部)	－	(6.2)	[5.3]	縦位ミガキ	ナデ	10YR 4/1 褐灰色 2.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好

土器・土製品 観察表 (9)

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名層位名	器種	法量(cm)			調整		色調	胎土	焼成
					口径	底径	器高	外面	内面	上：外面　下：内面		
462	20	F5	Ⅲ層	(底部)	—	(6.3)	〔5.7〕	縦位ミガキ 底部：両面から穿孔1孔(焼成前)	縦位ミガキ	2.5YR 5/6 明赤褐色 5YR 6/6 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
463	20	F5	Ⅲ層	(底部)	—	(7.0)	〔6.4〕	縦位ミガキ	指オサエ	7.5YR 7/6 橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良好
464	20	F5	Ⅲ層	(底部)	—	(10.2)	〔7.1〕	縦位ミガキ	板ナデ，一部ハケ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
465	20	F5	Ⅲ層	盤状土製品	長軸 4.1	短軸 4.4	厚さ 1.9	—	—	7.5YR 5/2 灰褐色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	密 2mm以下の石英・長石・角閃石含む	—
466	20	F5	Ⅲ層	盤状土製品	長軸 6.7	短軸 6.1	厚さ 2.4	ナデ	ナデ，ハケメ？	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 6/2 灰黄褐色	密 3mm以下の石英を多く含む	良好
467	21	G2	Ⅲ層	鉢	(9.8)	—	〔3.1〕	縦位ハケ→ 櫛描直線文4本1束3条	ナデ	7.5YR 4/4 褐色 7.5YR 4/4 褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
468	21	G2	Ⅲ層	甕	(17.4)	—	〔3.0〕	ナデ，縦位ハケ	摩滅(不明)	5YR 7/6 橙色 5YR 7/8 橙色	やや粗 0.5～2mmの石英・長石含む	良
469	21	G2	Ⅲ層	甕	(27.2)	—	〔2.2〕	摩滅(不明) 口縁端部：刻目	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
470	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	5.8	〔3.7〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
471	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	(6.4)	〔4.3〕	縦位ミガキ	指オサエ	2.5YR 6/8 橙色 2.5YR 6/8 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良
472	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	(6.2)	〔4.4〕	縦位ミガキ	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
473	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	7.2	〔4.1〕	摩滅(不明) 底部：穿孔1孔(焼成後)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	粗 4mm以下の石英・長石含む	良好
474	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	(7.4)	〔2.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 5/8 明赤褐色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
475	21	G2	Ⅲ層	(底部)	—	(8.4)	〔5.7〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
476	21	G3	Ⅲ層	無頸壺	(5.1)	—	〔2.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
477	21	G3	Ⅲ層	壺	(8.8)	—	〔3.8〕	沈線8条，櫛描波状文	摩滅(不明)	10YR 4/1 褐灰色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	やや粗 0.5～1mmの石英・長石含む	良
478	21	G3	Ⅲ層	無頸壺	(7.8)	—	〔5.0〕	摩滅(不明)，櫛描直線文9本1束，櫛描波状文9本1束1条	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
479	21	G3	Ⅲ層	壺	(12.5)	—	〔6.9〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	2.5YR 6/6 橙色 2.5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 4mm以下の石英・長石含む	良好
480	21	G3	Ⅲ層	壺	(11.2)	—	〔4.2〕	摩滅(不明)，櫛描波状文2本1束2条，沈線5条	ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 8/6 黄橙色	やや密 1～3mmの石英・長石含む	良
481	21	G3	Ⅲ層	無頸壺	(9.8)	—	〔3.7〕	摩滅(不明)，ナデ	ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
482	21	G3	Ⅲ層	長頸壺	(9.7)	—	〔6.4〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ	5YR 4/6 赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	密 5mm以下の石英・長石含む	良好
483	21	G3	Ⅲ層	広口壺	(13.6)	—	〔1.6〕	摩滅(不明)，指オサエ	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 10YR 7/6 明黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
484	21	G3	Ⅲ層	壺	(22.0)	—	〔2.9〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10R 6/6 赤橙色 2.5YR 7/6 橙色	やや粗 1～4mmの石英・長石含む	良
485	21	G3	Ⅲ層	広口壺	(24.0)	—	〔1.6〕	ナデ	ナデ	2.5Y 8/3 淡黄色 10YR 4/1 褐灰色	やや密 1mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
486	21	G3	Ⅲ層	広口壺	(34.0)	—	〔2.3〕	ナデ 凹線1条，口縁端部：刻目	ナデ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 5YR 5/4 にぶい赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
487	21	G3	Ⅲ層	壺	—	—	〔2.8〕	ナデ，櫛描直線文4本以上(単位不明)，体部：竹管文	剥離	7.5Y 3/1 オリーブ黒 5Y 3/1 オリーブ黒	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
488	21	G3	Ⅲ層	壺	—	—	〔5.0〕	摩滅(不明) 櫛描直線文，押圧突帯	摩滅(不明)	7.5YR 6/8 橙色 10YR 6/4 にぶい黄橙色	密 2mm以下の石英・長石含む	良好
489	21	G3	Ⅲ層	壺	—	—	〔6.5〕	ナデ，櫛描直線文13本，櫛描波状文3本1束2条，列点文	ナデ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 10YR 4/1 褐灰色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
490	21	G3	Ⅲ層	壺	—	—	〔8.4〕	ナデ，刺突文，櫛描直線文・櫛描波状文(単位不明)	ナデ	10YR 7/2 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
491	21	G3	Ⅲ層	壺	—	—	〔6.0〕	ナデ，櫛描直線文4本1束3条，櫛描簾状文4本1束1条	ナデ，指オサエ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
492	21	G3	Ⅲ層	甕	(14.6)	—	〔3.2〕	指オサエ	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良
493	21	G3	Ⅲ層	甕	(15.8)	—	〔2.8〕	指オサエ	ナデ	10YR 5/4 にぶい黄褐色 2.5Y 6/3 にぶい黄色	密 3mm以下の石英・長石含む	良好
494	21	G3	Ⅲ層	甕	(16.5)	—	〔2.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 5/6 明褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
495	21	G3	Ⅲ層	甕	(16.4)	—	〔2.8〕	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや密 0.5～4mmの石英・長石含む	良
496	21	G3	Ⅲ層	甕	(17.6)	—	〔3.6〕	ナデ，縦位ハケ	ナデ，横位ミガキ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 7.5YR 5/2 灰褐色	やや粗 0.5～3mmの石英・長石含む	良
497	21	G3	Ⅲ層	甕	(18.9)	—	〔4.0〕	摩滅(不明)	横位ミガキ	2.5Y 3/1 黒褐色 10YR 3/1 黒褐色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好
498	21	G3	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔4.0〕	ナデ	ナデ，指オサエ	7.5YR 8/4 浅黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	粗 0.5～4mmの石英・長石含む	良
499	21	G3	Ⅲ層	甕	(21.6)	—	〔4.5〕	指オサエ	摩滅(不明)	10YR 6/4 にぶい黄橙色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや粗 1～3mmの石英・長石含む	良
500	21	G3	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔8.3〕	縦位ハケ	横位ミガキ	10YR 6/4 にぶい黄橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
501	21	G3	Ⅲ層	甕	(23.6)	—	〔2.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 2.5YR 8/3 淡黄色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
502	21	G3	Ⅲ層	甕	(24.5)	—	〔1.0〕	指オサエ	ナデ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 10YR 6/6 明黄褐色	やや粗 1～2mmの石英・長石含む	良
503	21	G3	Ⅲ層	甕	(30.0)	—	〔4.2〕	摩滅(不明) 沈線16条	ナデ，横位ミガキ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 1～3mmの石英・長石含む	良
504	21	G3	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔1.8〕	ナデ，指オサエ	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	密 0.5～3mmの石英・長石・角閃石む含む	良好
505	21	G3	Ⅲ層	甕	—	—	—	ナデ，指オサエ	ナデ	10YR 8/3 浅黄橙色 10YR 8/4 浅黄橙色	密 0.5～2mmの石英・長石・角閃石む含む	良好
506	21	G3	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔5.0〕	縦位ミガキ	指オサエ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	密 1～2mmの石英・長石・角閃石・雲母含む	良好
507	21	G3	Ⅲ層	甕	(18.6)	—	〔2.1〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 7.5YR 8/6 浅黄橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
508	21	G3	Ⅲ層	甕	(18.4)	—	〔1.8〕	ナデ	横位ミガキ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
509	21	G3	Ⅲ層	甕	(19.1)	—	〔1.5〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/8 橙色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
510	21	G3	Ⅲ層	鉢	(24.6)	—	〔3.9〕	縦位ミガキ	摩滅(不明)	7.5YR 5/4 にぶい褐色 7.5YR 6/8 橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
511	21	G3	Ⅲ層	甕	(24.0)	—	〔1.5〕	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 4/1 褐灰色 7.5YR 4/1 褐灰色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
512	21	G3	Ⅲ層	甕	(25.4)	—	〔1.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 8/4 浅黄橙色 10YR 8/3 浅黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
513	21	G3	Ⅲ層	甕	(26.8)	—	〔1.4〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/8 橙色 7.5YR 7/8 黄橙色	やや粗 1～4mmの石英・長石含む	良
514	21	G3	Ⅲ層	甕	(29.3)	—	〔3.2〕	摩滅(不明)	ミガキ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 3mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
515	21	G3	Ⅲ層	甕	(31.4)	—	〔1.9〕	ナデ	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
516	22	G3	Ⅲ層	鉢	(56.8)	—	〔5.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 1～3mmの石英・長石，0.5mmの金雲母を少量含む	良
517	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	(4.4)	〔3.0〕	摩滅(不明)	ナデ	10YR 7/3 にぶい黄橙色 7.5YR 5/1 褐灰色	やや粗 1～1.5mmの石英・長石含む	良
518	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.0)	〔7.0〕	縦位ミガキ	ナデ，指オサエ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
519	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	5.0	〔4.4〕	縦位ハケ→縦位ミガキ	縦位ミガキ，指オサエ	7.5YR 7/4 にぶい橙色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好

土器・土製品 観察表 (10)

掲載番号	挿図番号	地区	遺構名 層位名	器種	法量(cm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	色調 上：外面 下：内面	胎土	焼成
520	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	(6.6)	〔5.8〕	指オサエ	ナデ，指オサエ	7.5YR 6/3 にぶい褐色 7.5YR 7/4 にぶい橙色	やや粗 1mm以下の石英・長石含む	良
521	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	(7.8)	〔5.2〕	ナデ，横位ミガキ	指オサエ→ナデ	10YR 6/3 にぶい黄橙色 7.5YR 6/3 にぶい褐色	粗 1～3mmの石英・長石含む	良好
522	22	G3	Ⅲ層	(底部)	—	(8.6)	〔5.0〕	縦位ミガキ	摩滅(不明)	5YR 5/4 にぶい赤褐色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良好
523	22	G4	Ⅲ層	無頸壺	(6.0)	—	〔5.0〕	摩滅(不明) 櫛描直線文11本(単位不明)	ナデ	7.5YR 8/4 浅黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 0.1～1mmの石英・長石含む	良
524	22	G4	Ⅲ層	無頸壺	(9.5)	—	〔5.6〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	7.5YR 7/6 橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
525	22	G4	Ⅲ層	広口壺	(9.8)	—	〔5.3〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/4 にぶい黄橙色 10YR 7/4 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
526	22	G4	Ⅲ層	広口壺	(11.2)	—	〔2.5〕	摩滅(不明)	ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
527	22	G4	Ⅲ層	広口壺	(25.8)	—	〔2.5〕	縦位ハケ 口縁端部：斜格子文	摩滅(不明)	7.5YR 7/3 にぶい橙色 10YR 7/3 にぶい黄橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
528	22	G4	Ⅲ層	広口壺	(17.0)	—	〔8.7〕	縦位ミガキ	縦・横位ミガキ	2.5YR 5/6 明赤褐色 5YR 5/6 明赤褐色	やや密 2mm以下の石英・長石・雲母含む	良
529	22	G4	Ⅲ層	鉢	(16.0)	—	〔4.0〕	摩滅(不明) 口縁部：穿孔1孔	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
530	22	G4	Ⅲ層	鉢	(17.6)	—	〔2.9〕	ナデ 口縁部：穿孔2孔1対	ナデ	7.5YR 2/1 黒色 7.5YR 6/3 にぶい褐色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
531	22	G4	Ⅲ層	鉢	(22.7)	(14.8)	〔19.4〕	ナデ，縦位ミガキ，櫛描直線文10本1束3条・櫛描波状文10本1束2条，焼成前穿孔4個2対2箇所	横位ミガキ	5YR 4/3 にぶい赤褐色 7.5YR 5/6 明褐色	密 3mm以下の石英・長石・金雲母含む	良好
532	22	G4	Ⅲ層	甕	(18.0)	—	〔3.0〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 6/2 灰黄褐色 10YR 6/2 灰黄褐色	やや粗 2mm以下の石英・長石含む	良
533	22	G4	Ⅲ層	甕	(15.2)	—	〔3.0〕	摩滅(不明) 櫛描直線文3本(単位不明)	ナデ	10YR 7/4 にぶい黄橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
534	22	G4	Ⅲ層	甕	(17.0)	—	〔2.3〕	ナデ	ナデ	10YR 6/3 にぶい黄橙色 10YR 6/3 にぶい黄橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
535	22	G4	Ⅲ層	甕	(18.2)	—	〔4.0〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 6/6 橙色 7.5YR 6/6 橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
536	22	G4	Ⅲ層	甕	(19.8)	—	〔5.8〕	摩滅(不明)	横位ミガキ	7.5YR 7/8 黄橙色 7.5YR 7/6 橙色	やや粗 0.5～5mmの石英・長石・金雲母含む	良
537	22	G4	Ⅲ層	甕	(20.0)	—	〔3.7〕	摩滅(不明)	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 5/3 にぶい褐色	やや粗 6mm以下の石英・長石含む	良
538	22	G4	Ⅲ層	甕	(24.4)	—	〔2.0〕	ナデ 櫛描直線文3本(単位不明)	ナデ	5YR 6/6 橙色 7.5YR 5/4 にぶい褐色	やや粗 0.5～5mmの石英・長石含む	良
539	22	G4	Ⅲ層	甕	(27.0)	—	〔4.2〕	ナデ	横位ミガキ	2.5YR 6/8 橙色 5YR 6/6 橙色	粗 0.5～4mmの石英・長石含む	良
540	22	G4	Ⅲ層	甕	(24.0)	—	〔6.2〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/8 橙色 5YR 4/8 赤褐色	やや密 4mm以下の石英・長石・雲母含む	良
541	22	G4	Ⅲ層	甕	(26.6)	—	〔4.8〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 5/6 赤色 10YR 6/6 赤橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
542	22	G4	Ⅲ層	甕	(28.9)	—	〔4.4〕	ナデ	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良
543	23	G4	Ⅲ層	甕	(15.2)	—	〔5.4〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 7/6 明黄褐色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
544	23	G4	Ⅲ層	甕	(20.2)	—	〔3.3〕	ナデ	横位ミガキ	10YR 6/2 灰黄褐色 10YR 5/2 灰黄褐色	やや密 3mm以下の石英・長石含む	良好
545	23	G4	Ⅲ層	甕	(19.2)	—	〔4.0〕	縦位ハケ，ナデ	ハケ→ナデ，横位ミガキ	7.5YR 7/3 にぶい橙色 7.5YR 7/3 にぶい橙色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
546	23	G4	Ⅲ層	甕	(21.0)	—	〔2.0〕	ナデ	ナデ，縦位ミガキ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
547	23	G4	Ⅲ層	甕	(16.0)	—	〔5.9〕	ナデ 体部：刺突文	ナデ，横位ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 1mm以下の石英・長石・雲母含む	良
548	23	G4	Ⅲ層	甕	(18.4)	—	〔13.0〕	縦位ハケ，縦位ミガキ 体部：刺突文	縦位ミガキ	2.5YR 6/8 橙色 7.5YR 2/2 黒褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良
549	23	G4	Ⅲ層	甕	(38.0)	—	〔2.4〕	ナデ 頸部：沈線6条	ナデ(部分的に剥離)	7.5YR 6/6 橙色 5YR 6/6 橙色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良
550	23	G4	Ⅲ層	甕	(34.4)	—	〔13.5〕	ナデ 体部：刺突文	指ナデ，ナデ	10YR 7/6 明黄褐色 10YR 7/6 明黄褐色	密 1mm以下の石英・長石含む	良好
551	23	G4	Ⅲ層	甕	17.7	7.0	〔25.3〕	ナデ，縦位ミガキ，指オサエ	ナデ，横位ミガキ	2.5YR 5/6 明赤褐色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	密 4mm以下の石英・長石含む	良好
552	23	G4	Ⅲ層	(底部)	—	(8.6)	〔4.0〕	摩滅(不明)	ナデ	7.5YR 7/6 橙色 10YR 5/3 にぶい黄褐色	やや粗 3mm以下の石英・長石含む	良好
553	23	G4	Ⅲ層	(底部)	—	(6.4)	〔2.9〕	縦位ミガキ	摩滅(不明)	7.5YR 6/4 にぶい橙色 7.5YR 6/4 にぶい橙色	やや密 2mm以下の石英・長石含む	良
554	23	G4	Ⅲ層	(底部)	—	(7.6)	〔3.8〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	ナデ	5YR 6/8 橙色 5YR 6/6 橙色	やや密 5mm以下の石英・長石含む	良
555	23	G4	Ⅲ層	(底部)	—	(10.0)	〔4.3〕	縦位ミガキ 底部：ナデ	ナデ	7.5YR 4/3 褐色 5YR 5/8 明赤褐色	やや密 4mm以下の石英・長石含む	良
556	23	G5	Ⅲ層	(底部)	—	(7.2)	〔2.7〕	摩滅(不明)	摩滅(不明)	5YR 6/4 にぶい橙色 2.5YR 5/2 暗灰黄色	やや密 1mm以下の石英・長石含む	良好
557	23	G5	Ⅲ層	(底部)	—	(5.6)	〔3.5〕	縦位ミガキ	ナデ	5YR 7/4 橙色 5YR 5/3 にぶい赤褐色	やや密 1～4mmの石英・長石含む	良
558	23	不明	Ⅲ層	甕	(20.6)	—	〔2.7〕	ナデ	ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 5YR 7/6 橙色	密 1mmの砂粒を多量に含む	良好

法量の欄の（　）内の数値は復元値，〔　〕内の数値は残存値を示す。また，器種を特定できなかった個体は，（　）で出土した部位を示した。

石器 観察表 (1)

掲載番号	挿図番号	地区	器種	法量（cm）			重量(g)	石材	備考
				長さ	幅	厚さ			
1	24	E2	石鏃	2.2	2.0	0.4	1.7	サヌカイト	切先と基部折損。両面：浅形細部調整。
2	24	E2	石鏃	2.5	1.1	0.3	1.1	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
3	24	E2	石鏃	3.0	1.2	0.3	1.1	サヌカイト	凸基Ⅰ式。切先折損。両面：極浅～浅形細部調整。
4	24	E2	石鏃	2.3	1.8	0.7	3.4	サヌカイト	一部のみ残存。片面は大きく剥離。
5	24	E2	尖頭器	5.0	2.5	0.4	7.1	サヌカイト	完形。背面：浅形～深形細部調整，腹面：浅形細部調整。
6	24	E2	石鏃未製品	3.7	2.7	1.4	8.3	サヌカイト	両面：一部に極浅形細部調整。
7	24	E2	打製石包丁	6.3	3.9	0.9	25.6	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：浅形細部調整，摩滅。使用痕あり。
8	24	E2	打製石包丁	6.2	4.1	0.7	21.0	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：浅形細部調整，使用痕あり。
9	24	E2	削器	3.2	2.9	0.7	7.3	サヌカイト	一部折損。背部：折損面に調整。刃部：浅形細部調整，摩滅。
10	24	E2	削器	4.5	4.3	0.7	14.4	サヌカイト	一部折損。刃部：両面極浅形細部調整，摩滅。
11	24	E2	楔形石器	7.9	7.3	1.9	92.1	サヌカイト	板材素材。上・下端部に潰れ。
12	24	E2	石核	8.2	10.2	2.3	275.1	サヌカイト	板材素材。上・下端部に潰れ。小型剥片を剥離。
13	24	E2	砥石	8.2	7.7	3.4	241.0	砂岩	一部欠損。砥面1面。被熱。
14	25	E3	石鏃	2.1	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	基部折損。両面：浅形細部調整。
15	25	E3	石鏃	3.5	1.7	0.6	4.0	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。背面：浅形細部調整。 腹面：極浅～浅形細部調整，一部未調整。
16	25	E3	石鏃未製品	3.7	1.7	0.6	2.2	サヌカイト	背面：一部に極浅形細部調整，自然面残存。 腹面：一部に極浅～浅形細部調整。
17	25	E3	石錐	2.6	1.3	0.3	0.8	サヌカイト	Ⅰ類。完形。両面：一部に極浅～浅形細部調整。
18	25	E3	石錐	3.8	1.2	0.5	2.6	サヌカイト	Ⅲ類。完形。両面：浅形細部調整。
19	25	E3	打製石包丁	3.3	3.4	0.9	8.3	サヌカイト	側辺部のみ残存。抉りあり。背部：背潰加工。刃部：粗い両面調整。
20	25	E3	打製石包丁	4.6	3.9	0.8	10.4	サヌカイト	一部折損。抉りあり。背部：背潰加工。刃部：微細剥離痕あり。 側辺部：研磨。
21	25	E3	打製石包丁	6.3	3.4	1.0	24.5	サヌカイト	一部折損。抉りあり。二重パテナあり。 背部：背潰加工。刃部：浅形細部調整，摩滅。
22	25	E3	尖頭器未製品	5.5	3.6	0.65	9.7	サヌカイト	基部一部折損。両面刃部：極浅形～浅形細部調整。
23	25	E3	打製石剣	4.5	3.1	0.8	15.0	サヌカイト	基部のみ残存。側辺部：刃潰。
24	25	E3	ＭＦ	4.4	3.1	0.5	7.8	サヌカイト	一部折損。剥片素材。刃部：微細剥離痕あり。
25	25	E3	ＲＦ	2.7	3.5	0.6	5.0	サヌカイト	一部折損部に調整あり。
26	25	E3	ＲＦ	2.0	1.7	0.5	1.7	サヌカイト	両面：極浅形～浅形細部調整。石鏃未製品の可能性あり。
27	25	E3	削器？	2.7	3.8	0.5	5.3	サヌカイト	両側辺折損。刃部：摩滅。
28	25	E3	石皿	10.0	7.2	5.8	500.8	砂岩	一部残存。被熱。
29	25	E3	扁平片刃石斧	3.7	3.2	1.1	19.0	緑泥片岩	両面研磨。擦痕あり。刃部：やや摩滅。
30	26	F5	石鏃	2.9	2.3	0.5	1.9	サヌカイト	凹基式。完形。背面：浅形細部調整。腹面：一部に極浅形細部調整。
31	26	F5	石鏃	3.0	1.7	0.4	1.4	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
32	26	F5	石鏃	2.4	1.5	0.4	1.4	サヌカイト	平基式。完形。両面：浅形細部調整。
33	26	F5	石鏃	2.1	1.3	0.5	1.4	サヌカイト	先端部と基部折損。背面：極浅形細部調整。腹面：浅形細部調整。
34	26	F5	打製石包丁	4.8	3.5	0.6	10.5	サヌカイト	一部残存。抉りあり。刃部：両面一部極浅形細部調整，摩滅。白色風化。
35	26	F5	打製石包丁	5.0	4.3	1.1	24.1	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。側縁部に自然面を残す。
36	26	F5	打製石包丁	8.5	4.1	0.6	30.7	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：非常に摩滅。側辺部に自然面残存。
37	26	F5	柱状片刃石斧 未製品？	7.9	3.3	2.2	120.7	緑泥片岩	一部に敲打痕あり。石材：藍晶石含む
38	27	E4	石鏃	2.3	1.6	0.3	0.6	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
39	27	E4	石鏃	2.3	1.8	0.3	1.1	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形細部調整。
40	27	E4	石鏃	2.5	1.5	0.2	1.1	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
41	27	E4	石鏃	2.7	2.0	0.5	1.9	サヌカイト	凹基式。先端部と基部の一部折損。大型石鏃。 背面：浅形細部調整。腹面：深形細部調整。
42	27	E4	石鏃	3.5	1.9	0.4	2.1	サヌカイト	凹基式。基部の一部を折損。両面：極浅～浅形細部調整。
43	27	E4	石鏃	2.9	2.4	0.5	2.6	サヌカイト	凹基式。完形。両面：深形細部調整。
44	27	E4	石鏃	2.4	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	平基式。先端部折損。両面：極浅～浅形細部調整。
45	27	E4	石鏃	2.3	1.7	0.3	1.1	サヌカイト	平基式。完形。背面：深形細部調整。腹面：極浅～浅形細部調整。
46	27	E4	石鏃	2.3	2.2	0.4	1.9	サヌカイト	平基式。先端部折損。背面：浅形細部調整。腹面：深形細部調整。白色風
47	27	E4	石鏃	3.5	2.2	0.6	4.3	サヌカイト	平基式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
48	27	E4	石鏃	3.3	1.3	0.3	1.8	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：一部に極浅形細部調整。
49	27	E4	石鏃	5.1	2.8	0.6	8.1	サヌカイト	平基式。完形。両面：一部に浅形細部調整。未製品か。
50	27	E4	打製石剣	3.8	2.3	0.8	9.6	サヌカイト	基部の一部残存。両面：浅形～深形細部調整。
51	27	E4	石鏃未製品	2.5	2.0	0.4	1.9	サヌカイト	両面：一部に浅形細部調整
52	27	E4	石鏃未製品	3.5	2.7	0.7	7.9	サヌカイト	両面：浅形細部調整。
53	27	E4	打製石包丁	4.2	3.6	0.8	11.3	サヌカイト	一部欠損。抉りあり。刃部：著しい摩滅。
54	27	E4	打製石包丁	5.0	3.7	0.9	18.4	サヌカイト	一部欠損。抉りあり。背部：背潰加工。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。
55	27	E4	削器	4.8	3.0	0.7	11.6	サヌカイト	一部欠損。背部：背潰加工。刃部：粗い両面調整，摩滅。 側辺部：自然面残存。
56	27	E4	削器	4.4	3.2	0.6	9.6	サヌカイト	一部折損。刃部：摩滅。
57	27	E4	削器	4.8	2.8	0.7	10.1	サヌカイト	一部残存。刃部：片側浅形細部調整，摩滅。側辺部に自然面残存。
58	27	E4	削器	3.1	3.1	0.6	6.9	サヌカイト	両側辺折損。刃部：摩滅。
59	27	E4	削器	3.7	3.8	0.7	10.3	サヌカイト	一部残存。刃部：粗い両面調整，摩滅。
60	27	E4	扁平片刃石斧	2.7	1.5	0.5	2.5	緑泥片岩	刃部表面のみ残存。
61	27	E4	磨製石包丁	4.8	4.4	1.3	36.2	流紋岩	一部残存。刃部：両刃。
62	28	G2	石鏃	2.2	1.8	0.3	1.0	サヌカイト	平基式。切先折損。両面：浅形～深形細部調整。
63	28	G2	削器	4.8	4.4	1.3	26.3	サヌカイト	一部残存。背部：背潰加工。刃部：粗い両面調整，著しい摩滅。
64	28	G2	打製石包丁	9.9	3.4	0.9	40.2	サヌカイト	完形。２側辺に抉りあり。背部：著しい背潰加工。 刃部：浅形細部調整，やや摩滅。
65	28	G2	打製石包丁	6.4	3.2	0.8	20.0	サヌカイト	一部欠損。背部：背潰加工。刃部：粗い両面調整，摩滅。白色風化。
66	29	F3	石鏃	1.9	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	凹基式。完形。背面：極浅～浅形細部調整。腹面：浅形細部調整。
67	29	F3	石鏃	2.5	1.0	0.2	0.5	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
68	29	F3	石鏃	2.4	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
69	29	F3	石鏃	2.8	1.6	0.4	1.1	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
70	29	F3	石鏃	2.6	1.7	0.4	1.2	サヌカイト	平基式。完形。両面：深形細部調整。
71	29	F3	石鏃	2.8	1.5	0.3	1.2	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
72	29	F3	石鏃	2.6	1.2	0.4	1.1	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。背面：浅形細部調整，自然面残存。腹面：深形細部調整。
73	29	F3	石鏃	2.5	1.3	0.3	1.3	サヌカイト	凸基Ⅰ式。先端部折損。背面：極浅形細部調整。腹面：浅形細部調整。
74	29	F3	石鏃	3.8	1.1	0.3	1.6	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：極浅～浅形細部調整。
75	29	F3	石鏃	3.6	1.1	0.4	1.8	サヌカイト	凸基Ⅰ式。両面：深形細部調整。
76	29	F3	石鏃	2.2	1.4	0.4	1.1	サヌカイト	基部折損。両面：深形細部調整。
77	29	F3	石鏃	2.1	1.7	0.4	2.0	サヌカイト	一部残存。背面：極浅形細部調整。腹面：浅形細部調整。
78	29	F3	石鏃未製品	3.3	2.4	0.7	6.0	サヌカイト	先端部と基部折損。両面：粗い浅形細部調整。
79	29	F3	石鏃未製品	3.7	2.1	0.6	3.4	サヌカイト	背面：粗い調整。腹面：未調整。
80	29	F3	石錐	4.2	1.2	0.5	2.1	サヌカイト	Ⅰ類。先端部折損。両面：極浅～浅形細部調整。
81	29	F3	石錐	4.1	0.9	0.4	3.1	サヌカイト	基部欠損。先端部折損。背面：極浅～浅形細部調整。
82	29	F3	石錐	4.8	2.6	0.7	3.8	サヌカイト	Ⅰ類。完形。両面：一部に極浅形細部調整。
83	29	F3	石錐	3.4	1.5	0.4	1.7	サヌカイト	Ⅰ類。先端部折損。両面：一部に浅形細部調整。

石器 観察表 (2)

掲載番号	挿図番号	地区	器種	法量 (cm)			重量(g)	石材	備考
				長さ	幅	厚さ			
84	29	F3	打製石剣	12.4	2.7	1.0	22.2	サヌカイト	先端部と基部を折損。両面：浅形細部調整。
85	29	F3	削器	4.1	2.6	0.7	8.6	サヌカイト	背面：自然面を大きく残す。刃部：両面浅形細部調整。
86	29	F3	削器	3.7	4.5	0.6	10.5	サヌカイト	両側辺折損。背部：背潰加工。刃部：両面浅形細部調整。
87	29	F3	削器	4.4	2.9	0.8	10.1	サヌカイト	一部折損。両面調整。刃部：浅形細部調整，摩滅。
88	29	F3	削器	2.9	2.8	0.6	5.2	サヌカイト	一部欠損。背部：背潰加工，一部研磨か？ 刃部：両面極浅形～浅形細部調整。白色風化。
89	29	F3	削器	4.4	4.3	0.9	19.5	サヌカイト	一部折損。刃部：両面極浅形～浅形細部調整，摩滅。一部に自然面残存。
90	29	F3	打製石包丁？	7.8	3.7	1.1	35.6	サヌカイト	完形。背部：弱い背潰加工。刃部：粗い両面調整，一部に著しい摩滅。 打製石斧の可能性あり。
91	29	F3	打製石包丁	9.9	4.3	1.0	40.6	サヌカイト	完形。背部：一部に背潰加工。刃部：両面極浅形～細部調整，やや摩滅。 両側辺：自然面。
92	29	F3・F4	磨製石包丁未製品？	14.2	5.5	1.1	124.4	流紋岩	敲打痕あり。
93	30	F4	石鏃	1.5	1.0	0.3	0.5	サヌカイト	基部折損。両面：極浅形～浅形細部調整。
94	30	F4	石鏃	1.6	1.0	0.3	0.5	サヌカイト	基部折損。背面：浅形～深形細部調整。腹面：極浅形細部調整。
95	30	F4	石鏃	2.1	1.2	0.4	0.8	サヌカイト	平基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
96	30	F4	石鏃	2.1	1.3	0.3	0.8	サヌカイト	平基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
97	30	F4	石鏃	2.3	1.6	0.3	0.8	サヌカイト	平基式。完形。両面：浅形細部調整。
98	30	F4	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.1	サヌカイト	平基式。基部の一部欠損。両面：浅形細部調整。
99	30	F4	石鏃	2.9	1.8	0.4	2.2	サヌカイト	平基式。完形。背面：浅形～深形細部調整。腹面：浅形細部調整。
100	30	F4	石鏃	1.6	1.6	0.3	0.6	サヌカイト	凹基式。先端折損。両面：浅形～深形細部調整。
101	30	F4	石鏃	1.9	2.1	0.6	1.3	サヌカイト	凹基式。先端折損。両面：浅形～深形細部調整。白色風化。
102	30	F4	石鏃	3.1	1.9	0.4	1.4	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
103	30	F4	石鏃	3.2	1.5	0.4	1.0	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
104	30	F4	石鏃	3.0	1.8	0.3	1.4	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形細部調整。
105	30	F4	石鏃	3.3	2.4	0.4	1.9	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅形～浅形細部調整。
106	30	F4	石鏃	3.0	2.2	0.5	1.3	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
107	30	F4	石鏃	2.2	1.6	0.4	1.0	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
108	30	F4	石鏃	2.9	1.7	0.5	1.8	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形細部調整，自然面残存。
109	30	F4	石鏃	2.7	1.9	0.2	1.0	サヌカイト	凹基式。完形。両面：一部に極浅形細部調整。
110	30	F4	石鏃	3.1	1.7	0.4	1.9	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
111	30	F4	石鏃	3.4	1.5	0.5	2.2	サヌカイト	凹基式。完形。背面：浅形細部調整。腹面：浅形～深形細部調整。
112	30	F4	石鏃	1.5	0.8	0.2	0.1	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形細部調整。
113	30	F4	石鏃	2.6	1.0	0.3	0.8	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：浅形細部調整。
114	30	F4	石鏃	2.2	1.0	0.3	0.9	サヌカイト	凸基Ⅰ式。先端折損。背面：深形細部調整。腹面：極浅形細部調整。
115	30	F4	石鏃	3.1	1.3	0.4	1.4	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
116	30	F4	石鏃	2.1	1.1	0.3	0.7	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。背面：一部に浅形細部調整。腹面：浅形～深形細部調整。
117	30	F4	石鏃	2.3	1.4	0.3	1.0	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。背面：浅形細部調整。腹面：極浅形細部調整。
118	30	F4	石鏃	3.1	1.0	0.3	0.9	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。両面：極浅形～浅形細部調整。
119	30	F4	石鏃	3.8	1.5	0.4	2.3	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。背面：極浅形～浅形細部調整。自然面残存。 腹面：極浅形～浅形細部調整。
120	30	F4	石鏃未製品	3.1	2.0	0.5	3.1	サヌカイト	一部折損。両面：極浅形～浅形細部調整。
121	30	F4	石鏃未製品	2.0	1.9	0.3	1.5	サヌカイト	一部折損。両面：極浅形細部調整。側辺部：自然面残存。
122	30	F4	石鏃未製品	3.0	1.7	0.5	2.3	サヌカイト	背面：浅形細部調整。腹面：一部に極浅形細部調整。
123	30	F4	尖頭器	4.2	1.5	0.8	5.6	サヌカイト	両面：極浅形～浅形細部調整，体部に自然面残存。白色風化。
124	30	F4	打製石剣	3.0	2.2	0.7	6.0	サヌカイト	体部のみ残存。両面：浅形細部調整。
125	30	F4	石錐	4.2	1.2	0.5	1.9	サヌカイト	Ⅰ類。完形。両面：浅形細部調整。
126	30	F4	石錐	4.1	1.8	0.7	3.3	サヌカイト	Ⅰ類。先端部折損。両面：一部に浅形細部調整。
127	30	F4	石錐	4.0	1.0	0.6	1.9	サヌカイト	Ⅲ類。完形。先端部折損。両面：浅形細部調整。
128	30	F4	石匙	4.5	4.3	0.6	9.5	サヌカイト	完形。両面：浅形細部調整。刃部：両面調整，やや摩滅。二重パテナあり。
129	30	F4	削器	4.9	3.3	0.8	8.8	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。
130	30	F4	削器	4.5	5.6	0.8	13.3	サヌカイト	一部折損。背面刃部：極浅形細部調整，摩滅。腹面刃部：摩滅。
131	30	F4	削器	4.9	2.9	0.8	13.7	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。
132	30	F4	削器	5.7	2.7	0.9	13.6	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。
133	30	F4	削器	4.8	5.7	1.4	30.2	サヌカイト	完形。背面刃部：極浅形細部調整，摩滅。
134	31	F4	削器	8.3	3.7	0.9	26.7	サヌカイト	完形。横長剥片素材。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。 両側辺に自然面残存。
135	31	F4	打製石包丁	8.3	3.9	0.9	33.4	サヌカイト	完形。背部：背潰加工。刃部：摩滅。
136	31	F4	打製石包丁	5.8	4.3	1.0	21.6	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：粗い両面調整，摩滅。
137	31	F4	打製石包丁	4.9	4.2	1.1	22.4	サヌカイト	一部折損。背部：背潰加工。刃部：両面浅形細部調整，摩滅。
138	31	F4	打製石包丁	5.4	3.5	0.8	18.2	サヌカイト	両端折損。背部：弱い背潰加工。刃部：粗い両面調整，著しく摩滅。
139	31	F4	ＭＦ	5.9	3.0	0.7	13.5	サヌカイト	自然面打面の横長剥片素材。剥片端部に微細剥離痕あり。
140	31	F4	ＲＦ	7.3	6.5	1.1	54.3	サヌカイト	一部に二次加工が確認できる。一側辺を自然面で構成。
141	31	F4	破片	5.0	4.2	0.7	18.3	紅レン片岩	調整なし。
142	31	F4	大型蛤刃石斧	6.6	2.8	4.0	76.6	輝緑岩	一部残存。
143	31	F4	打製石斧	10.8	5.7	2.8	244.6	輝緑岩	半分欠損。側面：線状痕あり。
144	31	F4	砥石	6.2	3.1	1.7	55.2	流紋岩	中央部やや凹む。
145	31	F4	敲き石	8.5	5.9	4.4	300.3	砂岩	一部欠損。被熱。
146	31	F4	素材？	12.6	6.7	4.2	517.8	安山岩	敲打痕あり。
147	32	G3	石鏃	1.5	1.6	0.3	0.8	サヌカイト	凹基式。先端部折損。両面：浅形細部調整。
148	32	G3	石鏃	2.0	1.5	0.4	0.9	サヌカイト	凹基式。先端部欠損。両面：浅形～深形細部調整。
149	32	G3	石鏃	2.4	2.0	0.5	1.4	サヌカイト	凹基式。完形。側縁部やや鋸歯状。両面：浅形～深形細部調整。
150	32	G3	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.0	サヌカイト	凸基Ⅰ式。完形。両面：深形細部調整。
151	32	G3	石鏃	1.9	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	平基式。完形。両面：極浅形細部調整。
152	32	G3	石鏃	2.4	1.9	0.3	1.3	サヌカイト	平基式。完形。両面：深形細部調整。
153	32	G3	石鏃	3.2	1.2	0.4	1.3	サヌカイト	凸基Ⅱ式。切先折損。両面：浅形～深形細部調整。
154	32	G3	石鏃未製品	2.8	1.4	0.3	1.3	サヌカイト	両面：極浅形～浅形細部調整。
155	32	G3	石鏃未製品	1.8	2.6	0.4	1.9	サヌカイト	一部折損。両面：浅形細部調整。背面：自然面残存。
156	32	G3	石鏃未製品	3.4	1.9	0.4	2.4	サヌカイト	背面：一部に極浅形細部調整。
157	32	G3	石鏃未製品	3.6	1.8	0.8	4.3	サヌカイト	一部折損。両面：一部に調整あり。
158	32	G3	石鏃未製品	3.6	2.1	0.6	3.2	サヌカイト	両面：一部に極浅形細部調整。
159	32	G3	石錐	5.6	2.7	0.7	7.1	サヌカイト	Ⅰ類。完形。両面：一部に浅形細部調整。背面：自然面残存。
160	32	G3	石錐	3.0	2.2	0.7	2.7	サヌカイト	Ⅰ類。一部折損。背面：一部に調整あり。
161	32	G3	石錐	2.9	0.9	0.4	1.2	サヌカイト	Ⅲ類。一部折損。背面：一部に極浅形細部調整，自然面残存。 腹面：一部調整。
162	32	G3	石錐	3.3	0.8	0.6	1.5	サヌカイト	Ⅲ類。一部折損。両面：一部に浅形細部調整。
163	32	G3	尖頭器	5.6	2.6	1.0	16.6	サヌカイト	先端部折損。両面：浅形細部調整。
164	32	G3	打製石剣	3.0	2.4	0.7	8.0	サヌカイト	基端部のみ残存。両面：浅形細部調整。側辺部：刃潰加工。
165	32	G3	削器	3.3	2.9	0.7	7.2	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調整，やや摩滅。
166	32	G3	削器	3.6	3.0	0.6	8.6	サヌカイト	両側辺折損。刃部：著しい摩滅。
167	32	G3	破片	3.6	1.5	0.6	3.8	サヌカイト	調整あり。擦痕あり。

石器 観察表 (3)

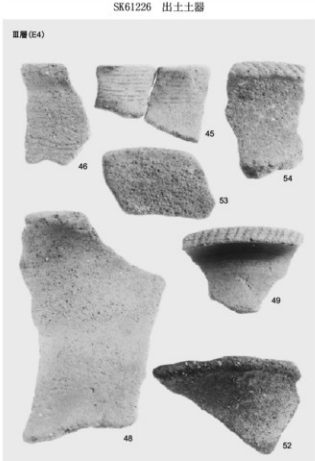
掲載番号	挿図番号	地区	器種	法量 (cm)			重量 (g)	石材	備考
				長さ	幅	厚さ			
168	32	G3	剥片	4.7	2.0	0.5	19.2	サヌカイト	背面：焼い磨痕あり。腹面：一部に磨痕あり。
169	32	G3	削器	5.8	3.5	0.9	26.8	サヌカイト	一部折損。背面：浅平細部調整。腹面：一部調整あり。
170	32	G3	砥石	7.2	6.7	1.0	48.9	流紋岩	砥面2面。磨痕あり。
171	32	G3	敲き石？	6.0	8.6	4.9	304.9	砂岩	敲打痕あり。被熱。
172	33	G4	石鏃	2.0	1.4	0.4	0.9	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅平～深平細部調整。
173	33	G4	石鏃	1.9	1.3	0.3	0.6	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅平細部調整。
174	33	G4	石鏃	2.0	1.1	0.2	0.6	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅平細部調整。
175	33	G4	石鏃	2.0	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅平～浅平細部調整。
176	33	G4	石鏃	2.0	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	凹基式。切先折損。両面：浅平細部調整。側縁部：鋸歯状。
177	33	G4	石鏃	2.3	1.5	0.3	0.7	サヌカイト	凹基式。基部の一部を折損。両面：浅平～深平細部調整。白色風化。
178	33	G4	石鏃	2.5	1.6	0.3	0.7	サヌカイト	凹基式。基部の一部を折損。両面：浅平～深平細部調整。
179	33	G4	石鏃	2.7	1.3	0.4	1.2	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅平～深平細部調整。
180	33	G4	石鏃	2.9	1.6	0.4	1.3	サヌカイト	凹基式。完形。両面：極浅平～浅平細部調整。
181	33	G4	石鏃	3.0	1.4	0.5	1.4	サヌカイト	凹基式。切先折損。背面：深平細部調整。腹面：浅平細部調整。
182	33	G4	石鏃	2.6	2.0	0.3	1.2	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅平細部調整。側縁部：鋸歯状。
183	33	G4	石鏃	2.0	2.1	0.3	0.9	サヌカイト	凹基式。切先折損。背面：浅平細部調整。 腹面：一部に極浅形～浅平細部調整。
184	33	G4	石鏃	2.7	2.0	0.4	1.4	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅平～深平細部調整。
185	33	G4	石鏃	3.5	2.0	0.5	2.2	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。 腹面：一部に自然面残存。
186	33	G4	石鏃	3.6	2.5	0.5	4.3	サヌカイト	平基式。両面：極浅形～浅形細部調整。
187	33	G4	石鏃	3.7	2.1	0.4	2.8	サヌカイト	基部折損。両面：浅形細部調整。
188	33	G4	石鏃	1.6	0.9	0.3	0.5	サヌカイト	凸基Ⅰ式。両面：浅形細部調整。
189	33	G4	石鏃	2.4	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	切先・基部の一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
190	33	G4	石鏃	3.1	1.6	0.3	2.0	サヌカイト	凸基Ⅰ式。両面：極浅形～浅形細部調整。側辺：先端付近磨痕あり。
191	33	G4	石鏃	1.6	1.6	0.3	1.2	サヌカイト	一部欠存。両面：一部に浅形細部調整。
192	33	G4	石鏃	5.2	1.4	0.5	3.4	サヌカイト	凸基Ⅰ式。切先の一部折損。両面：浅形細部調整。
193	33	G4	石鏃	2.3	1.1	0.3	0.8	サヌカイト	凸基Ⅰ式。切先折損。両面：浅形～深形細部調整。
194	33	G4	石鏃	2.5	1.1	0.4	1.1	サヌカイト	凸基Ⅱ式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
195	33	G4	石鏃	3.8	1.2	0.6	3.6	サヌカイト	凸基Ⅱ式。切先折損。両面：浅形細部調整。
196	33	G4	石鏃未製品	2.2	1.7	0.3	0.9	サヌカイト	両面：極浅形細部調整。
197	33	G4	石鏃	3.2	1.6	0.5	2.8	サヌカイト	Ⅱ類。先端部折損。両面：浅形～深形細部調整。
198	33	G4	打製石包丁	5.4	4.0	0.9	28.6	サヌカイト	両端折損。背面：背面加工。刃部：著しい摩滅。
199	33	G4	削器	3.2	3.1	0.6	6.0	サヌカイト	一部のみ残存。背面：背面加工。刃部：摩滅。白色風化。
200	33	G4	削器	5.0	3.5	0.6	12.8	サヌカイト	両端折損。刃部：両面浅形細部調整。摩滅。
201	33	G4	削器	4.1	2.9	0.8	8.5	サヌカイト	一部折損。刃部：浅形細部調整。摩滅。
202	33	G4	打製石剣	4.1	3.3	1.4	16.8	サヌカイト	一部のみ残存。横位：浅形細部調整。刃潰加工。
203	33	G4	不明	2.4	2.8	2.4	19.4	砂岩	礫面。段弾か？
204	34	–	石鏃	2.7	1.7	0.4	1.2	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形細部調整。
205	34	–	石鏃	2.1	1.4	0.3	1.3	サヌカイト	切先・基部欠損。背面：極浅形～浅形細部調整。 腹面：一部に極浅形細部調整。
206	34	–	石鏃	3.0	2.0	0.5	3.1	サヌカイト	先端部・基部欠損。背面：極浅形～浅形細部調整。 腹面：一部に浅形細部調整。
207	34	–	打製石包丁	4.5	4.3	0.7	16.3	サヌカイト	一部のみ残存。背部：背面加工。刃部：両面浅形細部調整。 体部：摩滅痕あり。
208	34	–	削器	6.7	2.4	0.6	15.3	サヌカイト	両側辺折損。背部：折損面に調整あり。 刃部両面：浅形細部調整。摩滅。
209	34	–	削器	6.1	3.2	0.8	20.4	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調整。摩滅。
210	34	–	削器	5.4	5.3	1.1	40.4	サヌカイト	完形。刃部：腹面側に極浅形細部調整。摩滅。
211	35	F2	石鏃	2.0	1.3	0.2	0.6	サヌカイト	平基式。完形。背面：浅形～深形細部調整。腹面：極浅形細部調整。 側縁部：鋸歯状。
212	35	F2	石鏃	2.7	1.7	0.3	1.0	サヌカイト	凹基式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
213	35	F2	石鏃	2.9	2.1	0.4	1.6	サヌカイト	凹基式。基部の一部折損。背面：浅形細部調整。腹面：極浅形細部調整。
214	35	F2	削器	4.8	2.5	0.8	10.4	サヌカイト	一部欠損。刃部：両面浅形細部調整。白色風化。
215	35	F2	削器	4.3	3.5	0.7	13.1	サヌカイト	完形。両面：粗い両面調整。一部パテナあり。
216	35	F2	削器	6.5	4.3	0.8	20.0	サヌカイト	一部折損。背面刃部：浅形細部調整。腹面刃部：一部に浅形細部調整。
217	35	F2	削器	5.4	5.4	0.7	25.3	サヌカイト	両側辺折損。刃部：両面調整。摩滅。
218	35	F2	削器	4.8	4.3	0.8	18.8	サヌカイト	一部欠損。側辺部折損。刃部：両面調整。摩滅。
219	35	F2	石皿？	4.3	4.3	3.7	59.6	砂岩	一部のみ残存。被熱。
220	35	F2	磨製石斧	4.7	3.6	3.0	38.7	流紋岩？	一部のみ残存。
221	36	G5	削器	3.5	3.2	0.6	9.5	サヌカイト	両側辺折損。背面：背面加工。刃部：両面調整。摩滅。
222	図版13	F4	楔形石器	3.7	3.6	1.2	3.4	サヌカイト	一部折損。2側辺に顕著な潰れ。白色風化。写真のみ掲載。

写真図版

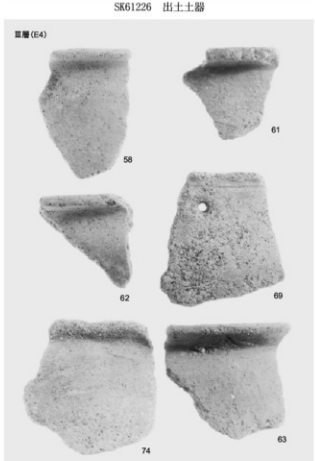
図版1 出土土器1

SK61226　出土土器

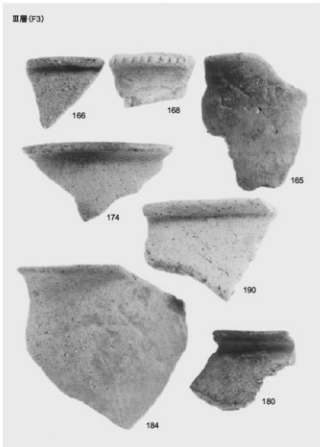
SK61226　出土土器



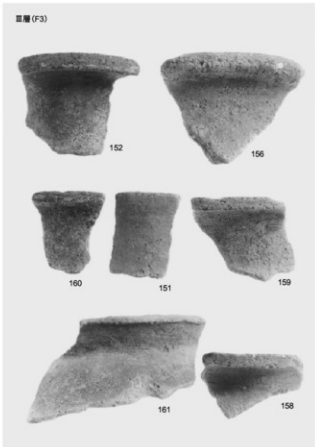
E４区　出土土器



E４区　出土土器



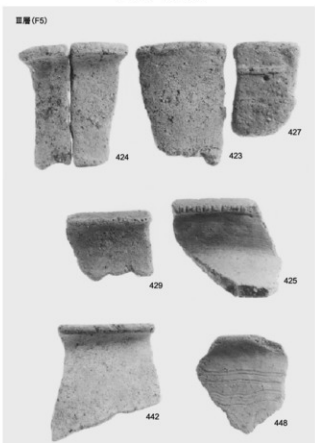
F３区　出土土器



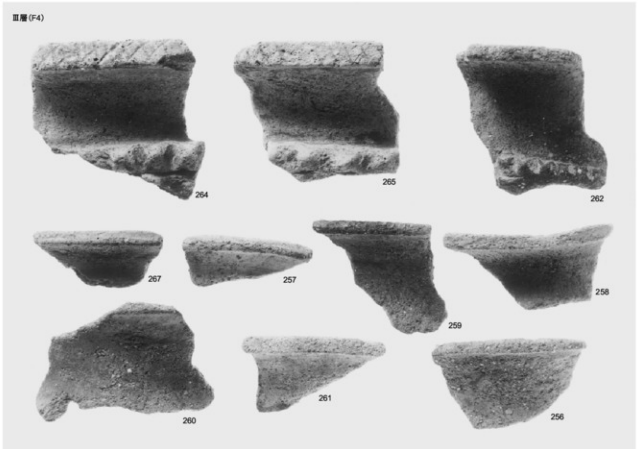
F３区　出土土器

F４区　出土土器

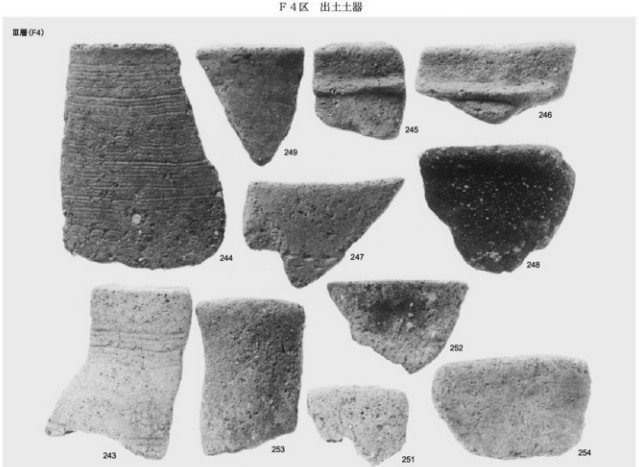
F５区　出土土器



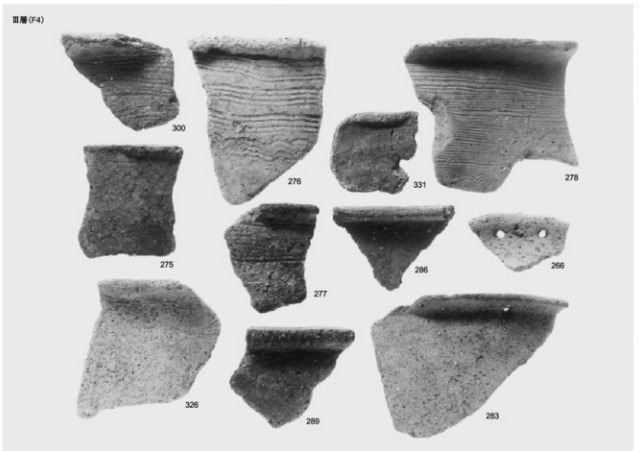
F５区　出土土器



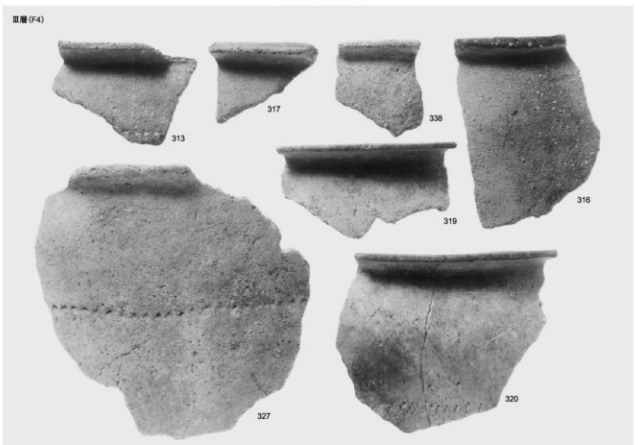
F４区　出土土器



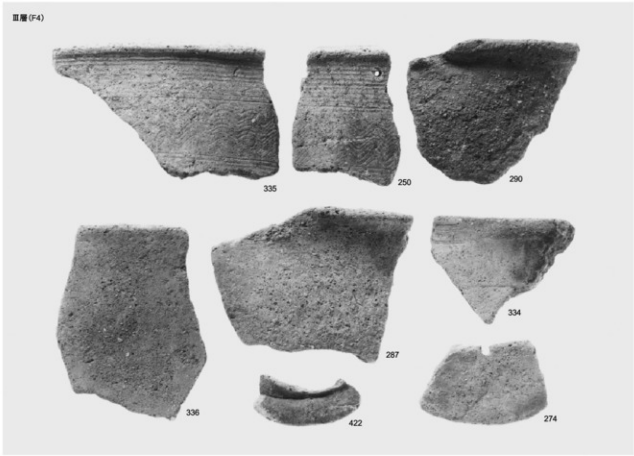
F４区　出土土器



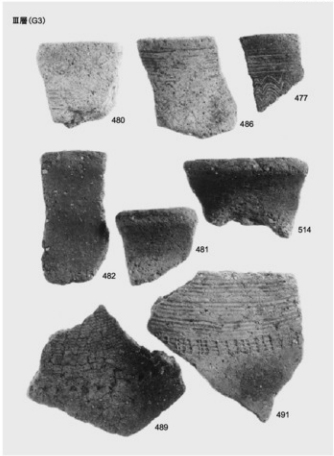
F４区　出土土器



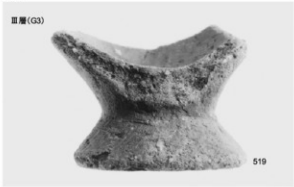
F４区　出土土器



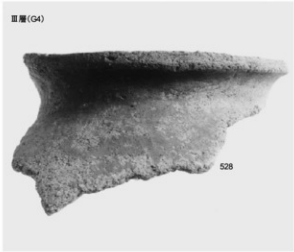
F４区　出土土器



G３区　出土土器



G３区　出土土器

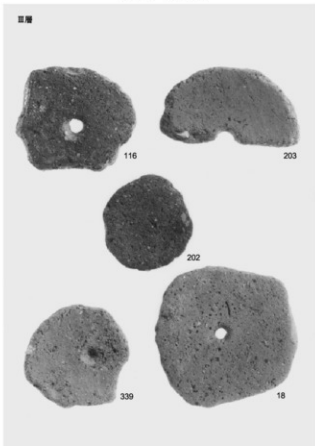


G４区　出土土器

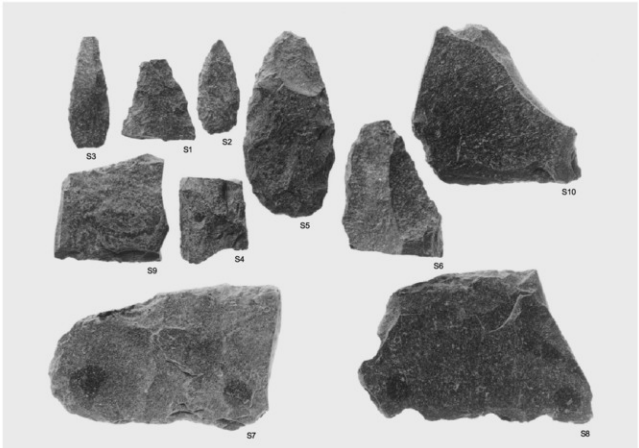
G４区　出土土器

G４区　出土土器

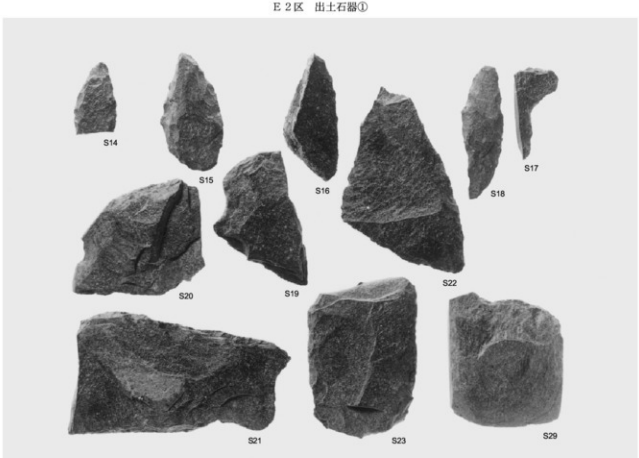
G４区　出土土器



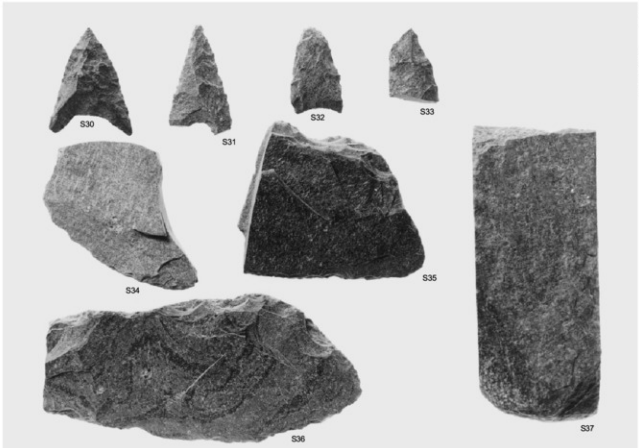
Ⅲ層　出土土製品



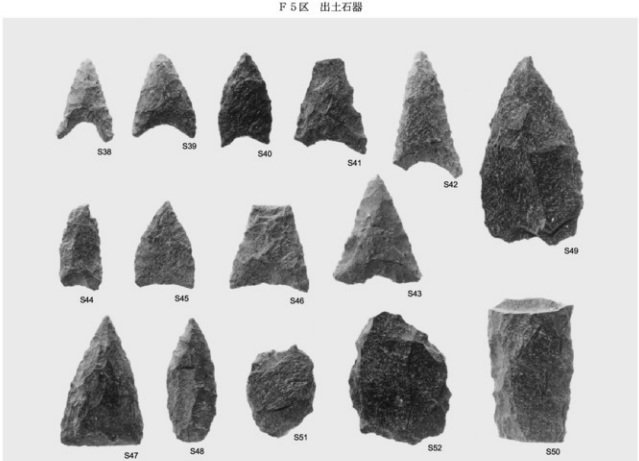
E２区　出土石器①



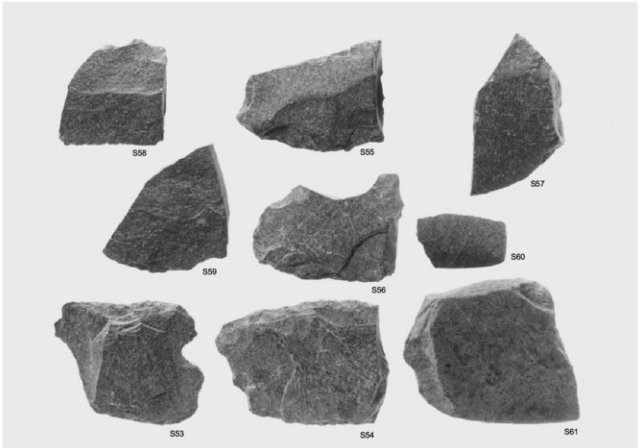
E３区　出土石器



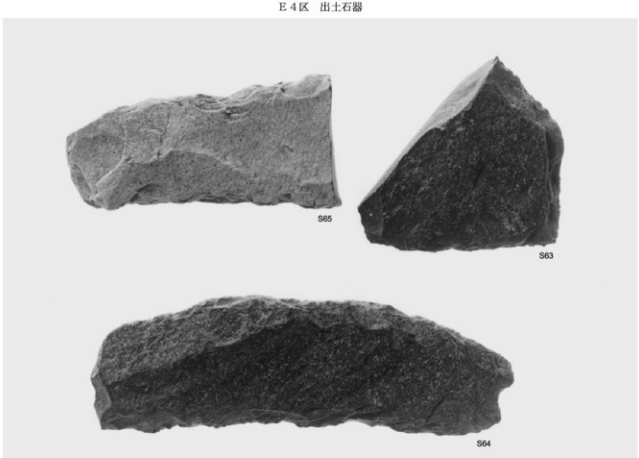
F５区　出土石器



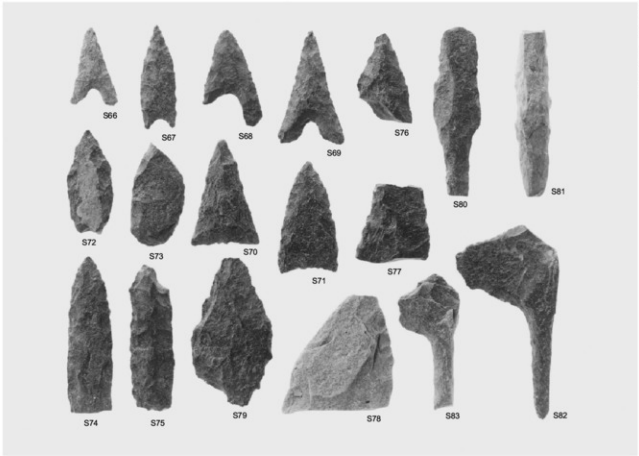
E４区　出土石器



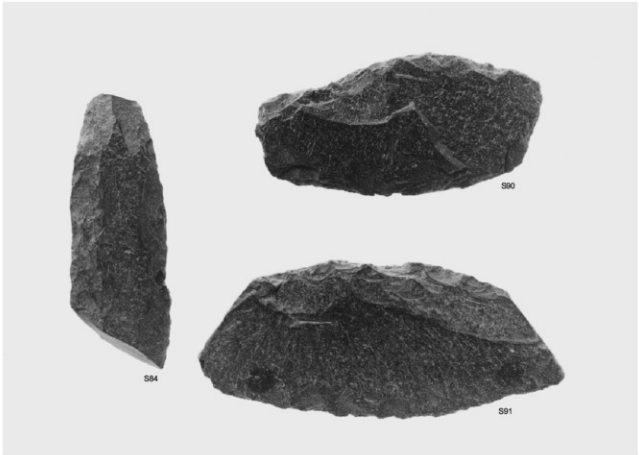
E４区　出土石器



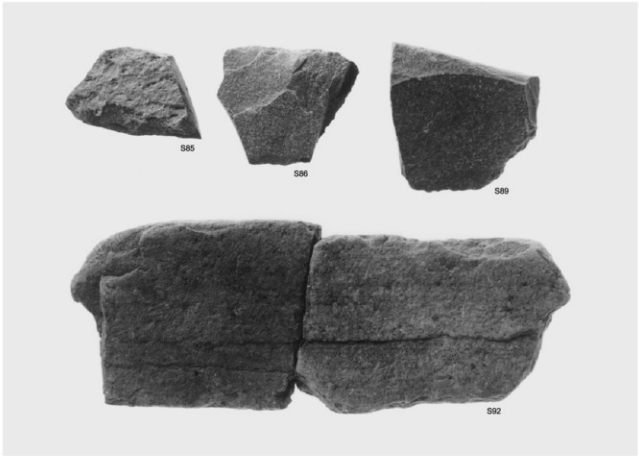
G２区　出土石器



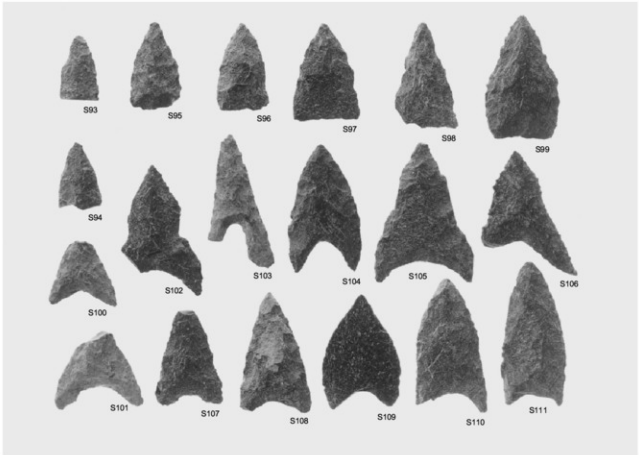
F３区　出土石器①



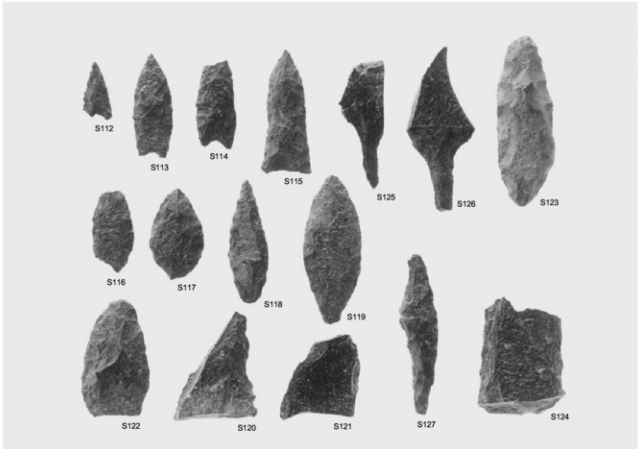
F３区　出土石器②



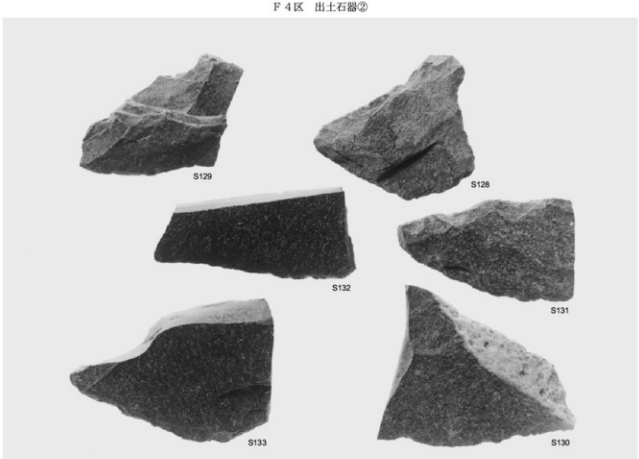
F３区　出土石器③



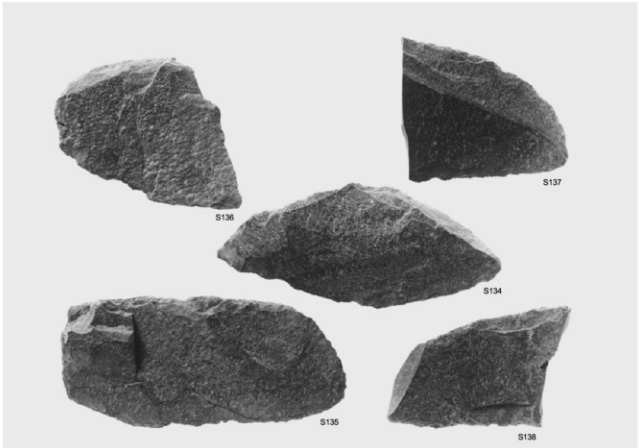
F４区　出土石器①



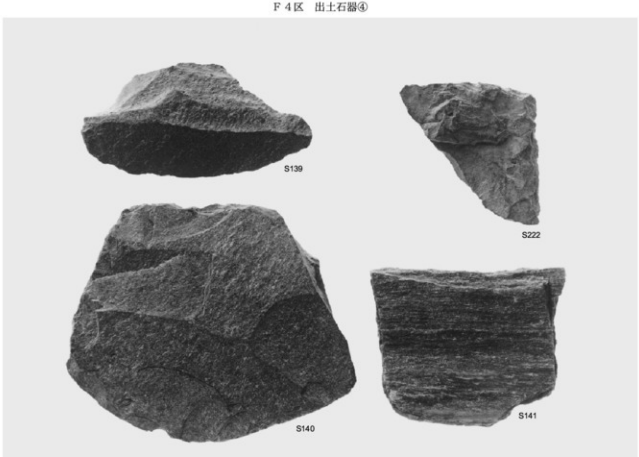
Ｆ４区　出土石器②



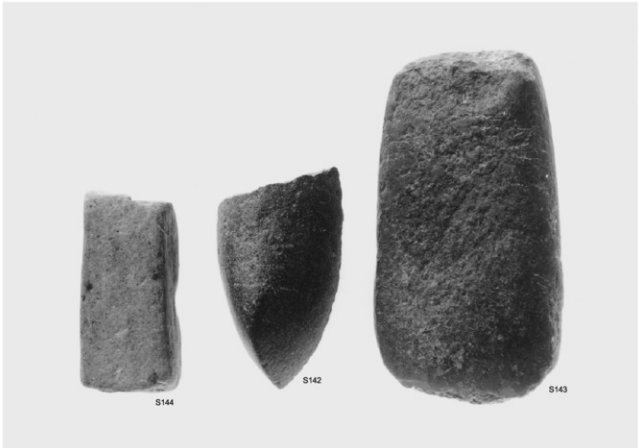
Ｆ４区　出土石器③



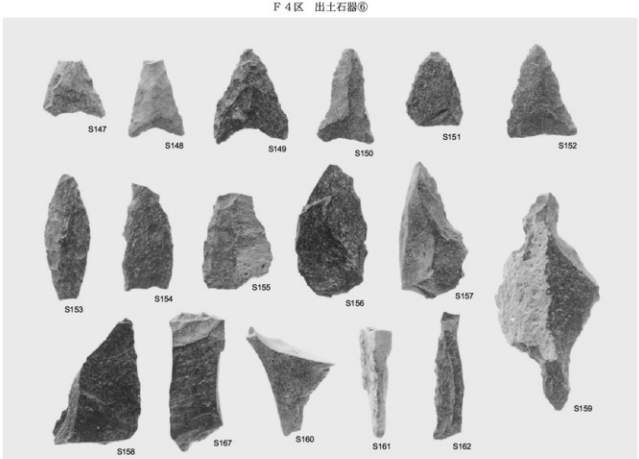
Ｆ４区　出土石器④



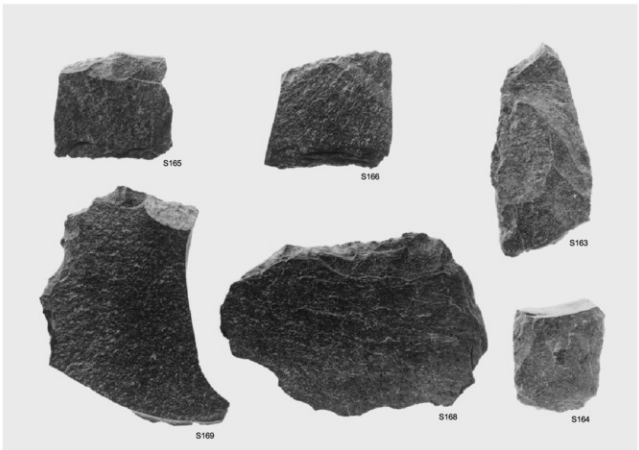
Ｆ４区　出土石器⑤



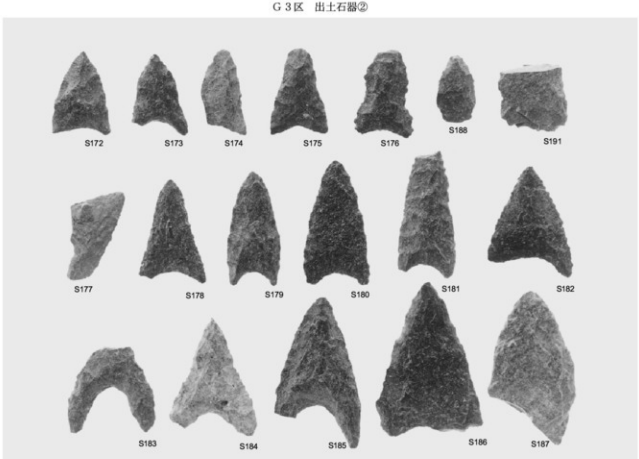
F 4区　出土石器⑥



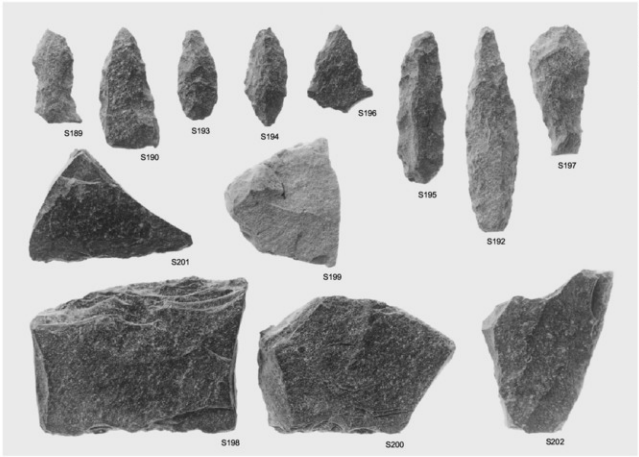
G 3区　出土石器①



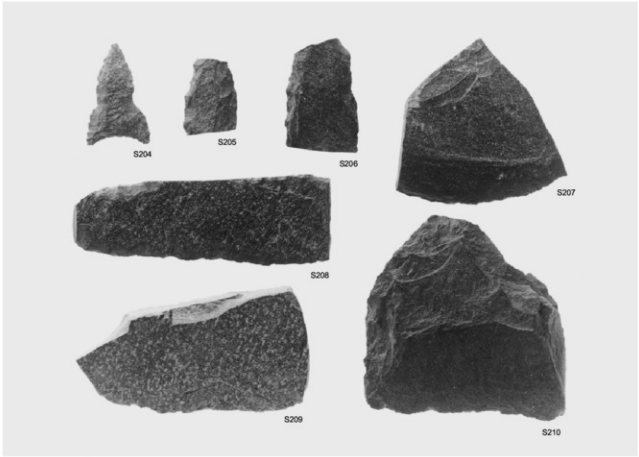
G３区　出土石器②



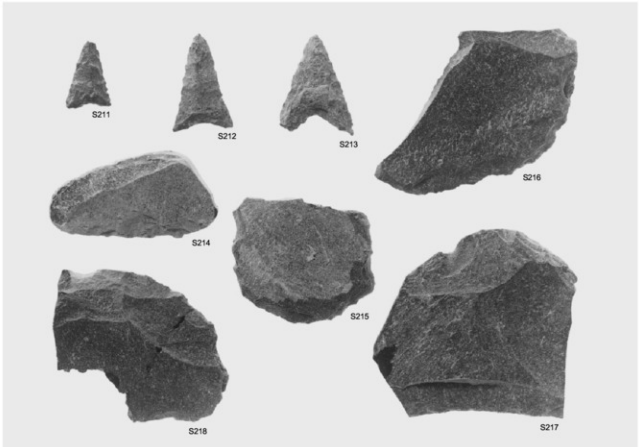
G４区　出土石器①



G 4区　出土石器②

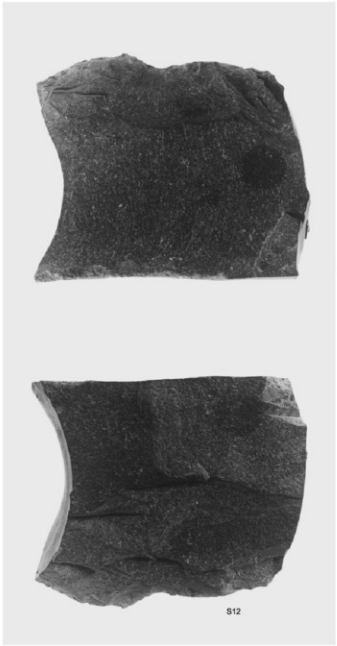


Ⅲ層　出土石器

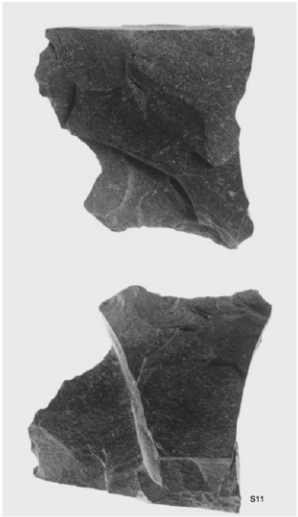


Ｆ２区　出土石器①

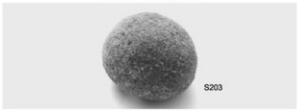
出土礫石器



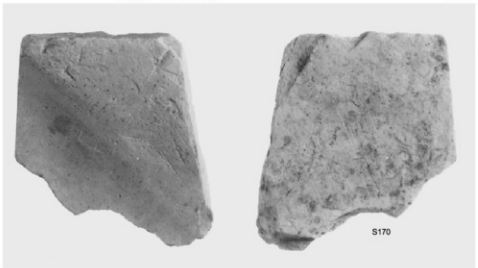
E２区　出土石器②



E２区　出土石器③



G４区　出土石器③



G３区　出土石器③

F２区　出土石器②

報告書抄録

ふりがな	おくのぼういせきぐんX（おくのぼういせきろっく いぶつほうがんそうしゅつどいぶつへん）
書名	奥の坊遺跡群X（奥の坊遺跡VI区 遺物包含層出土遺物編）
副書名	高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第10冊
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第143集
編著者名	波多野篤（編） 山元敏裕 舩築紀子
編集機関	高松市教育委員会
所在地	〒760－8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087－839－2660
発行年月日	西暦2012年3月30日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	発掘期間	発掘面積	発掘原因
奥の坊遺跡（おくのぼういせき）	香川県（かがわけん）高松市（たかまつし）高松町（たかまつちょう）	37201		34°19′30″	134°07′30″	1999.12.14 ～ 2000.3.3	1,100㎡	高松市東部運動公園整備事業

所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構	おもな遺物	特記事項
奥の坊遺跡	集落	弥生時代	遺物包含層	弥生土器 土製品 石器	擬朝鮮系無文土器や顔状土製品が出土。

要約

奥の坊遺跡は高松平野の東を画する丘陵部に所在する。南向きの緩斜面に営まれた弥生時代中期前半の集落跡で，古代や近世の遺構も見られる。本書は，遺跡北部に位置するVI区の遺物包含層から出土した遺物を対象にした遺物編の報告書である。VI区の遺物包含層からは多量の土器や石器が出土しているが，とりわけ擬朝鮮系無文土器や顔状土製品が数点出土した点は，当集落の性格を考える上で極めて重要な成果と言える。

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第10冊

奥の坊遺跡群X

（奥の坊遺跡VI区 遺物包含層出土遺物編 ）

2012年3月30日

編　集　高松市教育委員会
　　高松市番町一丁目8番15号
発　行　高松市教育委員会
印　刷　株式会社　中央印刷所